

6.21 人と自然との触れ合いの活動の場

6.21 人と自然との触れ合い活動の場

6.21.1 調査

(1) 調査の概要

1) 文献その他の資料調査

本調査における文献その他の資料調査の概要は表-6.21.1.1のとおりであり、各調査の実施日を併せて示しました。なお、調査位置は、図-6.21.1.1に示しました。

表-6.21.1.1 調査の概要

調査項目	調査位置	調査時期	
人と自然との触れ合い活動の場	【既存文献による資料調査】		
	「美ら島-沖縄県観光情報ファイル-」（平成14年3月、(財)沖縄観光コンベンションビューロー）	沖縄県	平成14年
	「名護市勢要覧」（平成15年5月、名護市）	名護市	平成15年
	「名護市HP」平成20年現在 (http://www.city.nago.okinawa.jp/)	名護市	平成20年
	「宜野座村勢要覧」（平成10年、宜野座村村役場）	宜野座村	平成10年
	「宜野座村HP」平成20年現在 (http://www.vill.ginoza.okinawa.jp/)	宜野座村	平成20年
	「名護ガイドマップ」（平成19年、名護市観光協会・名護市商工観光課）	名護市	平成19年
	「あけみおのまち」（平成19年、名護市観光協会・名護市商工観光課）	名護市	平成19年
	「名護市の名木」（昭和59年3月、名護市教育委員会）	名護市	昭和59年
	「沖縄の海と釣り」（昭和61年7月、琉球新報社）	沖縄県	昭和61年
	「沖縄の潮干狩りとキャンプ場マップ」（平成12年8月、フィッシング沖縄社）	沖縄島	平成12年
	【事業者による調査（平成19年度）】		
	現地踏査	図-6.21.1.4に示す47地点	平成19年6月7、8日（陸上） 平成19年6月27日（海上）
	ヒアリング調査	11地区	平成19年7月17日、19～21日、 26日、8月15日
	カウント調査及びアンケート調査	図-6.21.1.1に示す18地点	夏季 平成19年8月24日（平日） 平成19年8月25日（休日） 秋季 平成19年10月9日（平日） 平成19年10月14日（休日） 冬季 平成20年1月15日（平日） 平成20年1月13日（休日）
	地元施設への聞き取り及び利用状況調査	図-6.21.1.1に示す11地点	夏季 平成19年8月24日（平日） 平成19年8月25日（休日） 秋季 平成19年10月9日（平日） 平成19年10月14日（休日） 冬季 平成20年1月15日（平日） 平成20年1月13日（休日）
	施設への聞き取り調査	図-6.21.1.1に示す4地点	平成19年6月～平成20年3月
	人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態	図-6.21.1.1に示すカウント調査と施設への聞き取り調査地点の合計22地点	夏季 平成19年8月24日（平日） 平成19年8月25日（休日） 秋季 平成19年10月9日（平日） 平成19年10月14日（休日） 冬季 平成20年1月15日（平日） 平成20年1月13日（休日）



図-6.21.1.1 人と自然との触れ合い活動の場の調査位置図（平成 19 年）

2) 現地調査

本調査における現地調査の概要は、表-6.21.1.2に、調査の方法は表-6.21.1.3に示すとおりです。なお、調査位置は、図-6.21.1.2に示しました。

なお、春季調査時期は、区長のヒアリング結果等から、最も利用者数が多いと推定された「浜下り」の時期に設定しました。

表-6.21.1.2 調査の概要

調査項目	調査位置	調査時期
人と自然との触れ合い活動の場 カウント調査及びアンケート調査	図-6.21.1.2に示す18地点	春季 平成20年3月24日（平日） 平成20年4月6日（休日） 夏季 平成20年8月25日（平日） 平成20年8月24日（休日） 秋季 平成20年11月4日（平日） 平成20年11月23日（休日） 冬季 平成21年1月7日（平日） 平成21年1月11日（休日）
地元施設への聞き取り及び利用状況調査	図-6.21.1.2に示す12地点	春季 平成20年3月24日（平日） 平成20年4月6日（休日） 夏季 平成20年8月25日（平日） 平成20年8月24日（休日） 秋季 平成20年11月4日（平日） 平成20年11月23日（休日） 冬季 平成21年1月7日（平日） 平成21年1月11日（休日）
施設への聞き取り調査	図-6.21.1.2に示す4地点	平成20年4月～平成21年1月
浜下り調査	図-6.21.1.2に示す調査範囲内の海岸域	平成20年4月6日 平成20年4月8日（旧暦3月3日）
人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態	図-6.21.1.2に示すカウント調査と施設への聞き取り調査地点の合計22地点	春季 平成20年3月24日（平日） 平成20年4月6日（休日） 夏季 平成20年8月25日（平日） 平成20年8月24日（休日） 秋季 平成20年11月4日（平日） 平成20年11月23日（休日） 冬季 平成21年1月7日（平日） 平成21年1月11日（休日）
地元地区住民アンケート調査	図-6.21.1.2に示す調査範囲内の12地区	平成20年12月19・22・25・26日、 平成21年1月9・13・15・16・19・22日、 2月2日

表-6.21.1.3 調査方法

調査項目	調査方法
<p>カウント調査及びアンケート調査</p>	<p>調査員が、1時間に1回、調査地点（ある程度の広さを持ったエリア）を踏査し、触れ合いの場の利用者数をカウントするとともに、目視により可能な範囲で以下の情報を記録しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用区分（潮干狩り、海水浴、散歩など） ・利用環境区分（砂浜、海岸線、海域） ・利用者の性別 ・利用者の年齢層（子供、大人、老人） ・駐車車輛の種別（「わ」ナンバーか、それ以外か） <p>また、適宜、利用状況の写真撮影及びアンケート調査を行いました。</p>
<p>地元施設への聞き取り及び利用状況調査</p>	<p>地元住民を対象に、触れ合いの場の利用状況及び価値認識についての聞き取り調査を行いました。また、カウント調査と同日に、当該地点の利用者数をカウントするとともに、目視により可能な範囲でカウント調査と同様の情報を記録しました。</p>
<p>施設への聞き取り調査</p>	<p>有料施設を対象に、年間の利用者数等の聞き取り調査を行いました。</p>
<p>浜下り調査</p>	<p>浜下りは、1年で最も潮の干満の大きい旧暦の3月3日の春の大潮に女性が浜辺で潮に手足を浸して不浄を清め、健康を祈願する行事であったが、現在では潮干狩りを楽しむレジャーとしても親しまれていることから調査を実施しました。調査は、最も利用者が多い時間帯に沿岸域を踏査し、利用者の記録を行うと共に利用者への聞き取りを行いました。</p>
<p>人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態</p>	<p>人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス手段及び誘致圏を把握するため、主要な触れ合いの場及び施設において、利用者へのアンケート調査を行いました。</p>
<p>地元地区住民アンケート調査</p>	<p>人と自然との触れ合い活動の場に対する認識及び利用状況について把握するため、安部地区から松田地区までの11地区およびカヌチャリゾートの合計12カ所を対象にアンケート用紙を配布し、回収後の解析を行いました。なお、アンケート用紙は633部配布し、有効回答254部（回収率40.1%）を得ました。</p>

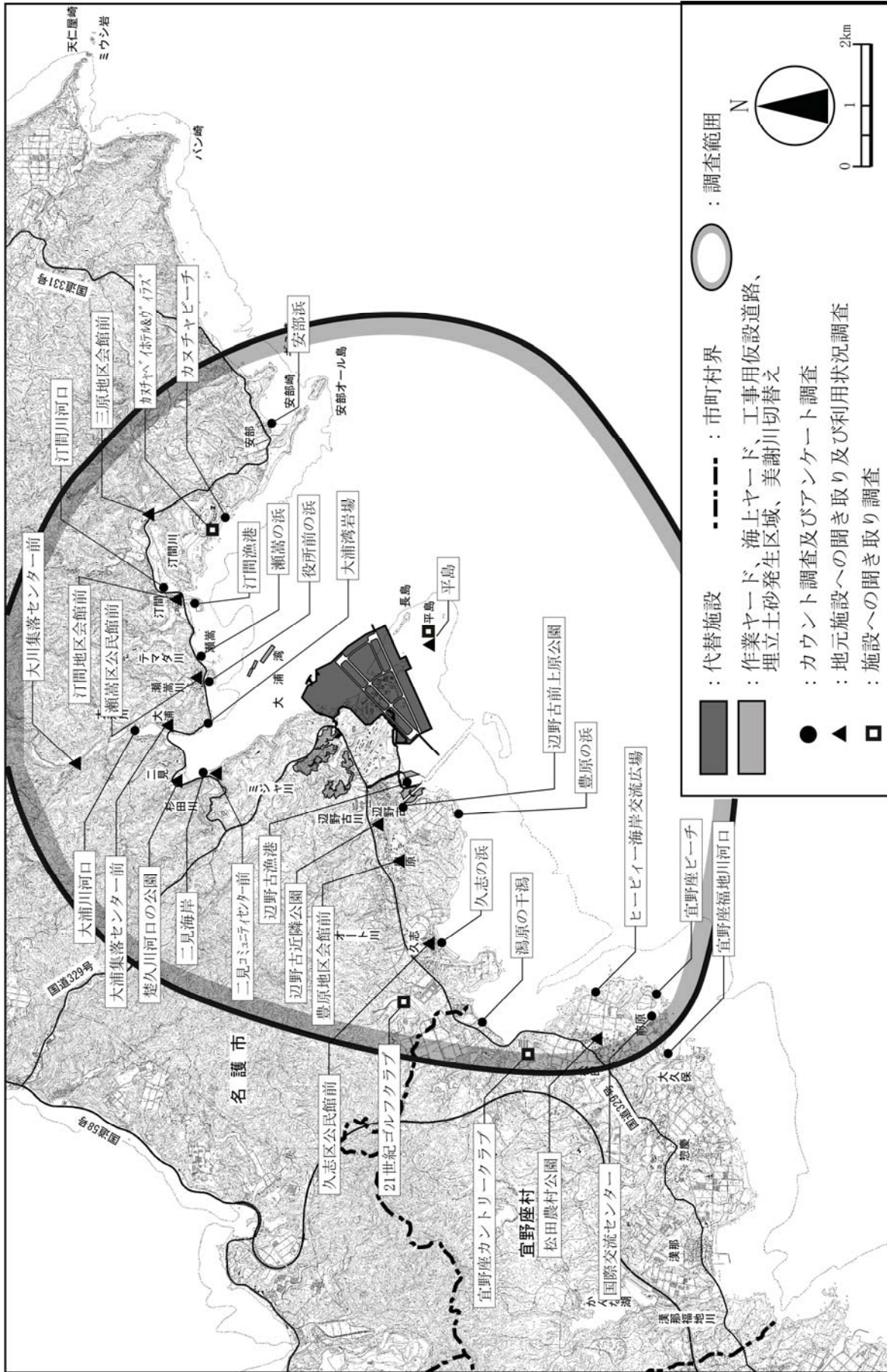


図-6.21.1.2 人と自然との触れ合い活動の場の調査位置図

(2) 調査結果

1) 文献その他の資料調査結果

(a) 既存文献による資料調査

既存文献及びホームページから、表 6. 21. 1. 4 及び図 6. 21. 1. 3 に示す 21 地点の
人と自然との触れ合いの活動の場（以下、「触れ合いの場」と呼びます）を抽出
しました。

表-6. 21. 1. 4 既存文献による資料調査結果

触れ合いの場		文献番号																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11						
名護市	1	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	○	○	○			○	○									
	2	沖縄サンビーチ・リゾートカヌチャゴルフコース	○															
	3	カヌチャビーチ	○															
	4	ゲヤー滝						○										
	5	役所前の浜										○						
	6	瀬嵩の浜										○						
	7	瀬嵩区公民館前									○							
	8	汀間地区会館前									○							
	9	汀間漁港	○															
	10	大浦集落センター前									○							
	11	大浦川河口		○														
	12	大浦湾岩場										○						
	13	ゆかり牧場							○									
	14	二見海岸	○											○				
	15	辺野古漁港	○									○						
	16	21世紀ゴルフクラブ	○						○	○								
	17	久志区公民館前									○							
	18	嘉陽フライトエリア																○
宜野座村	19	潟原の干潟				○	○					○						
	20	宜野座カントリークラブ				○	○											
	21	国際交流センター				○	○											

- 文献番号 1. 「美ら島-沖縄県観光情報ファイル」（平成 14 年 3 月、(財) 沖縄観光コンベンションビューロー）
 2. 「名護市勢要覧」（平成 15 年 5 月、名護市）
 3. 「名護市 HP」（<http://www.city.nago.okinawa.jp/>）
 4. 「宜野座村勢要覧」（平成 10 年、宜野座村村役場）
 5. 「宜野座村 HP」（<http://www.vill.ginoza.okinawa.jp/>）
 6. 「名護ガイドマップ」（平成 19 年、名護市観光協会・名護市商工観光課）
 7. 「あけみおのまち」（平成 19 年、名護市観光協会・名護市商工観光課）
 8. 「名護市の名木」（昭和 59 年 3 月、名護市教育委員会）
 9. 「沖縄の海と釣り」（昭和 61 年 7 月、琉球新報社）
 10. 「沖縄の潮干狩りとキャンプ場マップ」（平成 12 年 8 月、フィッシング沖縄社）
 11. 「公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 Web ページ」（<http://jhf.hangpara.or.jp/>）

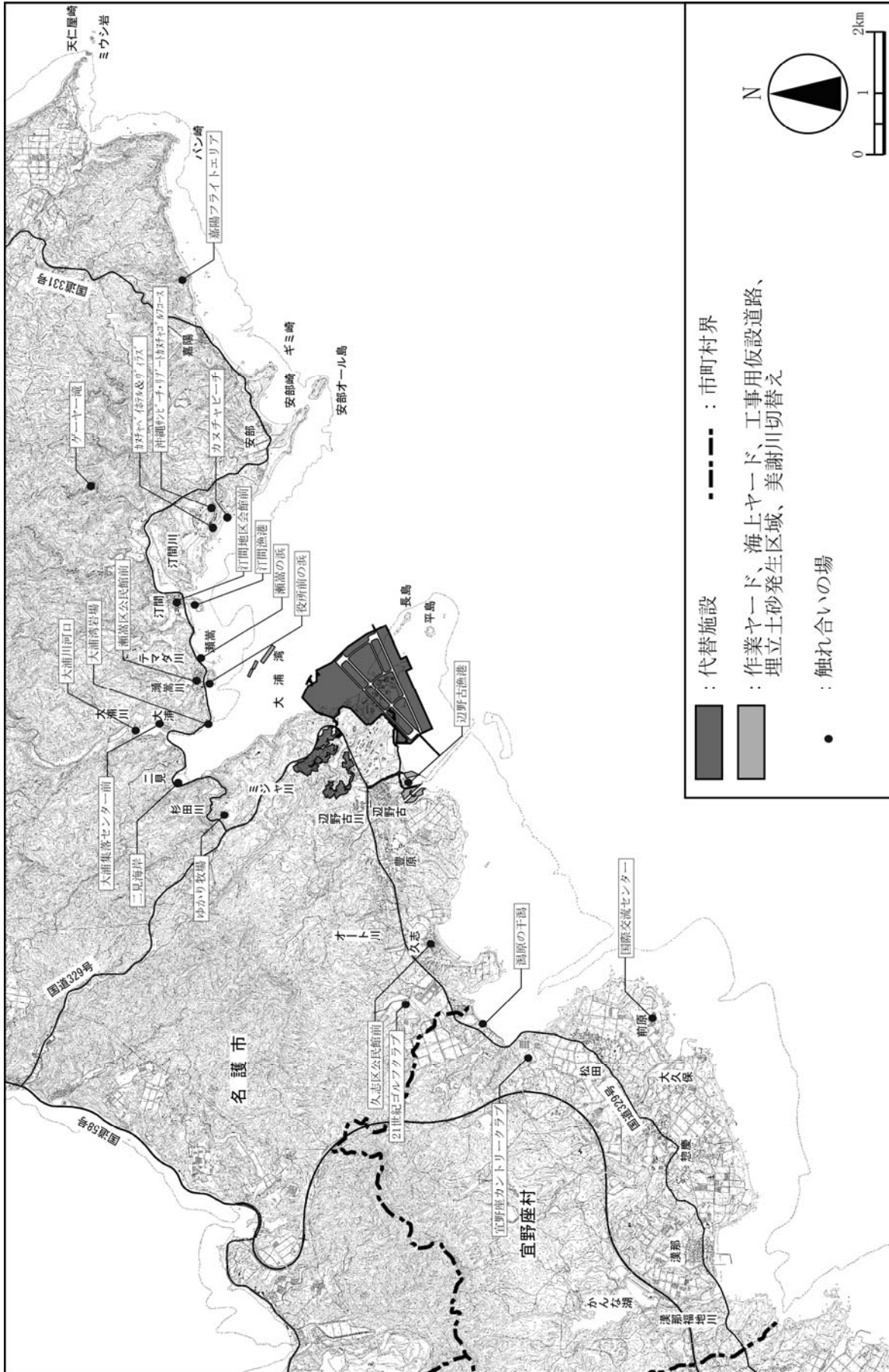


図-6.21.1.3 既存文献による資料調査結果

2) 事業者による調査（平成 19 年度）

(a) 人と自然との触れ合い活動の場の概況調査

a) 現地踏査

踏査では、図-6.21.1.4 に示すルートを徒歩及び自動車を実施しました。地元住民へのヒアリングによって新たに抽出された触れ合いの場についてはヒアリング実施日に概況調査を行いました。

現地踏査は、図-6.21.1.4 に示す 47 地点で実施し、駐車場、トイレ等利用者のための設備の整備状況を表-6.21.1.5 に示すように把握しました。なお、地区ごとの概況の詳細は資料編に示しました。

表-6.21.1.5 現地踏査で抽出した触れ合いの場と触れ合いの場の
利用環境（平成19年度）

地区	触れ合いの場		利用環境 ^{注)}					備考
			駐車場	トイレ	ベンチ 東屋	スポーツ 広場	遊具	
陸上	安部	1 カヌチャベイホテル&ヴィラズ	○	○	○	○	×	
		2 カヌチャビーチ	×	○	○	○	×	
		3 安部ダム	×	×	×	×	×	駐車スペース無し。
		4 安部地区会館前	×	○	×	×	×	駐車スペース無し。
		5 安部灯台	×	×	×	×	×	車でのアプローチ難。
		6 安部崎	×	×	×	×	×	車でのアプローチ不可。
		7 安部浜	○	×	○	×	○	
	三原	8 三原地区会館前	○	○	○	○	×	
		9 ゲーヤー滝	×	×	×	×	×	駐車スペース無し。
		10 汀間川上流	×	×	×	×	×	駐車スペース無し。
	汀間	11 汀間地区会館前	○	○	○	○	○	
		12 汀間漁港	○	×	×	×	×	
		13 汀間川河口	○	×	×	×	×	
	瀬嵩	14 瀬嵩区公民館前	○	○	○	○	○	
		15 瀬嵩の浜	○	○	×	×	×	
		16 役所前の浜	○	×	×	×	×	
	大浦	17 大浦集落センター前	○	○	×	×	○	大浦アサギ庭のガジマル (名護市指定天然記念物)がある。
		18 大浦川河口	○	×	×	×	×	大浦のマングローブ林
		19 大浦湾岩場	○	×	×	×	×	
	大川	20 大川集落センター前	○	○	○	○	×	
		21 大浦川上流	×	×	×	×	×	駐車スペース無し。
	二見	22 楚久川河口の公園	×	×	○	×	○	駐車スペース無し。
		23 ゆかり牧場	○	×	×	×	×	
		24 二見コミュニティセンター前	○	○	○	○	×	
		25 二見海岸	○	×	×	×	×	
	辺野古	26 辺野古の浜	×	×	×	×	×	車でのアプローチ難。
		27 辺野古前上原公園	○	○	○	×	○	
		28 辺野古近隣公園	×	○	○	○	○	
		29 辺野古漁港	○	×	×	×	×	
	豊原	30 豊原の浜	○	×	×	×	×	車でのアプローチ難。
		31 豊原地区会館前	○	○	○	○	×	
	久志	32 21世紀ゴルフクラブ	○	○	○	○	×	
		33 久志区公民館前	○	○	○	○	○	
		34 オー川河口	×	×	×	×	×	駐車スペース無し。
		35 加知味崎付近磯	○	×	×	×	×	車でのアプローチ難。
		36 加知味崎	○	×	×	×	×	
		37 久志の浜	○	×	×	×	×	
	松田	38 国際交流センター	○	○	○	○	×	
		39 ヒービー海岸交流広場	○	○	○	×	×	
		40 宜野座福地川河口	○	○	○	○	×	
		41 宜野座ビーチ	○	×	×	×	×	車でのアプローチ難。
		42 鴻原の干潟	○	×	×	×	×	
		43 宜野座カントリークラブ	○	○	○	○	×	
		44 松田農村公園	○	○	○	○	○	
	海上	45 長島	×	×	×	×	×	
		46 平島	×	×	×	×	×	
		47 安部オール島	×	×	×	×	×	

注) ○：あり、×：なし

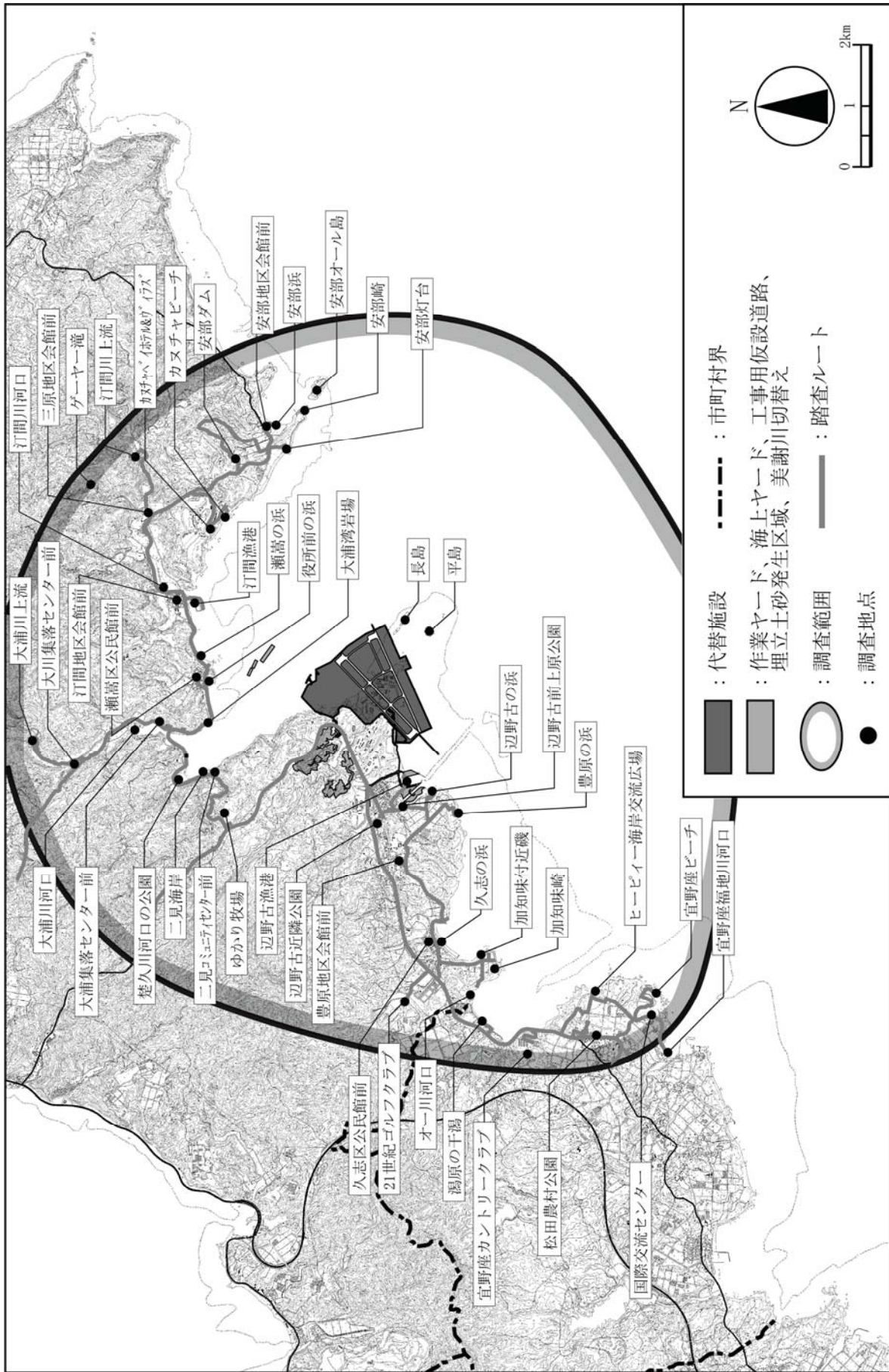


図-6.21.1.4 踏査ルート等位置図

b) ヒアリング調査

ヒアリング調査は、各地区の区長にご協力をいただき、地元住民にとって身近な触れ合い活動の場の概況把握を目的として行いました。ヒアリング調査実施日及びヒアリング対象を表-6. 21. 1. 6 に整理しました。

表-6. 21. 1. 6 ヒアリング日時及び対象（平成19年度）

日 時	ヒアリング対象
平成19年7月17日	久志区長
平成19年7月17日	松田区長
平成19年7月17日	瀬嵩区長
平成19年7月17日	豊原区長
平成19年7月19日	安部区長
平成19年7月19日	大川区長
平成19年7月20日	大浦区長
平成19年7月20日	辺野古区長
平成19年7月21日	汀間区長
平成19年7月26日	三原区長
平成19年8月15日	二見区長

ヒアリング調査では、地区内の触れ合いの場について紹介を頂くとともに、その利用について、主に地区内のみの利用か、それとも地区外の利用があるのかについて表-6.21.1.7に示すとおり聞き取りを行いました。

表-6.21.1.7 触れ合いの場及び利用概況に関するヒアリング結果（平成19年度）

地区	触れ合いの場	利用概況 ^{注)}		備 考	
		地区内 の利用	地区外から の利用		
陸上	安部	1 カヌチャベイホテル&ヴィラズ	—	+	
		2 カヌチャビーチ	—	+	
		3 安部ダム	—	—	
		4 安部地区会館前	—	—	
		5 安部灯台	—	—	
		6 安部崎	—	—	
		7 安部浜	+	—	
	三原	8 三原地区会館前	—	—	
		9 ゲーヤー滝	—	—	立ち入りに用地管理者の許可が必要。
		10 汀間川上流	—	—	
	汀間	11 汀間地区会館前	+	—	
		12 汀間漁港	+	—	
		13 汀間川河口	+	—	
	瀬嵩	14 瀬嵩区公民館前	+	—	
		15 瀬嵩の浜	+	+	
		16 役所前の浜	+	—	
	大浦	17 大浦集落センター前	+	—	
		18 大浦川河口	+	+	市の天然記念物「大浦のマングローブ林」がある。
		19 大浦湾岩場	+	+	
	大川	20 大川集落センター前	+	—	
		21 大浦川上流	—	—	
	二見	22 楚久川河口の公園	—	—	
		23 ゆかり牧場	—	—	現在、当施設は営業していない。
		24 二見コミュニティセンター前	+	—	
		25 二見海岸	+	+	
	辺野古	26 辺野古の浜	—	—	
		27 辺野古前上原公園	+	—	
		28 辺野古近隣公園	+	—	
		29 辺野古漁港	+	—	
	豊原	30 豊原の浜	+	+	
		31 豊原地区会館前	+	—	
	久志	32 21世紀ゴルフクラブ	—	+	
		33 久志区公民館前	+	—	
		34 オー川河口	—	—	
		35 加知味崎付近磯	—	—	
		36 加知味崎	—	—	
		37 久志の浜	+	—	
	松田	38 国際交流センター	—	+	
		39 ヒーピー海岸交流広場	+	+	
		40 宜野座福地川河口	+	—	
		41 宜野座ビーチ	—	—	
		42 潟原の干潟	—	—	
		43 宜野座カントリークラブ	—	+	
		44 松田農村公園	+	—	
	海上	45 長島	—	—	
		46 平島	—	—	
		47 安部オール島	—	—	

注) + : 利用がある。 — : 利用はほとんどない。

c) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の選定根拠及び調査方法の選定

既存文献調査、現地踏査及び地元住民へのヒアリング調査により抽出した 47 地点の中から、普遍価値及び固有価値の観点で絞り込みを行い、主要な人と自然との触れ合いの活動の場（以下、「主要な触れ合いの場」と呼びます）の 33 地点を表-6. 21. 1. 8 に示すとおり選出しました。豊かな自然を活かした観光資源であり、地域住民にとっても親しまれている海沿いの地点が多く選出される結果となりました。主要な触れ合いの場及びその調査方法選定フローを図-6. 21. 1. 5 に示しました。

また、主要な触れ合いの場の位置を図-6. 21. 1. 6 に示しました。

表-6. 21. 1. 8 調査方法選定一覧（平成 19 年度）

地区	NO.	触れ合いの場	注1) 選出結果	調査方法 ^{注2)}				
				カウント調査及びアンケート調査（1回/1h）		地元施設への聞き取り及び利用状況調査（1回/2h）	施設への聞き取り調査	人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態
				カウント調査	アンケート調査			
陸上	安部	1 カヌチャベイホテル&ヴィラス	○				◎	◎
		2 カヌチャビーチ	○	◎				
		3 安部ダム	×					
		4 安部地区会館前	×					
		5 安部灯台	×					
		6 安部崎	×					
		7 安部浜	○	◎	◎			◎
	三原	8 三原地区会館前	○			◎		
		9 ゲーヤー滝	×					
		10 汀間川上流	×					
	汀間	11 汀間地区会館前	○			◎		
		12 汀間漁港	○	◎	◎			◎
		13 汀間川河口	○	◎	◎			◎
	瀬嵩	14 瀬嵩区公民館前	○			◎		
		15 瀬嵩の浜	○	◎	◎			◎
		16 役所前の浜	○	◎	◎			◎
	大浦	17 大浦集落センター前	○			◎		
		18 大浦川河口	○	◎	◎			◎
		19 大浦湾岩場	○	◎	◎			◎
	大川	20 大川集落センター前	○			◎		
		21 大浦川上流	×					
二見	22 楚久川河口の公園	○			◎			
	23 ゆかり牧場	×						
	24 二見コミュニティーセンター前	○			◎			
	25 二見海岸	○	◎	◎			◎	
	26 辺野古の浜	×						
辺野古	27 辺野古前上原公園	○	◎	◎			◎	
	28 辺野古近隣公園	○			◎			
	29 辺野古漁港	○	◎	◎			◎	
	30 豊原の浜	○	◎	◎			◎	
豊原	31 豊原地区会館前	○			◎			
	32 21世紀ゴルフクラブ	○				◎	◎	
久志	33 久志区公民館前	○			◎			
	34 オー川河口	×						
	35 加知味崎付近磯	×						
	36 加知味崎	×						
	37 久志の浜	○	◎	◎			◎	
	38 国際交流センター	○	◎	◎			◎	
	39 ヒービー海岸交流広場	○	◎	◎			◎	
松田	40 宜野座福地川河口	○	◎	◎			◎	
	41 宜野座ビーチ	○	◎	◎			◎	
	42 湯原の干潟	○	◎	◎			◎	
	43 宜野座カントリークラブ	○				◎	◎	
	44 松田農村公園	○			◎			
	45 長島	×						
	46 平島	○				◎	◎	
海上	47 安部オール島	×						
合計			33	18	17	11	4	21

注1) 選出結果（○：選出 ×：非選出）

注2) ◎：調査実施

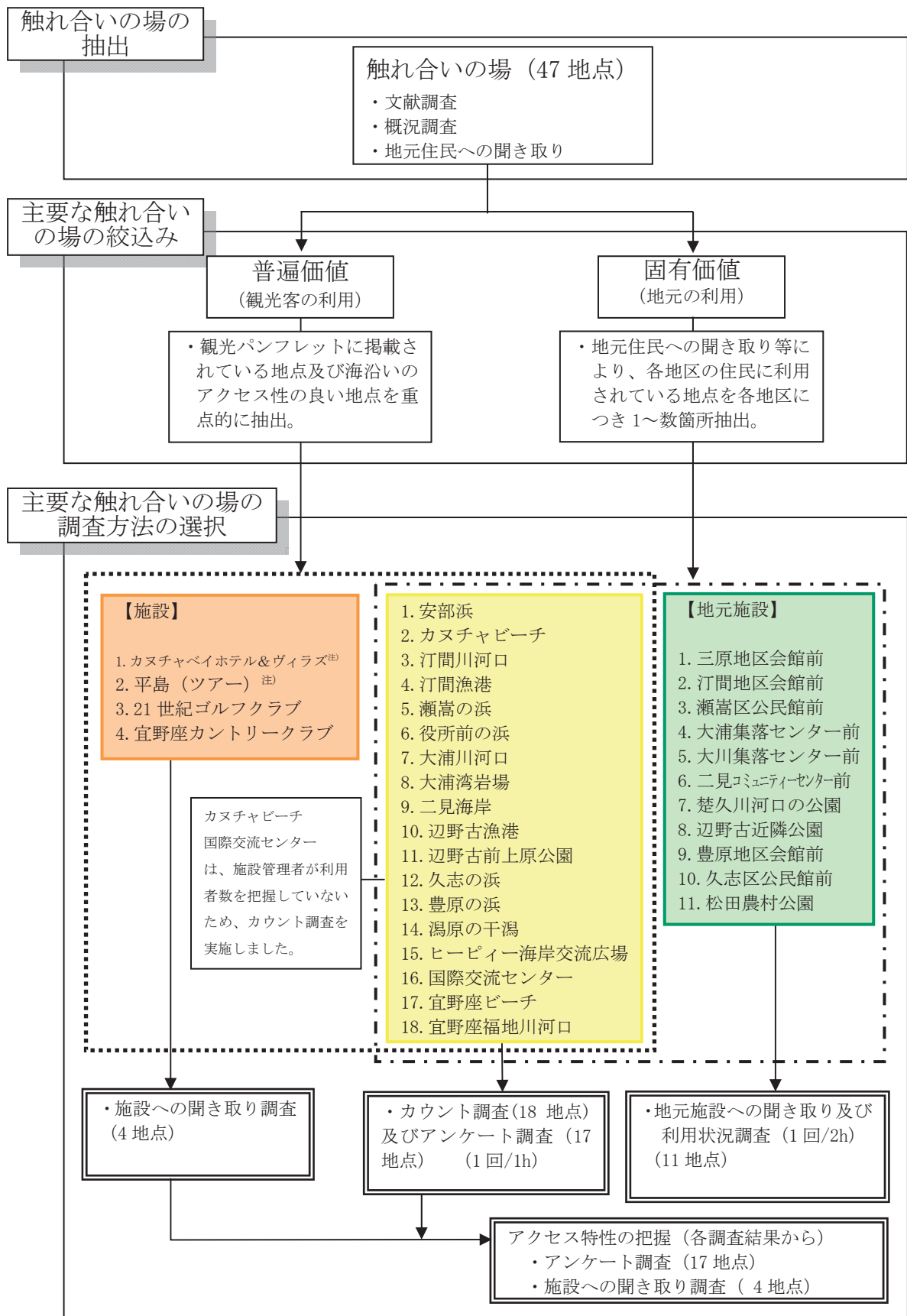


図-6. 21. 1. 5 調査地点及び調査方法選定フロー (平成 19 年度)

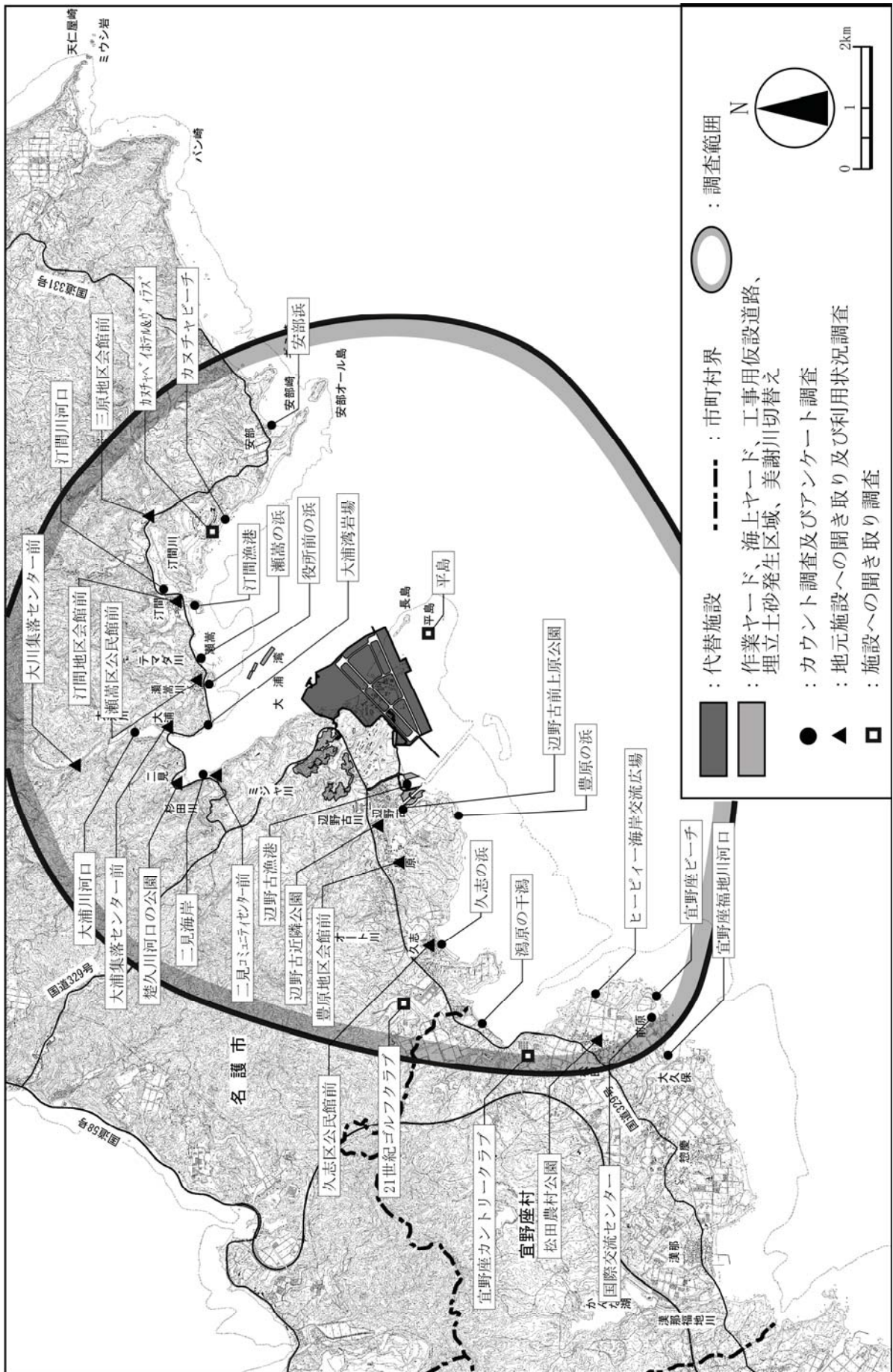


図-6.21.1.6 人と自然との触れ合い活動の場の調査図（平成19年度）

(b) 主要な人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境（平成19年度）

a) カウント調査

(ア) 利用者数の把握

主要な触れ合いの場の利用者数を、カウント調査によって把握しました。調査日における利用者数は、午前8時台から午後18時台までの毎時の利用者数の累積値（延べ人数）として計上しました。

3季調査を通してのカウント調査地点における利用者数調査結果は、表-6.21.1.9に示すとおりです。

表-6.21.1.9 カウント調査地点における延べ利用者数（平成19年度）

（単位：人）

	夏 季		秋 季		冬 季		合 計
	8月24日(金)	8月26日(日)	10月9日(火)	10月14日(日)	1月15日(火)	1月13日(日)	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
2 カヌチャビーチ	970	739	321	392	76	257	2,755
7 安部浜	39	154	76	112	49	36	466
12 汀間漁港	39	56	71	72	31	160	429
13 汀間川河口	4	27	1	26	8	8	74
15 瀬嵩の浜	32	27	37	131	5	85	317
16 役所前の浜	24	71	37	79	10	39	260
18 大浦川河口	13	70	34	92	25	52	286
19 大浦湾岩場	3	0	4	35	2	22	66
25 二見海岸	16	29	4	58	0	77	184
27 辺野古前上原公園	34	28	117	85	26	55	345
29 辺野古漁港	18	15	14	33	9	40	129
30 豊原の浜	23	24	30	53	4	23	157
37 久志の浜	41	61	31	30	43	96	302
38 国際交流センター	15	23	4	39	5	11	97
39 ヒーピー海岸交流広場	24	36	8	26	8	39	141
40 宜野座福地川河口	27	9	49	31	24	62	202
41 宜野座ビーチ	13	1	1	40	27	30	112
42 潟原の干潟	5	11	20	10	7	29	82
合 計	1,340	1,381	859	1,344	359	1,121	6,404

注) 調査日における利用者数は、午前8時台から午後18時台までの毎時の利用者数の累積値（延べ人数）です。

【実利用者数の算出】

表-6.21.1.9で示した数値は、1時間毎に計測した利用者数の累積値（延べ人数）です。1人1時間の利用で1人として計上します。例えば調査地点を一人の利用者が2時間利用した場合は2人として計上しています。

一方で、利用者へのアンケート調査により利用者の各調査地点での滞在時間を表-6.21.1.10に示すとおり把握しました。従って、カウント調査で確認した利用者数の累積値を、把握した平均滞在時間で割り戻すことにより、重複カウントなしの利用者数（以下、実利用者数と呼ぶ。）が推定されます。ただし、平均滞在時間が1時間未満の場合は、重複カウントは起こらないため平均滞在時間による割り戻しはしないものとししました。

以上の条件をもとに各調査日における（累積値ではない）実利用者数を表-6.21.1.11に示すとおり算出しました。

表-6.21.1.10 各調査地点における利用者の平均滞在時間（平成19年度）

（単位：時間）

	夏 季	秋 季	冬 季	平均値
カヌチャビーチ	(1.6)	(1.9)	(1.9)	(1.8)
安部浜	0.6	1.0	0.5	0.7
汀間漁港	3.0	1.7	4.0	2.9
汀間川河口	2.0	2.5	0.5	1.7
瀬嵩の浜	1.9	1.2	1.0	1.4
役所前の浜	3.0	2.0	1.3	2.1
大浦川河口	2.0	1.3	1.8	1.7
大浦湾岩場	0.5	4.3	3.5	2.8
二見海岸	2.3	4.0	4.8	3.7
辺野古前上原公園	0.9	0.7	1.0	0.9
辺野古漁港	2.8	2.8	2.8	2.8
久志の浜	0.9	1.8	0.8	1.2
豊原の浜	1.2	2.0	1.3	1.5
国際交流センター	1.9	1.0	1.5	1.5
ヒーピー海岸交流広場	0.9	1.1	2.3	1.4
宜野座福地川河口	0.8	1.2	1.3	1.1
宜野座ビーチ	2.0	2.2	2.5	2.2
潟原の干潟	0.7	1.0	0.9	0.9
平均値	1.6	1.9	1.9	1.8

注1) 平均滞在時間が1時間未満であった場合は、平均滞在時間で割戻しは行いません。

注2) 辺野古漁港は、アンケート調査未実施の日があるため、3季調査を通しての平均滞在時間をもとに、各調査日の実利用者数を推算しました。

注3) () 内の値は、各季の全体の平均値としました。

表-6.21.1.11 各調査地点における実利用者数（平成19年度）

（単位：人）

	夏 季		秋 季		冬 季		合 計
	8月24日(金)	8月26日(日)	10月9日(火)	10月14日(日)	1月15日(火)	1月13日(日)	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
2) カヌチャビーチ	39	154	76	112	49	36	466
7) 安部浜	601	458	172	211	41	138	1,621
12) 汀間漁港	2	14	0	10	8	8	42
13) 汀間川河口	13	18	42	42	8	40	163
15) 瀬嵩の浜	17	14	31	110	5	81	258
16) 役所前の浜	8	24	18	39	8	29	126
18) 大浦川河口	6	35	26	70	14	29	180
19) 大浦湾岩場	3	0	1	8	1	6	19
25) 二見海岸	7	12	1	15	0	16	51
27) 辺野古前上原公園	7	5	5	12	3	15	47
29) 辺野古漁港	34	28	117	85	26	55	345
30) 豊原の浜	35	52	16	15	34	77	229
37) 久志の浜	23	24	17	30	4	23	121
38) 国際交流センター	27	9	41	26	19	50	172
39) ヒーピー海岸交流広場	24	36	7	23	4	17	111
40) 宜野座福地川河口	5	11	20	10	7	29	82
41) 宜野座ビーチ	7	1	0	18	11	12	49
42) 潟原の干潟	8	12	4	39	3	7	73
合 計	866	907	594	875	245	668	4,155

(イ) 活動特性の把握

利用者の利用形態を季節ごとに整理しました。

【夏季】

夏季調査時の利用形態は、表-6. 21. 1. 12 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、マリンスポーツ・マリンレジャー（グラスボート、マリッジット等）や、海水浴・水遊びによる利用を多数確認しました。その他の地点では、散歩、休憩による利用が多く、加えて、汀間川河口、汀間漁港、大浦川河口、二見海岸、辺野古漁港では、釣りによる利用を確認しました。役所前の浜では、平日・休日ともバーベキューによる利用を確認しました。

表-6. 21. 1. 12 夏季調査時の利用形態（平成 19 年度）

(単位：人)

〈平日調査〉	利用状況											合計
	散歩	砂遊び	バーベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H19. 8. 24												
カヌチャビーチ	139	50	0	0	0	288	50	272	160	11	写真撮影等	970
安部浜	24	0	0	0	0	0	3	0	7	5	漁	39
汀間漁港	0	0	0	31	7	0	0	0	1	0		39
汀間川河口	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	魚捕り	4
瀬高の浜	14	0	0	0	0	0	0	16	2	0		32
役所前の浜	3	8	10	2	1	0	0	0	0	0		24
大浦川河口	5	0	0	7	0	0	0	0	0	1	投網	13
大浦湾岩場	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		3
二見海岸	4	0	0	0	2	0	2	4	4	0		16
辺野古前上原公園	5	0	0	6	0	0	0	0	7	16	遊具遊び等	34
辺野古漁港	4	0	0	8	0	0	0	0	5	1	船の手入れ	18
豊原の浜	5	0	0	0	0	10	0	0	8	0		23
久志の浜	15	6	0	4	3	0	0	0	9	4	ジョギング等	41
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	6	9	ラジコン、スポーツ	15
ヒービー海岸交流広場	7	6	0	0	0	0	0	0	8	3		24
宜野座福地川河口	4	0	0	2	0	0	0	0	15	6		27
宜野座ビーチ	3	0	0	0	0	0	0	0	8	2	漁	13
潟原の干潟	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0		5

(単位：人)

〈休日調査〉	利用状況											合計
	散歩	砂遊び	バーベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H19. 8. 26												
カヌチャビーチ	145	101	0	0	8	205	0	164	110	6	船での移動	739
安部浜	23	22	2	6	10	14	0	0	49	28	遊具遊び、魚捕り	154
汀間漁港	3	0	0	42	0	0	0	0	11	0		56
汀間川河口	0	2	0	14	0	2	0	0	6	3	魚、カニ捕り	27
瀬高の浜	4	0	0	3	0	4	0	6	10	0		27
役所前の浜	4	13	36	0	0	18	0	0	0	0		71
大浦川河口	6	0	0	19	0	21	4	0	20	0		70
大浦湾岩場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
二見海岸	0	0	0	12	15	0	0	0	2	0		29
辺野古前上原公園	2	0	0	0	0	0	0	0	4	22	遊具遊び	28
辺野古漁港	4	0	0	6	5	0	0	0	0	0		15
豊原の浜	5	0	0	0	0	2	0	0	8	9	生物観察	24
久志の浜	18	17	0	5	0	5	0	0	10	6	ゴルフの練習等	61
国際交流センター	2	0	0	0	0	0	0	0	4	17	ラジコン、ジョギング	23
ヒービー海岸交流広場	11	14	0	0	0	0	0	0	11	0		36
宜野座福地川河口	1	6	0	0	0	0	0	0	2	0		9
宜野座ビーチ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1
潟原の干潟	4	0	0	0	1	0	0	0	6	0		11

注) ■：利用状況の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

【秋季】

秋季調査時の利用形態は、表-6.21.1.13 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、マリンスポーツ・マリレジャー（グラスボート、マリジェット等）や、海水浴・水遊びによる利用を多数確認しました。その他の地点では、散歩、休憩による利用が多く、加えて、大浦川河口、大浦湾岩場、二見海岸、辺野古漁港等では、釣りによる利用が多いことを確認しました。その他、特徴的な利用として、以下の利用を確認しました。

- ・ 辺野古前上原公園：公園に面した干潟で地元学生の環境学習（10月9日、延べ80人程度）
- ・ 役所前の浜、大浦川河口：修学旅行客等によるエコツアー（10月14日、両地点とも、延べ40名程度）

表-6.21.1.13 秋季調査時の利用形態（平成19年度）

(単位：人)

〈平日調査〉	H20.1.15	利用状況										合計	
		散策	砂遊び	キャンベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シヌノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
2	カヌチャビーチ	64	0	0	0	0	0	0	2	0	10	船での移動等	76
7	安部浜	20	0	0	2	0	0	0	0	20	7	漁、船の手入れ	49
12	汀間漁港	0	0	0	22	0	0	0	0	5	4	船の手入れ	31
13	汀間川河口	1	0	0	5	0	0	0	0	0	2	拌み	8
15	瀬嵩の浜	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
16	役所前の浜	1	0	0	8	0	0	0	0	1	0		10
18	大浦川河口	5	0	0	1	3	0	0	0	0	16	ゲートボール等	25
19	大浦湾岩場	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0		2
25	二見海岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
27	辺野古前上原公園	14	0	0	0	0	0	0	0	0	12		26
29	辺野古漁港	0	0	0	5	0	2	0	0	0	2	拌み	9
30	豊原の浜	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0		4
37	久志の浜	20	2	0	2	0	0	0	0	12	7	ゴミの焼却、ゴルフ練習	43
38	国際交流センター	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0		5
39	ヒービー海岸交流広場	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0		8
40	宜野座福地川河口	4	0	0	4	0	0	0	0	12	4	ジョギング	24
41	宜野座ビーチ	0	0	0	0	0	0	0	0	3	24	ヨ、モーターボート、フジコン	27
42	湯原の干潟	3	0	0	1	0	0	0	0	2	1	ジョギング	7

(単位：人)

〈休日調査〉	H20.1.13	利用状況										合計	
		散策	砂遊び	キャンベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シヌノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
2	カヌチャビーチ	172	0	0	0	0	0	0	56	7	22	船での移動等	257
7	安部浜	20	0	0	3	9	0	0	0	4	0		36
12	汀間漁港	5	0	0	120	0	0	0	0	28	7	漁の準備	160
13	汀間川河口	3	0	0	2	0	0	0	0	3	0		8
15	瀬嵩の浜	53	3	0	5	0	0	0	16	8	0		85
16	役所前の浜	18	0	0	21	0	0	0	0	0	0		39
18	大浦川河口	4	0	0	28	0	0	0	0	0	20	ゲートボール	52
19	大浦湾岩場	0	0	0	19	3	0	0	0	0	0		22
25	二見海岸	2	0	6	42	9	2	0	0	16	0		77
27	辺野古前上原公園	23	0	0	5	0	0	0	0	6	21	遊具遊び	55
29	辺野古漁港	6	0	0	30	0	0	0	0	4	0		40
30	豊原の浜	9	3	0	2	0	0	0	0	6	3	船での移動	23
37	久志の浜	36	6	0	7	4	0	2	0	35	6	ジョギング、ゴルフ練習等	96
38	国際交流センター	4	0	0	0	0	0	0	0	1	6		11
39	ヒービー海岸交流広場	18	6	0	6	0	0	0	2	4	3	漁	39
40	宜野座福地川河口	16	18	0	4	0	0	0	0	20	4	清掃作業、ジョギング	62
41	宜野座ビーチ	0	2	12	2	1	0	0	0	1	12	漁、ゴルフ練習	30
42	湯原の干潟	13	0	0	3	3	0	0	0	8	2	ジョギング等	29

注) ■：利用状況の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

【冬季】

冬季調査時の利用形態は、表-6.21.1.14 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、散歩及びマリンスポーツ・マリレジャー（グラスボート、マリジェット等）の利用が大部分でした。その他の地点では、散歩、休憩による利用が多く、加えて、大浦川河口、大浦湾岩場、二見海岸、辺野古漁港、汀間漁港等では、釣りによる利用が多いことを確認しました。大浦川河口のゲートボール場では、地元住民によるゲートボールの利用を確認しました。また、1月15日は、旧暦12月8日のムーチーの日にあたり、汀間川河口、辺野古漁港において少数ながら拝所への拝みも確認しました。

表-6.21.1.14 冬季調査時の利用形態（平成19年度）

(単位：人)

(平日調査)	H20.1.15	利用状況										合計	
		散歩	砂遊び	バーベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
	カヌチャビーチ	64	0	0	0	0	0	0	2	0	10	船での移動等	76
	安部浜	20	0	0	2	0	0	0	0	20	7	漁、船の手入れ	49
	汀間漁港	0	0	0	22	0	0	0	0	5	4	船の手入れ	31
	汀間川河口	1	0	0	5	0	0	0	0	0	2	拝み	8
	瀬嵩の浜	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
	役所前の浜	1	0	0	8	0	0	0	0	1	0		10
	大浦川河口	5	0	0	1	3	0	0	0	0	16	ゲートボール等	25
	大浦湾岩場	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0		2
	二見海岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	辺野古前上原公園	14	0	0	0	0	0	0	0	0	12		26
	辺野古漁港	0	0	0	5	0	2	0	0	0	2	拝み	9
	豊原の浜	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0		4
	久志の浜	20	2	0	2	0	0	0	0	12	7	ゴミの焼却、ゴルフ練習	43
	国際交流センター	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0		5
	ヒービー海岸交流広場	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0		8
	宜野座福地川河口	4	0	0	4	0	0	0	0	12	4	ジョギング	24
	宜野座ビーチ	0	0	0	0	0	0	0	0	3	24	※、カーターボート、ラジコン	27
	湯原の干潟	3	0	0	1	0	0	0	0	2	1	ジョギング	7

(単位：人)

(休日調査)	H20.1.13	利用状況										合計	
		散歩	砂遊び	バーベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
	カヌチャビーチ	172	0	0	0	0	0	0	56	7	22	船での移動等	257
	安部浜	20	0	0	3	9	0	0	0	4	0		36
	汀間漁港	5	0	0	120	0	0	0	0	28	7	漁の準備	160
	汀間川河口	3	0	0	2	0	0	0	0	3	0		8
	瀬嵩の浜	53	3	0	5	0	0	0	16	8	0		85
	役所前の浜	18	0	0	21	0	0	0	0	0	0		39
	大浦川河口	4	0	0	28	0	0	0	0	0	20	ゲートボール	52
	大浦湾岩場	0	0	0	19	3	0	0	0	0	0		22
	二見海岸	2	0	6	42	9	2	0	0	16	0		77
	辺野古前上原公園	23	0	0	5	0	0	0	0	6	21	遊具遊び	55
	辺野古漁港	6	0	0	30	0	0	0	0	4	0		40
	豊原の浜	9	3	0	2	0	0	0	0	6	3	船での移動	23
	久志の浜	36	6	0	7	4	0	2	0	35	6	ジョギング、ゴルフ練習等	96
	国際交流センター	4	0	0	0	0	0	0	0	1	6		11
	ヒービー海岸交流広場	18	6	0	6	0	0	0	2	4	3	漁	39
	宜野座福地川河口	16	18	0	4	0	0	0	0	20	4	清掃作業、ジョギング	62
	宜野座ビーチ	0	2	12	2	1	0	0	0	1	12	漁、ゴルフ練習	30
	湯原の干潟	13	0	0	3	3	0	0	0	8	2	ジョギング等	29

注) ■：利用状況の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

(ウ) その他（夜間の海岸域）

海岸域の夜間の利用として、灯火を利用した魚介類の採取や花火等が挙げられますが、漁業関係者への聞き取りや既存資料調査結果からは、まとまった人数の利用はないものと思われます。

なお、当該地域周辺の漁業関係者へ聞き取り調査を行った結果、少人数ですが、夏季の休日においては、豊原地区の海岸でキャンプが行われ、冬季においては、大潮の時に辺野古住民がいざり漁をしている事が確認されています。

b) アンケート調査結果（利用者の感想）

主要な触れ合いの場に対する価値認識を、利用者へのアンケート調査により表-6.21.1.15に示すとおり把握しました。「眺めがよい」、「静かである」といった、快適さが感想として挙げられる地点が多い傾向がありました。また、釣りや潮干狩りの利用が多い地点では、「魚介が獲れる」点を感想として挙げる利用者が多い傾向がありました。

表-6.21.1.15 利用者の感想（夏季～冬季の累積）（平成19年度）

	利用者の感想										備考
	眺めが良い	人が多くない	トイレがある	家から近い	安全である	静かである	無料である	魚介が捕れる	駐車場がある	その他	
安部浜	76	63	0	36	39	70	43	31	3	3	憩いの場である等。
汀間漁港	8	2	0	8	6	9	3	15	8	1	のんびりできる。
汀間川河口	1	1	0	0	2	2	0	2	2	0	
瀬嵩の浜	10	8	0	6	6	10	4	0	2	1	砂がきれい等。
役所前の浜	14	4	0	6	4	14	5	1	0	0	
大浦川河口	17	7	0	8	3	13	9	7	4	1	マングローブが良い。
大浦湾岩場	3	1	0	0	1	0	0	7	1	0	
二見海岸	5	4	0	2	4	7	0	7	4	0	
辺野古前上原公園	28	9	7	17	18	21	8	7	4	2	遊具がある。
辺野古漁港	2	2	0	2	1	3	1	3	1	0	
久志の浜	44	36	0	33	24	44	7	6	8	2	なじみがある等。
豊原の浜	21	6	0	11	4	9	3	1	2	1	ペットを同伴できる。
宜野座ビーチ	7	5	0	3	1	4	2	3	0	0	
ヒービー海岸交流広場	15	7	3	10	7	8	4	3	4	1	泳げる。
宜野座福地川河口	10	8	4	9	4	19	0	2	8	0	歩きやすい。
国際交流センター	2	1	1	2	2	2	3	1	2	1	友人と集まれる。
潟原の干潟	7	6	0	5	4	10	4	2	5	1	潮風が気持ちいい。

注) ■：利用者の感想の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

c) 地元施設への聞き取り及び利用状況調査

(ア) 地元施設への聞き取り

聞き取り調査は、各地区の区長にご協力をいただきました（聞き取り調査実施日及び聞き取り対象は、表-6. 21. 1. 6 参照）。調査結果は表-6. 21. 1. 16 に示すとおりです。

また、各地区の公民館等では、年中行事が行われています。年中行事の場となっている地点において、調査期間中に実施された年中行事を表-6. 21. 1. 17 に示しました。

表-6. 21. 1. 16 地元施設への聞き取り調査結果（平成 19 年度）

地点名	聞き取り結果
三原地区会館前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、以前あった場所（現在の、三原区あしびなー）から、2006年度に現在の場所に引っ越した。 地区外から訪れる利用者はほとんどない。 本年度からは年中行事も公民館広場で実施する予定である。
汀間地区会館前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、古くから現在の場所にあり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館広場に拝所があり、年中行事が行われている。 地元の子供たちが遊具やバスケットコートで遊ぶことがある。
瀬嵩区公民館前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、古くから現在の場所にあり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館広場で、年中行事が行われている。 地元の子供たちが遊具等で遊ぶことがある。
大浦集落センター前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、古くから現在の場所にあり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館広場で、年中行事が行われている。 地元の子供たちが遊具等で遊ぶことがある。
大川集落センター前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、古くから現在の場所にあり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館内で、年中行事が行われている。 地元の子供たちが遊ぶことはない。
二見コミュニティーセンター前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、古くから現在の場所にあり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館横の広場で、年中行事が行われている。 地元の子供たちが集まって遊ぶことはほとんどない。
楚久川河口の公園	<ul style="list-style-type: none"> 当地点は、昔はやんばる船の港としてにぎわっていた。 地区外から訪れる利用者はいない。 当地点で、以前は年中行事が行われていたが、現在は行われていない。 地元の子供たちが集まって遊ぶことはほとんどない。
辺野古近隣公園	<ul style="list-style-type: none"> 当公園は、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 この場所で年中行事等は行われない。 地元の子供たちが遊具等で遊ぶことがある。 隣接するミニゴルフ場は、地元住民の有志らによって整備された。
豊原地区会館前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、以前あった場所（現在の豊原コミュニティーセンター）から今の場所に移設された施設であり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館のグラウンドで、年中行事やスポーツ大会が行われている。 地元の子供たちが集まって遊ぶことはほとんどない。
久志区公民館前	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館は、古くから現在の場所にあり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公民館広場で、年中行事が行われている。 地元の子供たちが遊具等で遊ぶことがある。
松田農村公園	<ul style="list-style-type: none"> 当公園は、公民館横に整備された公園であり、地元住民の憩いの場となっている。 地区外から訪れる利用者はほとんどいない。 当公園で、年中行事が行われている。 地元の子供たちが遊具等で遊ぶことがある。

表-6.21.1.17 各地区会館などで行われる年中行事（平成19年度）

	年月日	年中行事
1 三原地区会館前	平成19年7月15日	ゲートボール大会
	9月16日	敬老会
	10月14日	区民環境美化作業、グラウンドゴルフ大会
	平成20年2月17日	地域農産物展示即売会
2 汀間地区会館前	平成19年6月17日	アブシバレー
	6月23日	慰霊祭
	6月29日	角力大会（旧5月御際）
	8月28日	盆行事（舞台踊り）
	9月25日	十五夜
	9月 ^{注)}	敬老会
	10月28日	十八夜
	12月25日	切支丹祭
	平成20年1月1日	新春トリムマラソン大会
	1月3日	川拌み、新年会
3 瀬高区公民館前	平成19年6月21日	平和祈願祭
	8月18日	盆踊り
	9月17日	敬老会
	12月24日	共同作業、忘年会
	平成20年1月1日	初拌み、お宮
	1月6日	新年会
4 大浦集落センター前	平成19年6月3日	農事懇談会
	9月23日	敬老会
	12月26日	キリシタン、忘年会
	平成19年9月 ^{注)}	敬老会
5 大川集落センター前	平成20年1月 ^{注)}	新年会
	平成19年6月20日	アブシバレー
6 二見コミュニティーセンター	7月15日	ゲートボール大会
	9月15日	敬老会
	10月10日	グラウンドゴルフ大会
	12月28日	餅つき大会
	平成20年1月15日	新年会
	7 楚久川河口の公園	—
8 辺野古近隣公園	平成19年6月	交流プラザ落成祝賀会、区民美化作業
	7月15日	合同清掃作業
	8月15日	平和祈願祭
	8月26、28、29日	村踊い
	9月15日	敬老会
	平成19年10月 ^{注)}	区民美化作業
	平成19年11月 ^{注)}	学事奨励会
	12月16日	合同清掃作業
	12月25日	キリシタン
	平成20年1月3日	新春走り始め大会など
9 豊原地区会館前	平成19年8月 ^{注)}	親子ソフトボール大会
	8月18日	夏祭り
	9月15日	敬老会
	12月23日	キリシタン
	平成20年1月3日	新春走り初め・新年会
10 久志区公民館前	平成19年6月17日	アブシバレーハーレー競漕大会
	6月23日	慰霊祭
	6月29日	角力大会（旧5月御際）
	8月28日	盆行事（舞台踊り）
	9月25日	十五夜
	9月 ^{注)}	敬老会
	10月28日	十八夜
	12月25日	切支丹祭
	平成20年1月3日	川拌み、新年会
	11 松田農村公園	平成19年6月29日
7月8日		第1回まつだまつり
7月28日		六月ウマチ
8月26日		盆踊り
9月17日		敬老会
11月11日		区民運動会
12月9日		ターゲットバードゴルフ大会

注) 日付の確認に至らなかった。

(イ) 利用状況

地元施設への聞き取り調査地点の利用状況は、カウント調査と同日に、調査員が午前8時台から午後18時台まで2時間に1回ごと調査地点を巡回し、2時間ごとの利用者数とその利用状況を記録しました。

各地点の利用者数の累積値（延べ人数）と利用状況は、表-6.21.1.18 に示すとおりです。なお、詳細な利用状況は、資料編に示しました。

利用が確認された地点における利用形態としては、休憩、ゲートボール等の利用を多く確認しました。二見コミュニティーセンター前、及び楚久川河口の公園は、平日、休日ともに利用は確認できませんでした。

表-6. 21. 1. 18 地元施設への聞き取り調査地点における調査結果（平成19年度）

地点名		調査時期		利用者数 (人)	備考（利用内容）
1	三原地区会館前	夏季	平日(8/24)	0	—
			休日(8/26)	0	—
		秋季	平日(10/9)	22	ゲートボール、散歩等
			休日(10/14)	84	清掃作業、ゲートボール等
		冬季	平日(1/15)	8	ゲートボール
			休日(1/13)	12	ゲートボール等
2	汀間地区会館前	夏季	平日(8/24)	21	散歩、休憩等
			休日(8/26)	40	休憩、遊具遊び等
		秋季	平日(10/9)	14	休憩、ゲートボール等
			休日(10/14)	31	草狩り、休憩等
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	35	ゲートボール、バーベキュー等
3	瀬嵩区公民館前	夏季	平日(8/24)	4	休憩
			休日(8/26)	4	休憩
		秋季	平日(10/9)	0	—
			休日(10/14)	3	草刈り、遊具遊び
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	3	遊具遊び
4	大浦集落センター前	夏季	平日(8/24)	2	虫取り
			休日(8/26)	0	—
		秋季	平日(10/9)	0	—
			休日(10/14)	2	休憩
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	0	—
5	大川集落センター前	夏季	平日(8/24)	0	—
			休日(8/26)	0	—
		秋季	平日(10/9)	0	—
			休日(10/14)	1	休憩
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	4	散歩、野球
6	二見コミュニティーセンター前	夏季	平日(8/24)	0	—
			休日(8/26)	0	—
		秋季	平日(10/9)	0	—
			休日(10/14)	0	—
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	0	—
7	楚久川河口の公園	夏季	平日(8/24)	0	—
			休日(8/26)	0	—
		秋季	平日(10/9)	0	—
			休日(10/14)	0	—
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	0	—
8	辺野古近隣公園	夏季	平日(8/24)	2	休憩
			休日(8/26)	1	ゴルフ
		秋季	平日(10/9)	1	ゴルフ練習
			休日(10/14)	7	遊具遊び、休憩
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	11	遊具遊び等
9	豊原地区会館前	夏季	平日(8/24)	10	休憩等、犬の散歩
			休日(8/26)	6	休憩、野球
		秋季	平日(10/9)	13	休憩、ゲートボール等
			休日(10/14)	0	—
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	10	歓談、犬の散歩
10	久志区公民館前	夏季	平日(8/24)	15	盆踊り準備、休憩等
			休日(8/26)	0	—
		秋季	平日(10/9)	1	休憩
			休日(10/14)	0	—
		冬季	平日(1/15)	16	散歩
			休日(1/13)	0	—
11	松田農村公園	夏季	平日(8/24)	0	—
			休日(8/26)	32	盆踊り準備等
		秋季	平日(10/9)	0	—
			休日(10/14)	10	ゲートボール
		冬季	平日(1/15)	0	—
			休日(1/13)	4	遊具遊び

d) 施設への聞き取り調査

(ア) 施設の利用者数

調査地域内の有料施設の利用者数及び、カヌチャベイホテル&ヴィラズが実施しているクジラ島（平島）バケーションツアー（以下、「平島ツアー」と呼ぶ）利用者の聞き取り調査結果は、表-6. 21. 1. 19 に示すとおりです。

カヌチャベイホテル&ヴィラズの利用者は、施設の宿泊者数です。同施設は2月を除き毎月15,000人以上の宿泊があり、ほぼ一年を通じて多くの利用があります。中でも夏季の利用者が多く、7月の利用者は最多で28,329人となっています。また、平島ツアーでは7月の利用が最多で799人となっています。

ゴルフ場は、夏季より冬季に利用者数の多い傾向が見られました。21世紀ゴルフクラブでは、1月に最多の3,021人の利用を記録し、宜野座カントリークラブでは12月に最多の5,549人となっています。

表-6. 21. 1. 19 施設への聞き取り調査結果（平成19年度）

年月	カヌチャベイ ホテル&ヴィラズ	平島ツアー	21世紀ゴルフ クラブ	宜野座カントリー クラブ
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
H19年6月	23,614	184	1,779	4,489
7月	28,329	799	1,691	4,017
8月	22,001	675	1,680	4,378
9月	25,334	403	1,856	5,294
10月	20,441	212	2,040	5,451
11月	20,861	営業なし ^{注)}	2,419	4,574
12月	22,341	営業なし ^{注)}	2,888	5,549
H20年1月	19,610	営業なし ^{注)}	3,021	5,481
2月	2,359	営業なし ^{注)}	2,194	5,204
3月	19,614	営業なし ^{注)}	2,425	4,993
合計	204,504	2,273	21,993	49,430

注) 平島ツアーは、11月～3月は営業していません。

(イ) 施設で行われるイベント

施設におけるイベントに関する聞き取り調査結果は、表-6.21.1.20 及び表-6.21.21 に示すとおりです。21世紀ゴルフクラブでは、全県規模での参加があるイベントは実施されていませんでした。

表-6.21.1.20 カヌチャベイホテル&ヴィラズで行われるイベントと参加数
(平成19年度)

年月日	イベント名	参加者
平成19年11月1日	イルミネーション点灯式	約400名
12月2日	LPGAプロアマチャリティゴルフ	約100名
12月31日	カウントダウンイリュージョンパーティー	約500名
平成20年2月11日	シーサーカップ	数十名

表-6.21.1.21 宜野座カントリークラブで行われるイベントと参加数 (平成19年度)

年月日	イベント名	参加者
平成19年6月1日	業者会コンペ	約130名
8月1日	ジュニア大会	約85名
12月1日	3周年記念コンペ	約240名

e) 主要な人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態

(ア) アンケート調査におけるアクセス特性の把握

主要な触れ合いの場へのアクセス特性を、利用者へのアンケート調査により把握しました。アクセス特性とは、主要な触れ合いの場へのアクセス手段及び誘致圏を指すものとします。

主要な触れ合いの場へのアクセス手段のアンケート調査結果（夏～冬季調査累積）を表-6. 21. 1. 22 に示しました。大部分の地点で自家用車及び徒歩・自転車によるアクセスが多数を占めました。

表-6. 21. 1. 22 アクセス手段のアンケート調査結果（夏～冬季累積）（平成19年度）

（単位：人）

		アクセス手段 ^{注)}			
		自家用車	レンタカー	徒歩・自転車	その他(バイク等)
7	安部浜	50	1	38	1
12	汀間漁港	27	1	2	0
13	汀間川河口	4	0	2	0
15	瀬嵩の浜	18	3	3	1
16	役所前の浜	11	5	4	3
18	大浦川河口	19	1	9	2
19	大浦湾岩場	9	0	0	0
25	二見海岸	10	1	1	0
27	辺野古前上原公園	19	2	27	0
29	辺野古漁港	5	1	2	0
30	久志の浜	26	3	31	1
37	豊原の浜	25	0	1	0
38	宜野座ビーチ	12	1	1	0
39	ヒーピー海岸交流広場	21	0	4	1
40	宜野座福地川河口	17	1	14	2
41	国際交流センター	9	0	0	1
42	鴻原の干潟	12	0	4	1

注) ■ : アクセス手段の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

(イ) 施設への聞き取り調査におけるアクセス特性の把握

施設へのアクセス特性の聞き取り調査結果は、図-6. 21. 1. 7 に示すとおりです。

カヌチャベイホテル&ヴィラズの利用者は県外居住者が多く、主要な誘致圏は全国規模です。平島ツアーの誘致圏は、カヌチャベイホテル&ヴィラズと同値としました。21世紀ゴルフクラブの利用者は市内居住者が多く、宜野座カントリークラブは県内中南部からの利用が多い傾向がありました。

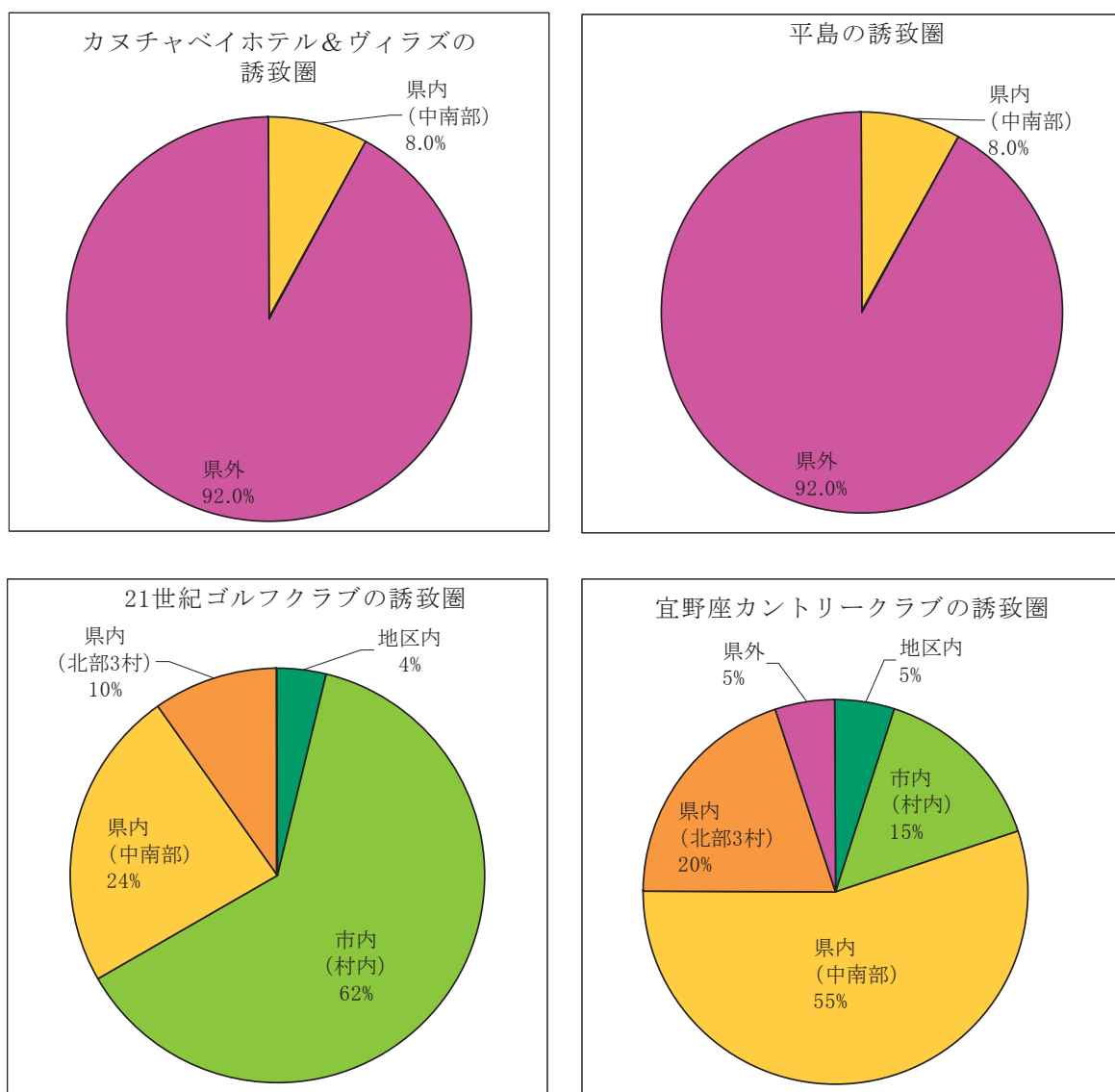


図-6. 21. 1. 7 施設及び平島ツアーへのアクセス特性 (平成 19 年度)

3) 現地調査結果

(a) 人と自然との触れ合い活動の場の概況

a) 現地調査

触れ合いの場の概要では、平成 19 年度と同じ地点を同じ調査方法により踏査を実施しました。その結果、各地区ともに新たな施設などは増えていませんでした（調査地点は図-6.21.1.4、資料編を参照）。

b) 主要な人と触れ合い活動の場の選定根拠及び調査方法の選択

平成 20 年度における現地調査は、基本的に、平成 19 年度と同じ地点にて調査を実施しました。

なお、平島以外の調査地点は、4 季の調査を実施しましたが、春季調査については、最も利用者数が多くなる「浜下り」の時期（3 月後半～4 月前半）に実施しました。平島については、地元施設への聞き取り調査を追加実施しました。また、渡し船による平島ツアーが行われている時期（夏季、秋季）に合わせて現地調査を表-6.21.1.23 に示すとおり実施しました。

調査地点及び調査方法選定フローは図-6.21.1.8 に示すとおりであり、調査位置を図-6.21.1.9 に示しました。

表-6.21.1.23 調査方法選定一覧（平成20年度）

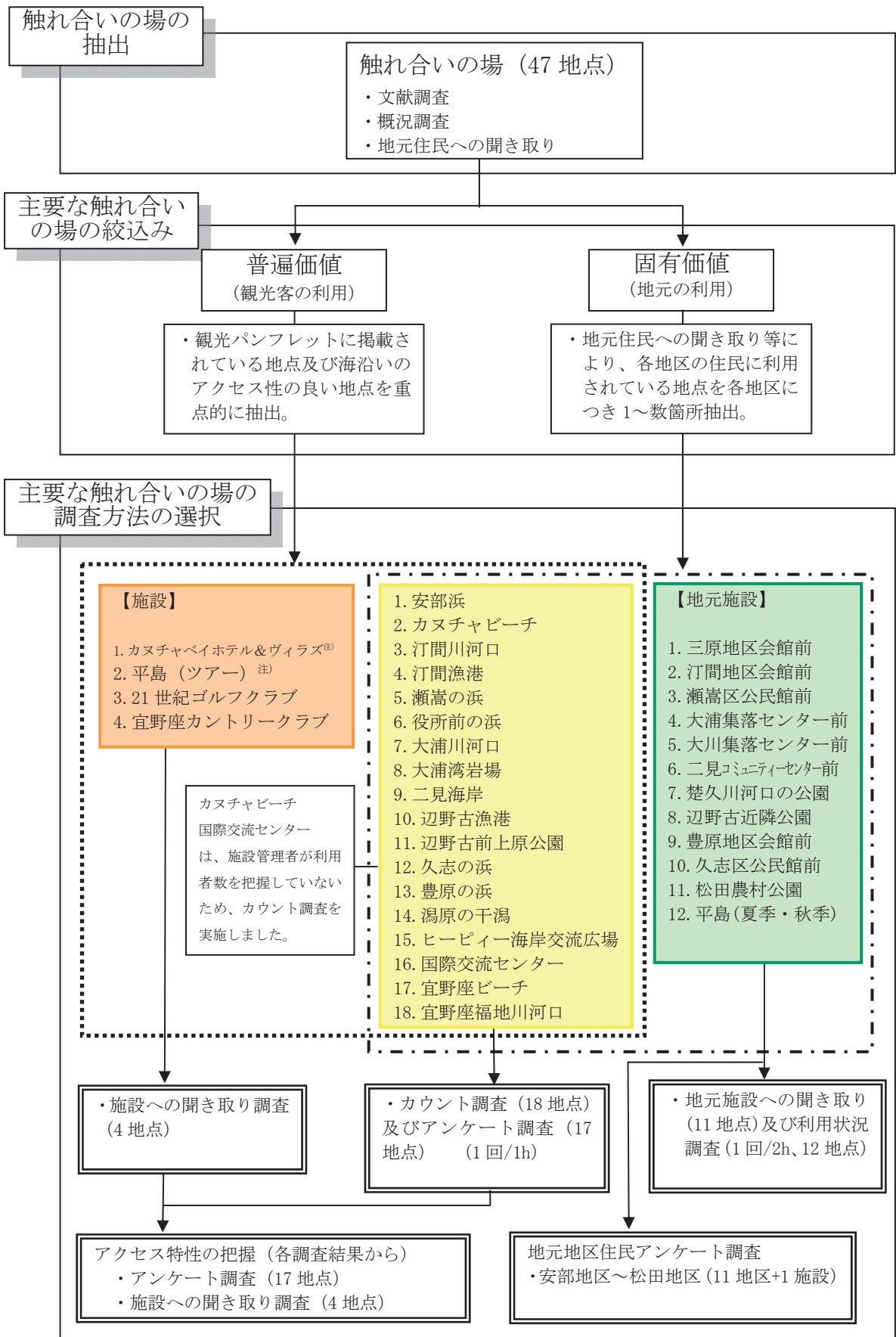
地区	No.	触れ合いの場	注1) 選出結果	調査方法 ^{注2)注3)}				施設への聞き取り調査	浜下り調査	人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態	地元地区住民アンケート調査	
				カウント調査及びアンケート調査 (1回/1h)		地元施設への聞き取り及び利用状況調査 (1回/2h)						
				カウント調査	アンケート調査	聞き取り調査	利用状況調査					
陸上	1	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	○					◎		◎	安部地区から松田地区までの11地区及び1施設を対象としました。	
	2	カヌチャビーチ	○	◎								
	3	安部ダム	×									
	4	安部地区会館前	×									
	5	安部灯台	×									
	6	安部崎	×									
	7	安部浜	○	◎	◎					◎		
	8	三原地区会館前	○			◎	◎					
	9	ゲーヤー滝	×									
	10	汀間川上流	×									
	11	汀間地区会館前	○			◎	◎					
	12	汀間漁港	○	◎	◎					◎		
	13	汀間川河口	○	◎	◎					◎		
	14	瀬嵩区公民館前	○			◎	◎					
	15	瀬嵩の浜	○	◎	◎					◎		
	16	役所前の浜	○	◎	◎					◎		
	17	大浦集落センター前	○			◎	◎					
	18	大浦川河口	○	◎	◎					◎		
	19	大浦湾岩場	○	◎	◎					◎		
	20	大川集落センター前	○			◎	◎					
	21	大浦川上流	×									
	22	楚久川河口の公園	○			◎	◎					
	23	ゆかり牧場	×									
	24	二見コミュニティセンター前	○			◎	◎					
	25	二見海岸	○	◎	◎					◎		
	26	辺野古の浜	×									
	27	辺野古前上原公園	○	◎	◎					◎		
	28	辺野古近隣公園	○			◎	◎					
	29	辺野古漁港	○	◎	◎					◎		
	30	豊原の浜	○	◎	◎					◎		
	31	豊原地区会館前	○			◎	◎					
	32	オー川河口	×									
	33	21世紀ゴルフクラブ	○					◎		◎		
	34	久志の浜	○	◎	◎					◎		
	35	加知味崎付近磯	×									
	36	加知味崎	×									
	37	久志区公民館前	○			◎	◎					
	38	国際交流センター	○	◎	◎					◎		
	39	ヒービー海岸交流広場	○	◎	◎					◎		
	40	宜野座福地川河口	○	◎	◎					◎		
	41	宜野座ビーチ	○	◎	◎					◎		
	42	潟原の干潟	○	◎	◎					◎		
	43	宜野座カントリークラブ	○					◎		◎		
	44	松田農村公園	○			◎	◎					
	海上	45	長島	×								
		46	平島 ^{注4)}	○				◎	◎			◎
		47	安部オール島	×								
合計			33	18	17	11	12	4		21	12	

注1) 選出結果 (○：選出 ×：非選出)

注2) ◎：調査実施

注3) 春季の調査は、最も利用者数が多くなる「浜下り」の時期（3月後半～4月前半）に実施しました。

注4) 平島は、島の利用が多くなる時期にあわせて、夏季と秋季で調査を実施しました。



注) 同一施設管理者に聞き取り調査を行いました。

図-6.21.1.8 調査地点及び調査方法選定フロー

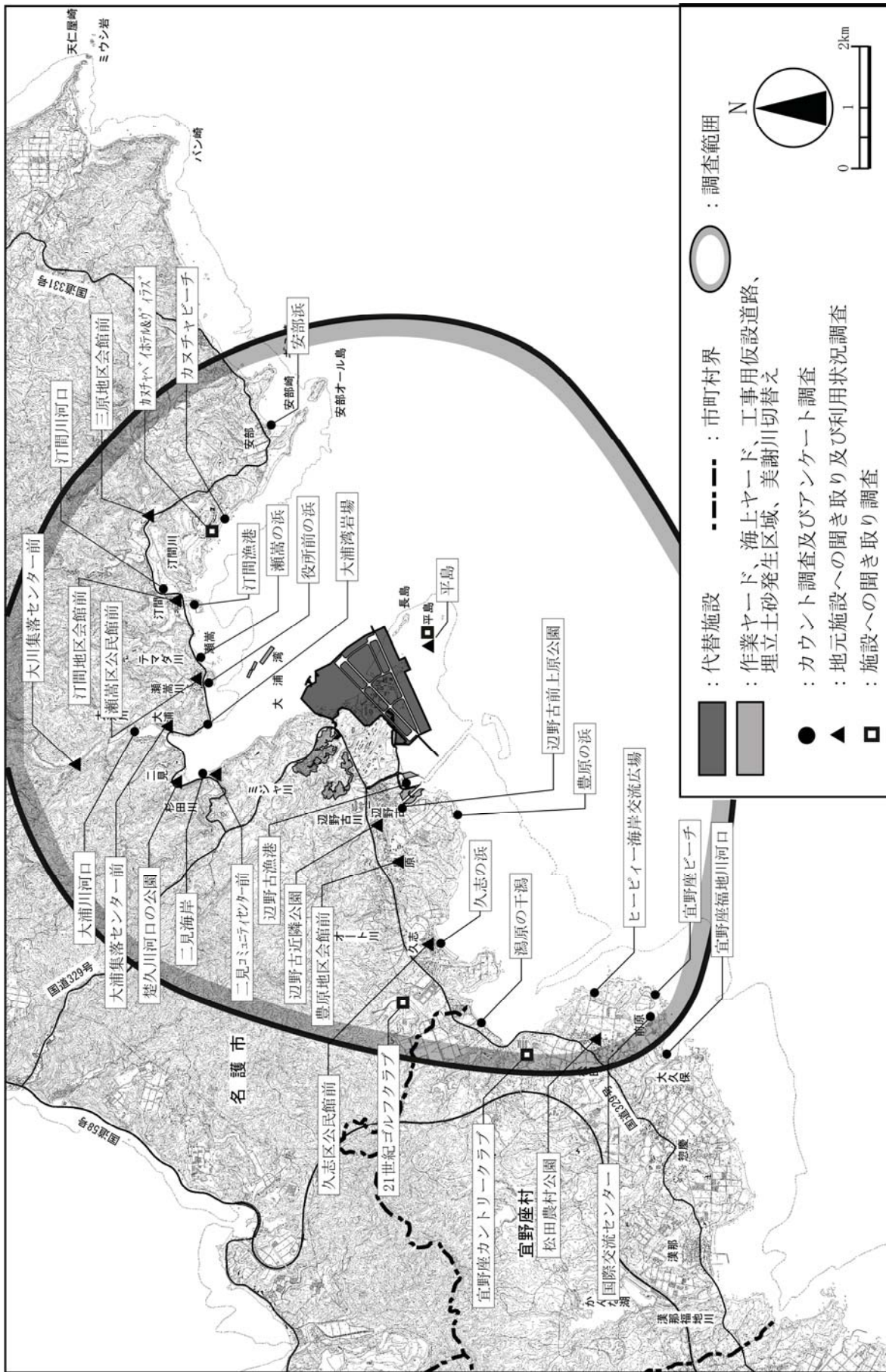


図-6.21.1.9 主要な人と自然との触れ合い活動の場の調査位置

(b) 主要な人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境

a) カウント調査

(ア) 利用者数の把握

主要な触れ合いの場の利用者数を、カウント調査によって把握しました。調査日における利用者数は、午前8時台から午後18時台までの毎時の利用者数の累積値（延べ人数）として計上しました。

4季調査を通してのカウント調査地点における利用者数調査結果は、表-6.21.1.24に示すとおりです。

表-6.21.1.24 カウント調査地点における延べ利用者数（平成20年度）

（単位：人）

	春季		夏季		秋季		冬季		合計
	3月24日(月)	4月6日(日)	8月25日(月)	8月24日(日)	11月4日(火)	11月23日(日)	1月7日(水)	1月11日(日)	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
カヌチャビーチ	300	527	271	285	193	237	190	239	2,242
安部浜	65	236	22	47	12	43	9	87	521
汀間漁港	42	98	12	114	24	112	69	138	609
汀間川河口	11	53	5	16	5	34	2	13	139
瀬嵩の浜	42	49	63	365	24	63	31	64	701
役所前の浜	15	42	11	57	6	11	5	9	156
大浦川河口	28	58	12	52	14	25	23	29	241
大浦湾岩場	9	10	3	45	13	12	16	18	126
二見海岸	11	224	1	43	4	4	18	71	376
辺野古前上原公園	33	108	16	11	10	30	26	51	285
辺野古漁港	35	78	8	39	20	78	9	82	349
豊原の浜	17	40	5	508	9	28	8	19	634
久志の浜	103	105	22	26	20	53	49	81	459
国際交流センター	10	7	1	0	21	6	0	2	47
ヒービー海岸交流広場	27	165	70	119	15	34	30	31	491
宜野座福地川河口	18	58	12	33	12	61	13	26	233
宜野座ビーチ	23	41	0	3	1	9	3	5	85
潟原の干潟	12	54	5	6	7	4	20	14	122
合計	801	1,953	539	1,769	410	844	521	979	7,816

注) 調査日における利用者数は、午前8時台から午後18時台までの毎時の利用者数の累積値（延べ人数）です。

【実利用者数の算出】

表-6.21.1.24で示した数値は、1時間毎に計測した利用者数の累積値（延べ人数）です。1人1時間の利用で1人として計上します。例えば調査地点を一人の利用者が2時間利用した場合は2人として計上しています。

一方で、利用者へのアンケート調査により利用者の各調査地点での滞在時間を表-6.21.1.25に示すとおり把握しました。従って、カウント調査で確認した利用者数の累積値を、把握した平均滞在時間で割り戻すことにより、重複カウントなしの利用者数（以下、実利用者数と呼びます。）が推定できます。ただし、平均滞在時間が1時間未満の場合は、重複カウントは起こらないため平均滞在時間による割戻しはしないものとししました。

以上の前提条件をもとに各調査日における（累積値ではありません）実利用者数を表-6.21.1.26に示すとおり算出しました。

表-6. 21. 1. 25 各調査地点における利用者の平均滞在時間（平成 20 年度）

（単位：時間）

	春季	夏季	秋季	冬季	平均値
カヌチャビーチ	(1.6)	(2.1)	(1.1)	(1.4)	(1.6)
安部浜	2.4	1.8	1.5	1.4	1.8
汀間漁港	3.1	1.0	1.6	2.9	2.1
汀間川河口	1.4	1.5	1.0	3.8	1.9
瀬嵩の浜	0.9	2.8	0.5	0.6	1.2
役所前の浜	0.9	2.2	1.3	0.6	1.2
大浦川河口	1.1	2.8	1.1	1.2	1.5
大浦湾岩場	2.4	2.7	0.6	2.3	2.0
二見海岸	3.3	2.2	1.3	2.0	2.2
辺野古前上原公園	0.9	(2.1)	1.2	1.2	1.3
辺野古漁港	2.8	2.1	2.1	2.1	2.2
豊原の浜	1.0	4.5	1.7	1.0	2.0
久志の浜	1.0	1.5	1.1	0.6	1.0
国際交流センター	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0
ヒーピィー海岸交流広場	1.1	2.1	1.1	1.2	1.4
宜野座福地川河口	1.1	1.3	1.1	0.3	1.0
宜野座ビーチ	2.6	2.0	0.4	1.0	1.5
潟原の干潟	0.6	(2.1)	0.3	1.0	1.0
平均値	1.6	2.1	1.1	1.4	1.5

注 1) 平均滞在時間が 1 時間未満であった場合は、平均滞在時間で割戻しは行いません。

注 2) 辺野古漁港は、アンケート調査未実施の日があるため、3 季調査を通しての平均滞在時間をもとに、各調査日の実利用者数を推算しました。

注 3) () 内の値は、各季の全体の平均値としました。

表-6. 21. 1. 26 各調査地点における実利用者数（平成 20 年度）

（単位：人）

	春季		夏季		秋季		冬季		合 計
	3月24日(月)	4月6日(日)	8月25日(月)	8月24日(日)	11月4日(火)	11月23日(日)	1月7日(水)	1月11日(日)	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
カヌチャビーチ	185	324	129	136	175	215	133	168	1,465
安部浜	27	97	12	26	8	29	6	61	266
汀間漁港	14	32	12	114	15	70	24	47	328
汀間川河口	8	39	3	11	5	34	1	3	104
瀬嵩の浜	42	49	23	130	24	63	31	64	426
役所前の浜	15	42	5	26	5	9	5	9	116
大浦川河口	25	53	4	19	13	24	19	24	181
大浦湾岩場	4	4	1	17	13	12	7	8	66
二見海岸	3	67	0	20	3	3	9	36	141
辺野古前上原公園	33	108	4	19	9	26	22	44	265
辺野古漁港	13	28	0	19	10	38	4	40	152
豊原の浜	17	39	3	339	9	27	8	19	461
久志の浜	103	105	5	6	12	32	48	80	391
国際交流センター	10	7	1	0	21	6	0	2	47
ヒーピィー海岸交流広場	25	151	33	57	14	31	24	25	360
宜野座福地川河口	16	53	9	25	11	55	13	26	208
宜野座ビーチ	9	16	0	2	1	9	3	5	45
潟原の干潟	12	54	2	3	7	4	20	14	116
合 計	561	1,268	246	969	355	687	377	675	5,138

(イ) 活動特性の把握

利用者の利用形態を季節ごとに整理しました。

【春季】

春季調査時の利用形態は、表-6. 21. 1. 27 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、平日、休日調査ともに散歩及び砂遊びによる利用が多数を占めていました。休日調査時は、安部浜、瀬嵩の浜、役所前の浜、大浦湾岩場、二見海岸、豊原の浜、ヒーピィー海岸交流広場、及び宜野座ビーチでの潮干狩り（浜下り）による利用が多数（利用形態の上位 2 位以内）を占めていました。大浦川河口のゲートボール場では地元住民によるゲートボールの利用を確認しました。

表-6. 21. 1. 27 春季調査時の利用形態（平成 20 年度）

(単位：人)

(平日調査)	カヌチャビーチ	利用状況										合計	
		散歩	砂遊び	キャンベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シヌノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H20. 3. 24	カヌチャビーチ	98	129	0	2	0	2	8	61	0	0	300	
	安部浜	15	11	0	6	10	0	0	0	17	6	スポーツ	65
	汀間漁港	4	0	0	38	0	0	0	0	0	0		42
	汀間川河口	3	0	0	1	0	0	0	0	2	5	漁	11
	瀬嵩の浜	24	0	0	4	0	0	0	0	11	3	漁船・ゴルフ練習・草刈	42
	役所前の浜	9	0	0	0	0	0	0	0	6	0		15
	大浦川河口	2	0	0	0	0	0	0	0	4	22	マダロフ見学・缶拾い	28
	大浦湾岩場	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0		9
	二見海岸	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0		11
	辺野古前上原公園	6	0	0	0	0	0	0	0	16	11	遊具遊び・野球・サッカー	33
	辺野古漁港	3	0	0	27	0	0	0	0	5	0		35
	豊原の浜	9	0	0	0	7	0	0	0	0	1	三線弾き	17
	久志の浜	22	31	0	0	2	0	0	0	39	9	漁・写真撮影・ゴルフ	103
	国際交流センター	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2	ジョギング・ラジコン	10
	ヒーピィー海岸交流広場	13	0	0	0	1	0	0	0	13	0		27
	宜野座福地川河口	8	0	0	0	3	0	0	0	7	0		18
	宜野座ビーチ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	22	漁船・漁	23
	潟原の干潟	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0		12

(単位：人)

(休日調査)	カヌチャビーチ	利用状況										合計	
		散歩	砂遊び	キャンベキュー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シヌノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H20. 4. 6	カヌチャビーチ	162	136	0	0	7	65	13	119	21	4	平島ツアー	527
	安部浜	10	8	0	73	130	0	0	0	12	3	キャッチボール	236
	汀間漁港	3	0	0	67	0	0	0	0	7	21	ハーリーの練習	98
	汀間川河口	18	8	0	13	5	4	0	0	2	3	漁	53
	瀬嵩の浜	29	1	0	0	13	0	3	0	3	0		49
	役所前の浜	11	5	1	4	21	0	0	0	0	0		42
	大浦川河口	1	0	0	9	0	18	0	0	11	19	ボート・かに獲り	58
	大浦湾岩場	0	0	0	8	2	0	0	0	0	0		10
	二見海岸	0	0	0	35	189	0	0	0	0	0		224
	辺野古前上原公園	53	2	0	0	0	0	0	0	31	22	サイクリング・遊具遊び	108
	辺野古漁港	11	0	3	47	0	1	0	0	16	0		78
	豊原の浜	7	0	0	0	26	0	0	0	7	0		40
	久志の浜	40	0	0	0	33	0	0	0	23	9	遊び	105
	国際交流センター	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	ラジコン・ゴルフ	7
	ヒーピィー海岸交流広場	4	17	0	0	53	0	0	41	50	0		165
	宜野座福地川河口	16	0	0	4	9	0	0	0	27	2	サイクリング	58
	宜野座ビーチ	0	0	0	4	33	0	0	0	2	2	野草採取	41
	潟原の干潟	20	12	0	3	4	0	0	0	11	4	ゴルフ	54

注 ■：利用状況の上位 2 項目に着色（同数の場合、同順位とします）

【夏季】

夏季調査時の利用形態は、表-6.21.1.28 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、マリンスポーツ・マリンレジャー（グラスボート、マリンジェット等）や、海水浴・水遊びによる利用を多数確認しました。その他の地点では、散歩、休憩による利用が多く、加えて、汀間川河口、汀間漁港、大浦川河口、辺野古漁港、久志の浜では、釣りによる利用を確認しました。また、休日における安部浜、瀬嵩の浜、役所前の浜、豊原の浜ではバーベキューによる利用を確認しました。

表-6.21.1.28 夏季調査時の利用形態（平成20年度）

(単位：人)

〈平日調査〉	利用状況										合計
	散策	砂遊び	バーベキュー・キャンプ	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他	
H20.8.25											
カヌチャビーチ	44	14	0	0	0	138	8	25	42	0	271
安部浜	2	0	0	3	1	9	0	0	7	0	22
汀間漁港	0	0	0	11	0	0	0	0	1	0	12
汀間川河口	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
瀬嵩の浜	17	31	0	3	0	2	0	0	6	4	63
役所前の浜	1	0	0	1	0	7	0	0	2	0	11
大浦川河口	2	0	0	9	0	0	0	0	0	1	12
大浦湾岩場	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
二見海岸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
辺野古前上原公園	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	16
辺野古漁港	0	0	0	7	0	0	0	0	1	0	8
豊原の浜	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5
久志の浜	5	3	0	7	0	0	0	0	2	5	22
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ヒービー海岸交流広場	5	9	15	2	0	21	0	9	9	0	70
宜野座福地川河口	4	0	0	0	0	0	0	0	8	0	12
宜野座ビーチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
潟原の干潟	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5

(単位：人)

〈休日調査〉	利用状況										合計
	散策	砂遊び	バーベキュー・キャンプ	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他	
H20.8.24											
カヌチャビーチ	12	67	0	6	16	75	0	90	18	1	285
安部浜	0	0	14	11	3	8	2	0	6	3	47
汀間漁港	0	0	0	109	0	0	0	0	0	5	114
汀間川河口	0	0	0	12	0	4	0	0	0	0	16
瀬嵩の浜	5	13	204	2	0	100	0	34	0	7	365
役所前の浜	2	5	19	1	0	15	11	0	4	0	57
大浦川河口	5	0	0	23	0	0	0	14	0	10	52
大浦湾岩場	7	0	0	32	0	0	0	0	6	0	45
二見海岸	3	0	0	35	0	4	0	1	0	0	43
辺野古前上原公園	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	11
辺野古漁港	0	0	0	34	0	0	0	0	5	0	39
豊原の浜	4	0	35	0	0	10	0	0	0	459	508
久志の浜	6	0	0	1	0	6	0	0	9	4	26
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒービー海岸交流広場	9	11	14	2	8	40	0	29	6	0	119
宜野座福地川河口	3	0	0	4	0	9	0	0	16	1	33
宜野座ビーチ	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
潟原の干潟	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	6

注) ■：利用状況の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

【秋季】

秋季調査時の利用形態は、表-6.21.1.29 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、平日に散策による利用、休日では散策、水遊び・海水浴の利用を多く確認しました。その他の地点では、散策、釣り、休憩による利用を多く確認しました。特に、休日には汀間漁港、辺野古漁港、宜野座福地川河口等において、釣りによる利用が多いことを確認しました。

表-6.21.1.29 秋季調査時の利用形態（平成20年度）

(単位：人)

〈平日調査〉	利用状況											合計
	散策	砂遊び	キャンピング	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H20.11.4												
カヌチャビーチ	100	6	0	1	0	20	12	13	13	28	写真撮影	193
安部浜	3	0	0	0	3	0	0	0	1	5	犬の散歩	12
汀間漁港	3	0	0	20	0	0	0	0	1	0		24
汀間川河口	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0		5
瀬嵩の浜	9	0	0	0	0	0	0	1	0	14	砂取り	24
役所前の浜	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1	調査ボート	6
大浦川河口	0	0	0	1	0	0	0	0	3	10	ゲートボール	14
大浦湾岩場	0	0	0	1	0	0	0	0	1	11	自転車乗り	13
二見海岸	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0		4
辺野古前上原公園	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0		10
辺野古漁港	4	0	0	14	0	0	0	0	1	1	ジョギング	20
豊原の浜	4	0	0	0	0	0	0	0	1	4	貝拾い	9
久志の浜	10	2	0	2	0	0	0	0	2	4	草取り	20
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20	施設管理者	21
ヒービィー海岸交流広場	1	0	0	2	0	0	0	0	2	10	居住者に訪問	15
宜野座福地川河口	3	0	0	3	0	0	0	0	5	1		12
宜野座ビーチ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1
潟原の干潟	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	写真撮影	7

(単位：人)

〈休日調査〉	利用状況											合計
	散策	砂遊び	キャンピング	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H20.11.23												
カヌチャビーチ	71	18	0	0	1	72	0	5	59	11	写真撮影	237
安部浜	16	2	0	14	3	0	0	0	0	8	法事の掃り	43
汀間漁港	5	0	0	105	0	0	0	0	0	2	スケボー	112
汀間川河口	2	4	0	16	0	0	0	10	2	0		34
瀬嵩の浜	30	10	0	0	0	20	0	0	0	3	波の確認	63
役所前の浜	3	5	0	2	0	0	0	0	0	1	ジョギング	11
大浦川河口	12	0	0	0	0	6	0	0	7	0		25
大浦湾岩場	0	3	0	9	0	0	0	0	0	0		12
二見海岸	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	流木拾い	4
辺野古前上原公園	17	0	0	0	0	0	0	0	0	13	遊具遊び	30
辺野古漁港	2	0	0	67	0	3	0	0	4	2	観光	78
豊原の浜	12	0	0	12	0	0	0	0	3	1	Uターン	28
久志の浜	19	5	0	16	0	0	0	0	8	5	ジョギング	53
国際交流センター	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	ランニング	6
ヒービィー海岸交流広場	5	7	0	6	0	0	0	0	1	15	公園で遊び	34
宜野座福地川河口	6	6	0	20	0	0	0	0	0	29		61
宜野座ビーチ	4	0	0	5	0	0	0	0	0	0		9
潟原の干潟	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	ゴルフ練習	4

注) ■：利用状況の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

【冬季】

冬季調査時の利用形態は、表-6. 21. 1. 30 に示すとおりです。

利用の多いカヌチャビーチでは、散歩及びマリンスポーツ・マリンレジャー（グラスボート、マリンジェット等）の利用が大部分でした。その他の地点では、散歩、休憩による利用が多く、加えて、大浦川河口、大浦湾岩場、二見海岸、辺野古漁港、汀間漁港等では、釣りによる利用の多いことを確認しました。大浦川河口のゲートボール場では、地元住民によるゲートボールの利用を確認しました。また、1月15日は、旧暦12月8日のムーチーの日にあたり、汀間川河口、辺野古漁港において少数ながら拝所への拝みも確認しました。

表-6. 21. 1. 30 冬季調査時の利用形態（平成20年度）

(単位：人)

(平日調査)		利用状況										合計	
		散歩	砂遊び	キャンベキユー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H21. 1. 7	カヌチャビーチ	101	32	0	0	0	0	7	6	7	37	グラスボート等	190
	安部浜	4	0	0	0	2	0	0	0	3	0		9
	汀間漁港	2	0	0	38	0	0	0	0	7	22	船の手入れ等	69
	汀間川河口	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	ゴミ焼き	2
	瀬嵩の浜	27	0	0	4	0	0	0	0	0	0		31
	役所前の浜	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0		5
	大浦川河口	9	0	0	3	0	0	0	0	1	10	ゲートボール	23
	大浦湾岩場	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0		16
	二見海岸	5	0	0	2	0	0	0	0	11	0		18
	辺野古前上原公園	14	0	0	0	0	0	0	0	0	12	遊具遊び	26
	辺野古漁港	0	0	0	5	0	2	0	0	0	2	船の手入れ等	9
	豊原の浜	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0		8
	久志の浜	32	0	1	3	0	0	0	0	13	0		49
	国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	ヒービー海岸交流広場	2	0	0	2	6	0	0	0	17	3		30
	宜野座福地川河口	4	0	0	2	0	0	0	0	3	4	ジョギング等	13
	宜野座ビーチ	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0		3
	湯原の干潟	0	0	0	0	1	0	0	0	17	2	ゴルフ練習	20

(単位：人)

(休日調査)		利用状況										合計	
		散歩	砂遊び	キャンベキユー・	釣り	潮干狩り	水遊び・海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	休憩	その他		
H21. 1. 11	カヌチャビーチ	120	23	0	0	0	0	79	2	10	5	記念撮影等	239
	安部浜	32	3	0	22	2	0	0	0	7	21	ゲートボール等	87
	汀間漁港	11	0	0	100	0	0	0	0	3	24	船の手入れ	138
	汀間川河口	1	0	0	4	0	0	0	0	0	8	拝み、等	13
	瀬嵩の浜	63	0	0	0	0	0	0	0	0	1	海水採り	64
	役所前の浜	5	2	0	2	0	0	0	0	0	0		9
	大浦川河口	7	0	0	4	2	0	0	0	5	11	ゲートボール	29
	大浦湾岩場	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0		18
	二見海岸	5	0	0	22	11	0	0	0	33	0		71
	辺野古前上原公園	3	0	0	0	0	0	0	0	13	35	遊具遊び等	51
	辺野古漁港	3	4	0	69	0	0	0	0	6	0		82
	豊原の浜	8	0	0	1	0	0	0	0	10	0		19
	久志の浜	44	6	0	3	2	0	0	1	18	7	漁等	81
	国際交流センター	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2
	ヒービー海岸交流広場	4	0	0	3	11	0	0	0	13	0		31
	宜野座福地川河口	6	1	0	0	0	0	0	0	17	2	ジョギング	26
	宜野座ビーチ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
	湯原の干潟	8	4	0	0	0	0	0	0	2	0		14

注) ■：利用状況の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

(ウ) アンケート調査結果（利用者の感想）

利用者の感想を表-6. 21. 1. 31 に示しました。

主要な触れ合いの場に対する価値認識を、利用者へのアンケート調査により把握した結果、「眺めがよい」、「静かである」といった、快適さが感想として挙げられる地点が多い傾向がありました。また、釣りや潮干狩りの利用が多い地点では、「魚介が獲れる」点を感想として挙げる利用者が多い傾向がありました。

表-6. 21. 1. 31 利用者の感想（春季～冬季累積）（平成 20 年度）

（単位：人）

	利用者の感想									
	眺めが 良い	人が多 くない	トイレ がある	家から 近い	安全で ある	静かで ある	無料で ある	魚介が 捕れる	駐車場 がある	その他
安部浜	25	6	0	10	6	18	1	9	1	1
汀間漁港	14	2	0	2	7	16	1	17	11	1
汀間川河口	6	4	0	3	3	4	2	3	3	2
瀬嵩の浜	32	16	3	6	11	22	3	3	2	16
役所前の浜	14	8	0	5	4	13	4	8	2	4
大浦川河口	16	6	0	4	8	17	6	10	7	3
大浦湾岩場	10	7	0	3	3	8	3	4	6	0
二見海岸	7	3	0	4	0	8	0	13	3	1
辺野古前上原公園	43	17	13	32	23	35	12	3	7	5
辺野古漁港	20	12	1	18	15	25	14	18	19	2
久志の浜	31	24	0	15	15	35	2	8	3	4
豊原の浜	27	11	0	12	6	21	5	12	4	2
宜野座ビーチ	3	5	3	2	2	7	3	2	5	0
ヒーピー海岸交流広場	27	9	22	7	6	13	5	7	13	7
宜野座福地川河口	19	12	8	10	8	14	4	5	11	2
国際交流センター	1	3	0	0	2	3	1	0	1	1
潟原の干潟	13	6	0	3	0	16	0	1	2	2

注) ■：利用者の感想の上位 2 項目に着色（同数の場合、同順位とします）

b) 地元施設への聞き取り及び利用状況調査

(ア) 地元施設への聞き取り

各地区の公民館等では、年中行事が行われています。年中行事の場となっている地点において、調査期間中に実施された年中行事を表-6. 21. 1. 32 に示しました。

表-6. 21. 1. 32 年中行事（平成20年度）

	年月日	年中行事
三原地区会館前	—	—
汀間地区会館前	平成20年4月 ^{注)}	腰休い
瀬高区公民館前	平成20年4月 ^{注)}	花の苗植え付け作業
大浦集落センター前	—	—
大川集落センター前	平成20年5月 ^{注)}	悪虫払い
二見コミュニティーセンター	平成20年3月10日	ゲートボール大会
楚久川河口の公園	—	—
辺野古近隣公園	平成20年4月27日	区民大会
	平成20年3月 ^{注)}	区民美化作業
豊原地区会館前	平成20年5月18日	区民運動会
	平成20年5月25日	学事奨励会
久志区公民館前	平成20年4月 ^{注)}	総会
	平成20年4月 ^{注)}	腰休い
	平成20年5月18日	区民運動会（19年9月16日の振替）
松田農村公園	平成20年4月27日	腰休い

注) 日付の確認に至らなかった。 — : 情報が得られなかったもの

(イ) 利用状況

地元施設への聞き取り調査地点の利用状況は、カウント調査と同日に、調査員が午前8時台から午後18時台まで2時間に1回ごと調査地点を巡回し、2時間ごとの利用者数とその利用状況を記録しました。

各地点の利用者数の累積値（延べ人数）と利用状況は、表-6.21.1.33 に示すとおりです（詳細な利用状況については、資料編を参照）。

利用が確認された地点における利用形態としては、休憩、ゲートボール等の利用を多く確認しました。二見コミュニティーセンター前、及び楚久川河口の公園は、平日、休日ともに利用は確認されませんでした。

表-6. 21. 1. 33 地元施設への聞き取り調査地点における調査結果（平成20年度）

地点名	調査時期	利用者数（人）	備考（利用内容）
1 三原地区会館前	春季	平日（3/24）	5 ゲートボール
		休日（4/6）	0
	夏季	平日（8/25）	1 休憩
		休日（8/24）	0
	秋季	平日（11/4）	1 ゲートボール
		休日（11/23）	254 米寿祝、休憩、ゲートボール等
	冬季	平日（1/7）	1 釣り
		休日（1/11）	6 遊具遊び、散歩
2 汀間地区会館前	春季	平日（3/24）	12 遊具遊び
		休日（4/6）	5 休憩、散歩
	夏季	平日（8/25）	11 休憩、散歩
		休日（8/24）	40 その他
	秋季	平日（11/4）	0
		休日（11/23）	0
	冬季	平日（1/7）	0
		休日（1/11）	26 遊具遊び、歓談
3 瀬高区公民館前	春季	平日（3/24）	7 遊具遊び
		休日（4/6）	5 遊具遊び
	夏季	平日（8/25）	1 その他
		休日（8/24）	10 その他
	秋季	平日（11/4）	3 清掃作業、休憩
		休日（11/23）	0
	冬季	平日（1/7）	1 散歩
		休日（1/11）	0
4 大浦集落センター前	春季	平日（3/24）	4 文化財観察
		休日（4/6）	0
	夏季	平日（8/25）	9 その他
		休日（8/24）	8 その他
	秋季	平日（11/4）	1 休憩
		休日（11/23）	7 集会
	冬季	平日（1/7）	0
		休日（1/11）	0
5 大川集落センター前	春季	平日（3/24）	0
		休日（4/6）	3 休憩
	夏季	平日（8/25）	0
		休日（8/24）	1 休憩
	秋季	平日（11/4）	0
		休日（11/23）	3 野菜販売
	冬季	平日（1/7）	0
		休日（1/11）	0
6 二見コミュニティセンター前	春季	平日（3/24）	0
		休日（4/6）	0
	夏季	平日（8/25）	11 その他
		休日（8/24）	34 その他
	秋季	平日（11/4）	0
		休日（11/23）	0
	冬季	平日（1/7）	0
		休日（1/11）	0
7 楚久川河口の公園	春季	平日（3/24）	0
		休日（4/6）	0
	夏季	平日（8/25）	0
		休日（8/24）	0
	秋季	平日（11/4）	0
		休日（11/23）	2 自然観察、休憩
	冬季	平日（1/7）	0
		休日（1/11）	0
8 辺野古近隣公園	春季	平日（3/24）	8 野球
		休日（4/6）	5 スポーツ、遊具遊び
	夏季	平日（8/25）	0
		休日（8/24）	4 その他
	秋季	平日（11/4）	0
		休日（11/23）	3 休憩
	冬季	平日（1/7）	2 散歩
		休日（1/11）	6 昼食
9 豊原地区会館前	春季	平日（3/24）	24 ゲートボール、散歩等
		休日（4/6）	2 休憩
	夏季	平日（8/25）	6 その他
		休日（8/24）	4 休憩
	秋季	平日（11/4）	7 休憩
		休日（11/23）	54 休憩、野球等
	冬季	平日（1/7）	7 散歩、休憩
		休日（1/11）	7 散歩、遊び
10 久志区公民館前	春季	平日（3/24）	0
		休日（4/6）	10 遊び
	夏季	平日（8/25）	3 休憩
		休日（8/24）	29 その他
	秋季	平日（11/4）	15 清掃作業、休憩等
		休日（11/23）	8 休憩、ゲートボール
	冬季	平日（1/7）	2 散歩
		休日（1/11）	12 散歩、遊び
11 松田農村公園	春季	平日（3/24）	13 遊具遊び、ゲートボール
		休日（4/6）	28 遊具遊び、バドゴルフ等
	夏季	平日（8/25）	9 その他
		休日（8/24）	9 その他
	秋季	平日（11/4）	9 ゲートボール
		休日（11/23）	86 小学校行事、ゲートボール等
	冬季	平日（1/7）	1 ゲートボール
		休日（1/11）	2 遊具遊び
12 平島 ^{注)}	夏季	平日（8/25）	14 シュノーケリング、その他
		休日（8/24）	40 シュノーケリング、その他等
	秋季	平日（11/4）	0
		休日（11/23）	0

注) 平島は、島の利用が多くなる時期にあわせて、夏季、秋季で調査を実施しました。

c) 施設への聞き取り調査

(ア) 施設の利用者数

調査地域内の有料施設利用者数及び、カヌチャベイホテル&ヴィラズが実施しているクジラ島（平島）バケーションツアー（以下、「平島ツアー」と呼ぶ）利用者の聞き取り調査結果は、表-6. 21. 1. 34 に示すとおりです。

カヌチャベイホテル&ヴィラズの利用者は、施設の宿泊者数です。同施設は毎月 15,000 人以上の宿泊があり、ほぼ一年を通じて多くの利用があります。中でも夏季の利用者が多く、8月の利用者は最多で 27,017 人が確認できました。また、平島ツアーでは8月の利用が最多で 1,074 人が確認できました。

ゴルフ場は、夏季より冬季に利用者数の多い傾向が見られました。21 世紀ゴルフクラブでは、1月に最多の 2,245 人の利用を記録し、宜野座カントリークラブでは1月に最多の 5,552 人の利用が確認できました。また、準備書への意見提出手続きにおいて、新たにカヌチャベイリゾートから示された情報によると、カヌチャベイリゾートのゴルフ場の年間利用者数が平成 20 年は約 42,300 人でした。

表-6. 21. 1. 34 施設への聞き取り調査結果（平成 20 年度）

年月	カヌチャベイ ホテル&ヴィラズ	平島ツアー	21世紀ゴルフ クラブ	宜野座カントリー クラブ
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
平成20年4月	16,784	118	1,714	4,830
5月	17,952	154	1,955	4,740
6月	21,376	212	955	4,506
7月	21,730	500	778	4,081
8月	27,017	1,074	1,116	4,467
9月	21,889	198	854	4,501
10月	24,352	193	1,208	4,654
11月	20,499	営業なし ^{注)}	1,452	5,032
12月	20,403	営業なし ^{注)}	1,592	5,204
平成21年1月	17,865	営業なし ^{注)}	2,245	5,552
合 計	209,867	2,449	13,869	47,567

注) 平島ツアーは、11月～3月は営業していません。

(イ) 施設で行われるイベント

施設におけるイベントに関する聞き取り調査結果は、表-6.21.1.35 及び表-6.21.36 に示すとおりです。

また、準備書への意見提出手続きにおいて、新たにカヌチャベイリゾートから示された情報によると、カヌチャベイリゾートでは、イルミネーションのイベントが11月1日から3月14日まで行われ、約8,000人に近い方の参加が確認され、この期間のホテル宿泊人数は、81,934人を確認しています。

なお、21世紀ゴルフクラブ及び平島では、全県規模での参加があるイベントは実施されていませんでした。

表-6.21.1.35 カヌチャベイホテル&ヴィラズで行われる
イベントと参加数（平成20年度）

年月日	イベント名	参加者
平成20年4月5日	春休みジュニア大会	数十名
5月5日	こどもの日ゴルフ大会	数十名

表-6.21.1.36 宜野座カントリークラブで行われる
イベントと参加数（平成20年度）

年月日	イベント名	参加者
平成20年5月1日	対抗コンペ	約120名
6月28日	地方大会	118名
8月21日	学生ゴルフ選手権	78名
8月30日	某企業ゴルフ大会	140名
9月26日	親睦コンペ	53名

d) 浜下り調査

浜下りは、元来は旧暦3月3日の春の大潮に女性が浜辺で潮に手足を浸して不浄を清め、健康を祈願する行事でしたが、現在では潮干狩りを楽しむレジャーとしても親しまれていると考えました。

平成20年4月8日（火曜日）は、旧暦3月3日にあたりますが、4月6日（日曜日）も大潮であり、潮干狩りの利用が多く確認されました（主要な触れ合いの場調査にて確認）。利用者へのアンケートにおいても、「4月8日が平日で出かけられないため、4月6日に浜下りに来た。」との回答もあったことから、4月6日及び4月8日の利用状況を、浜下りの利用として整理しました。

4月8日は、調査員が沿岸域を踏査し（平島、長島等の利用状況の把握のために、作業船を1隻利用）、浜下りの利用状況の写真撮影を行うとともに、利用者への聞き取りにより、主な漁獲物を把握しました。なお、4月6日調査の主要目的は、主要な人と自然との触れ合いの場の分布、利用状況及び利用環境の把握であるため、漁獲物の確認には至っていない地点があります。

4月6日、4月8日の利用状況を表-6.21.1.37及び表-6.21.38に示し、利用が確認された地点を図-6.21.1.10に示しました。

表-6.21.1.37 4月6日（日曜日）の利用状況（平成20年度）

地点	図中 番号	地区	最多時	最多時の 瞬間値	主な漁獲物
安部浜	H-A	安部	12時台	54人	チョウセンサザエ、ウニ、マガキガイ等
汀間川河口	H-B	汀間	13時台	5人	不明
瀬嵩の浜	H-C	瀬嵩	14時台	10人	不明
役所前の浜	H-D	瀬嵩	12時台	6人	モズク、ミミガイ類
大浦湾岩場	H-E	瀬嵩	14時台	2人	不明
二見海岸	H-F	二見	12-13時台	41人	不明
豊原の浜	H-G	豊原	13時台	17人	貝、エビ、モズク等
久志の浜	H-H	久志	13時台	10人	タコ等
潟原干潟	H-I	松田	13-14時台	2人	不明
ヒビィ海岸交流広場	H-J	松田	14時台	14人	モズク等
宜野座ビーチ	H-K	松田	13時台	13人	タカセガイ、ミミガイ類、二枚貝類、海藻類等
宜野座福地川河口	H-L	松田	10、12時台	2人	不明
平島周辺	H-M	—	不明	約30名	不明

注) —：リーフエッジ等の海域あたりにあることを示します。

表-6.21.1.38 4月8日（火曜日）の利用状況（平成20年度）

地点	図中 番号	地区	確認時	確認時の 瞬間値	主な漁獲物
安部浜	H-A	安部	14時台	約80人	マガキガイ、モズク、タカセガイ、ウニ、チョウセンサザエ、ミミガイ類
安部オール島	H-N	安部	13時台	10人	マガキガイ、ミミガイ類
安部区の浜2	H-O	安部	14時台	6人	タカセガイ、マガキガイ、タカラガイ、イソアワモチ、ミミガイ類
安部灯台沖	H-P	—	15時台	約20人	サザエ、シャコガイ、タコ、カワハギ、タカラガイ等
大浦湾岩場	H-E	大浦	15時台	1人	マスオガイ等
二見海岸	H-F	二見	15時台	約40人	ヒメアサリ等
キャンプ・ショブ沿岸	H-Q	—	16時台	13人	ウニ等
豊原の浜	H-G	豊原	15時台	5人	ウニ、イガイ等
ヒビィ海岸交流広場	H-J	松田	14時台	13人	ハマグリ、ザルガイ、マガキガイ等
宜野座ビーチ	H-K	松田	13時台	5人	モズク等
長島沖リーフエッジ	H-R	—	14時台	13人	チョウセンサザエ
平島沖リーフエッジ	H-S	—	13時台	約30人	ウニ、チョウセンサザエ等
平島周辺	H-M	—	14時台	5人	ウニ、チョウセンサザエ等

注) —：リーフエッジ等の海域あたりにあることを示します。

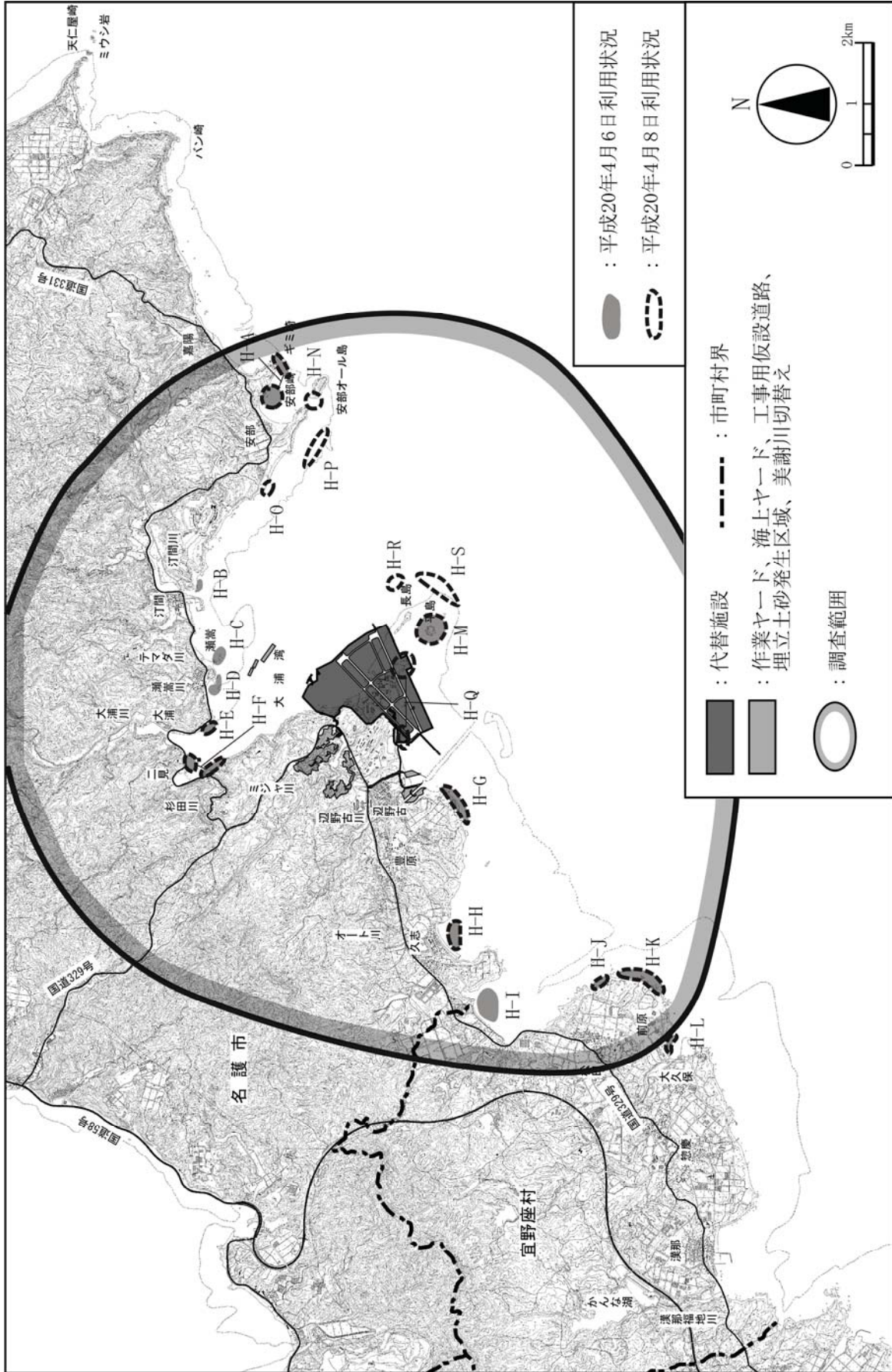


図-6.21.1.10 浜下りの利用状況確認位置図

e) 主要な人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス形態

(ア) アンケート調査におけるアクセス特性の把握

主要な触れ合いの場へのアクセス特性を、利用者へのアンケート調査により把握しました。アクセス特性とは、主要な触れ合いの場へのアクセス手段及び誘致圏を指すものとししました。

主要な触れ合いの場へのアクセス手段のアンケート調査結果（春季～冬季調査累積）を表-6.21.1.39、図-6.21.1.11 に示しました。大部分の地点で自家用車及び徒歩・自転車によるアクセスが多数を占めました。

表-6.21.1.39 アクセス手段のアンケート調査結果（平成20年度）
（春季～冬季累積）

（単位：人）

	アクセス手段			
	自家用車	レンタカー	徒歩・自転車	その他(バイク等)
安部浜	28	1	14	0
汀間漁港	35	2	1	0
汀間川河口	11	1	3	0
瀬嵩の浜	31	15	8	0
役所前の浜	16	4	6	0
大浦川河口	27	4	9	0
大浦湾岩場	20	0	3	0
二見海岸	22	0	0	0
辺野古前上原公園	33	1	29	0
辺野古漁港	28	2	6	2
豊原の浜	30	3	8	0
久志の浜	24	0	28	0
国際交流センター	5	0	0	0
ヒーピー海岸交流広場	54	0	4	0
宜野座福地川河口	29	1	12	0
宜野座ビーチ	10	0	3	0
潟原の干潟	19	0	1	1

注) ■：アクセス手段の上位2項目に着色（同数の場合、同順位とします）

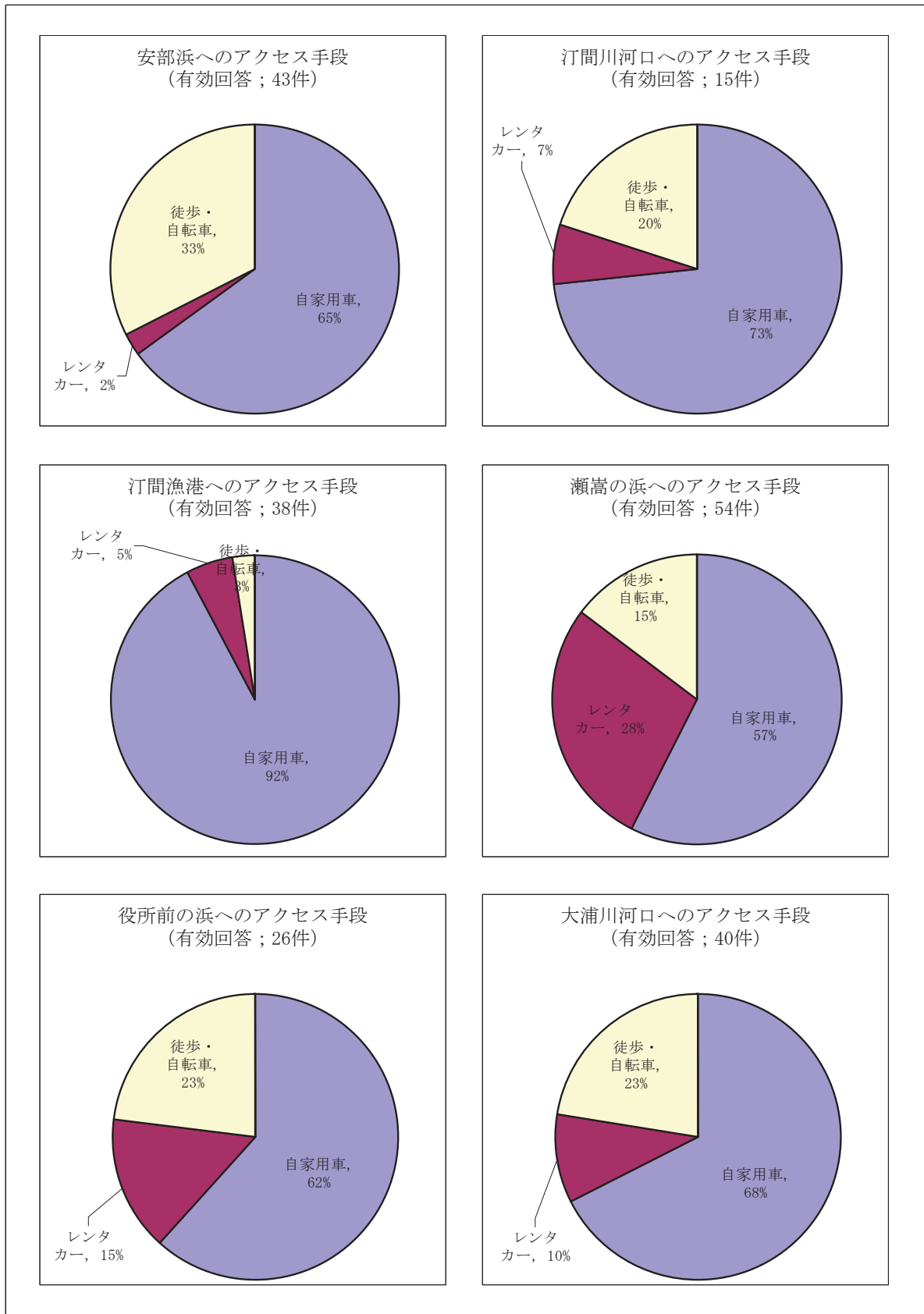


図-6. 21. 1. 11(1) カウント調査地点へのアクセス手段 (平成 20 年度)

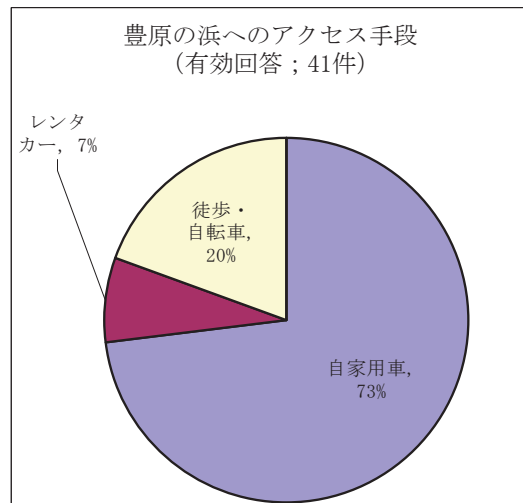
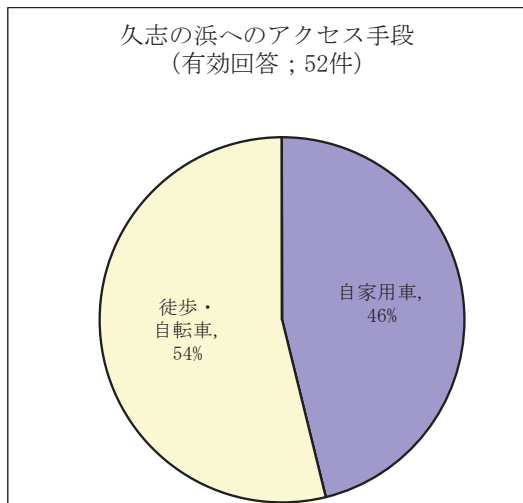
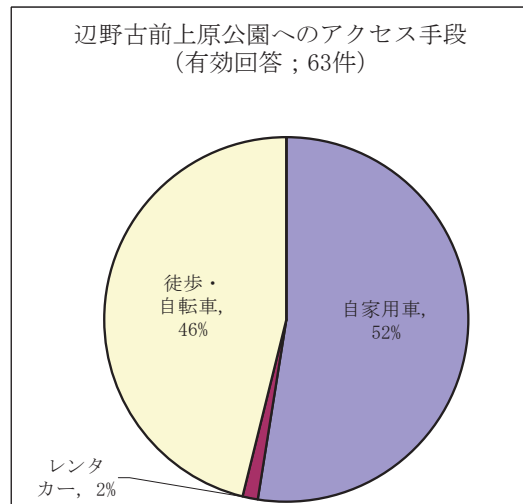
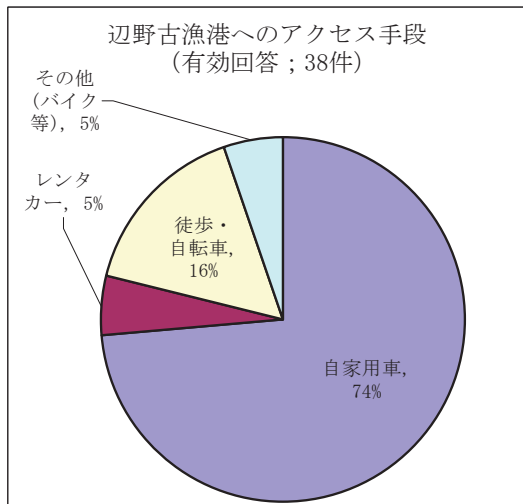
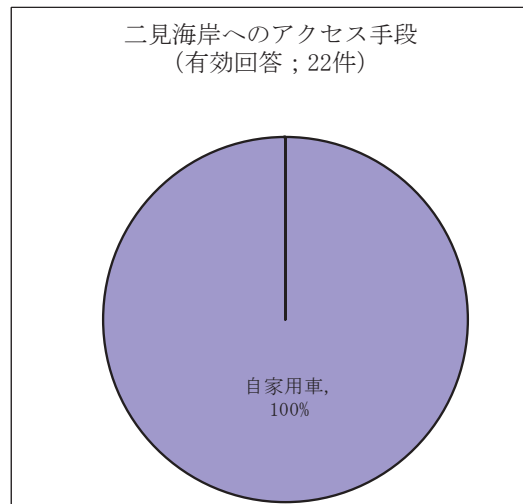
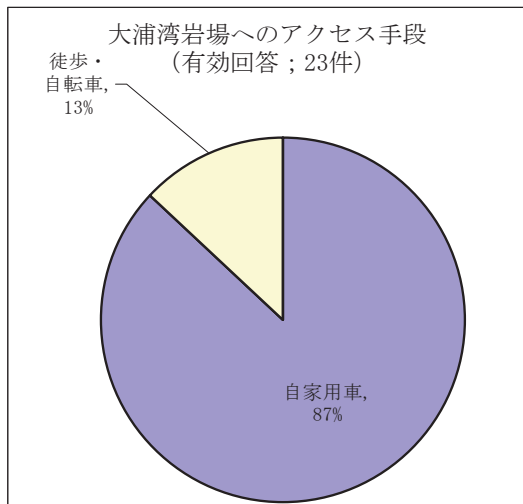


図-6.21.1.11(2) カウント調査地点へのアクセス手段 (平成20年度)

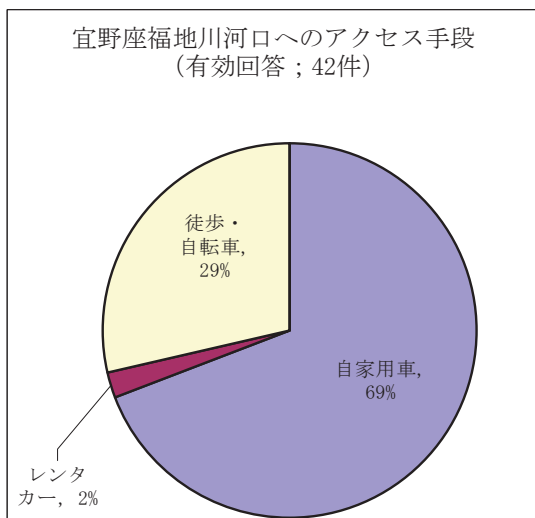
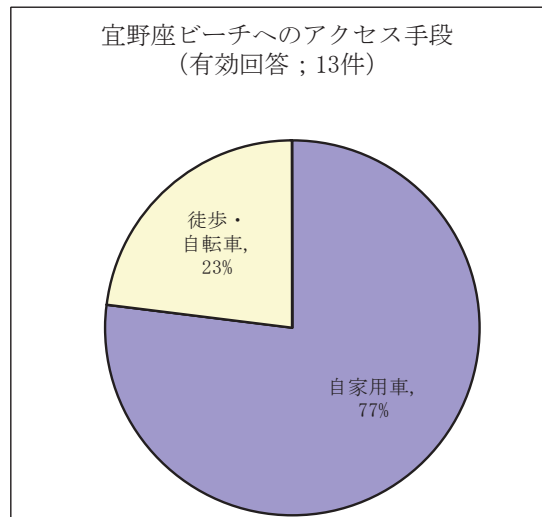
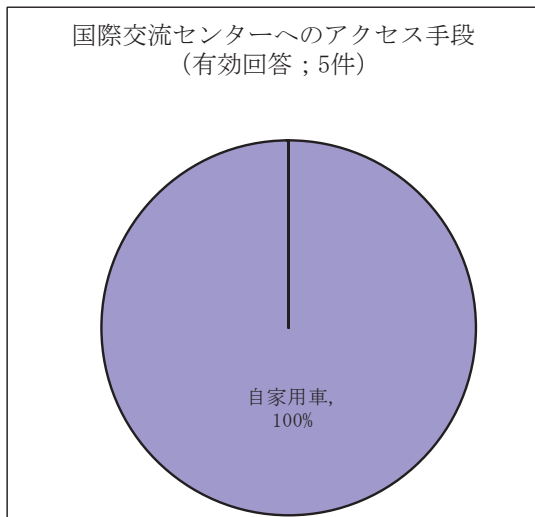
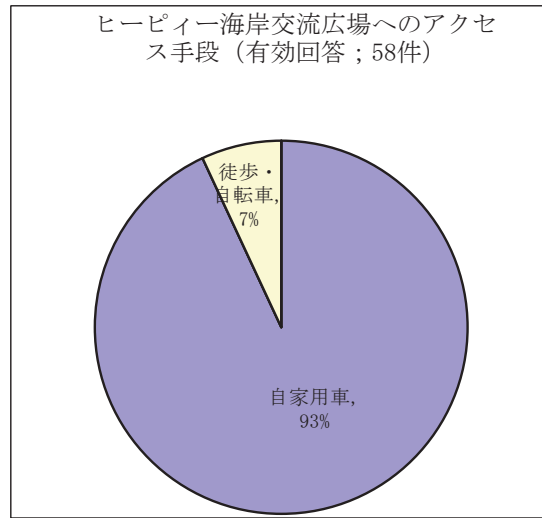
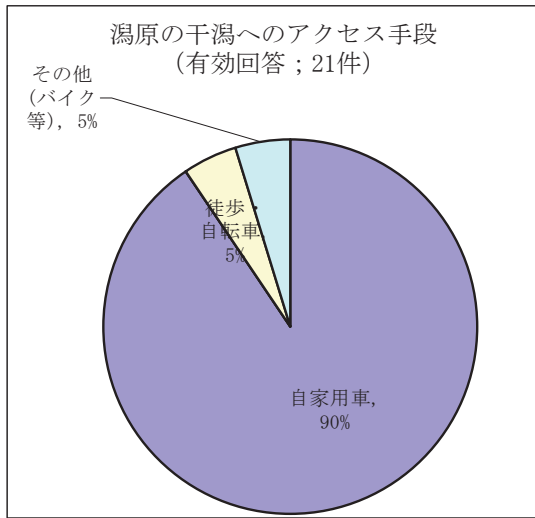


図-6.21.1.11(3) カウント調査地点へのアクセス手段 (平成20年度)

次に、主要な触れ合いの場への誘致圏のアンケート調査結果（春季～冬季調査累計）を表-6.21.1.40 及び図-6.21.1.12 に示しました。これによると、調査地点 17 地点のうち県内（当該地域の市内、村内を除く）からの利用が多数を占めていますが、安部浜、辺野古漁港、辺野古前上原公園、久志の浜、豊原の浜、ヒーピー海岸交流広場では地区内の利用が多い傾向が見られました。

表-6.21.1.40 誘致圏アンケート調査結果（春季～冬季累積）
（平成 20 年度）

（単位：人）

	誘致圏			
	地区内	市内、村内	県内	県外
安部浜	20	7	11	2
汀間漁港	3	9	25	1
汀間川河口	6	4	5	1
瀬嵩の浜	11	9	19	15
役所前の浜	8	4	10	5
大浦川河口	9	12	15	4
大浦湾岩場	2	4	18	0
二見海岸	4	7	12	0
辺野古前上原公園	32	14	15	3
辺野古漁港	20	6	10	2
豊原の浜	19	10	9	2
久志の浜	25	9	16	3
国際交流センター	1	2	2	0
ヒーピー海岸交流広場	23	12	23	0
宜野座福地川河口	14	11	19	2
宜野座ビーチ	0	4	5	0
潟原の干潟	3	6	13	0

注) ■：誘致圏の上位 2 項目に着色（同数の場合、同順位とします）

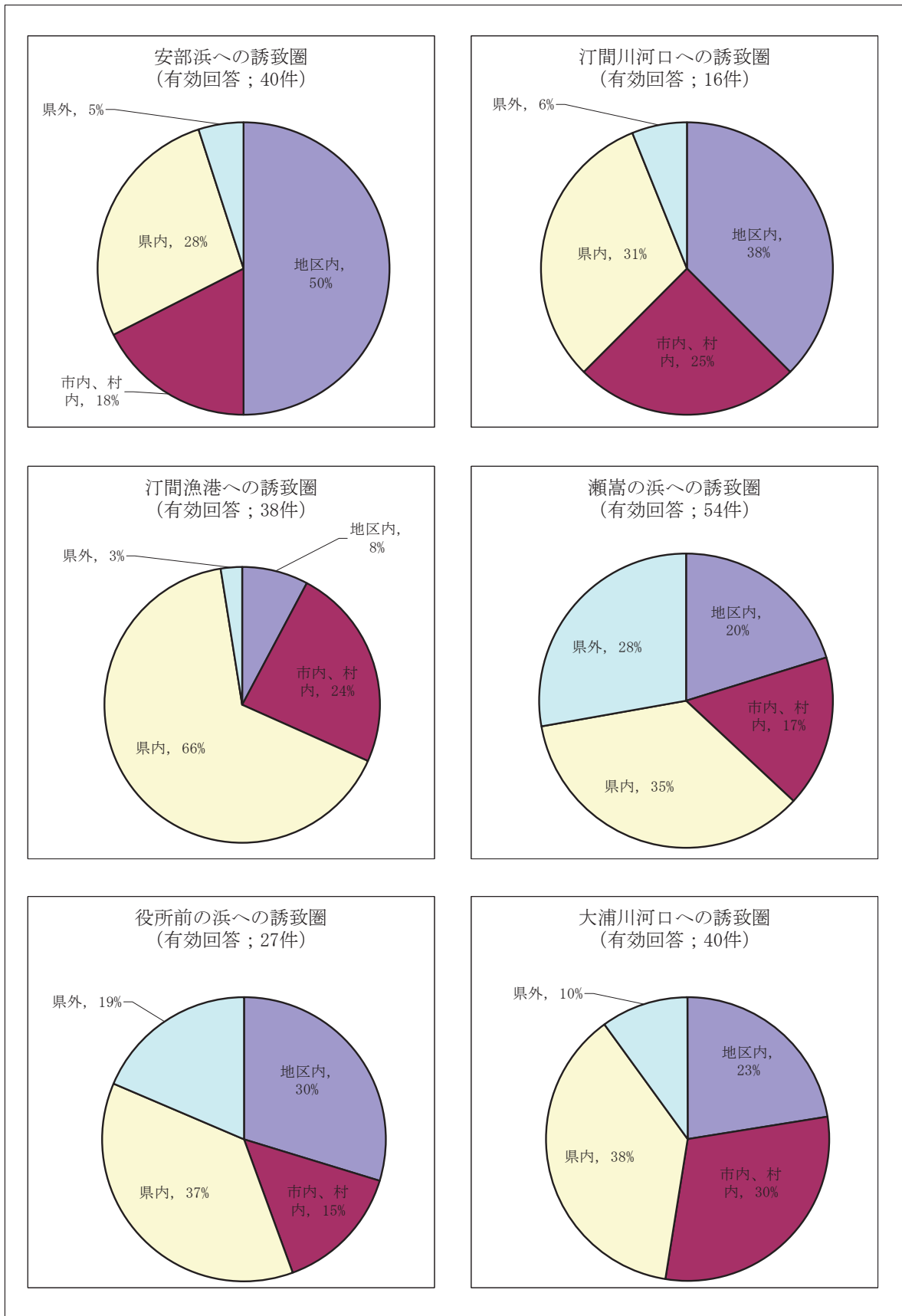


図-6. 21. 1. 12(1) カウント調査地点の誘致圏 (平成 20 年度)

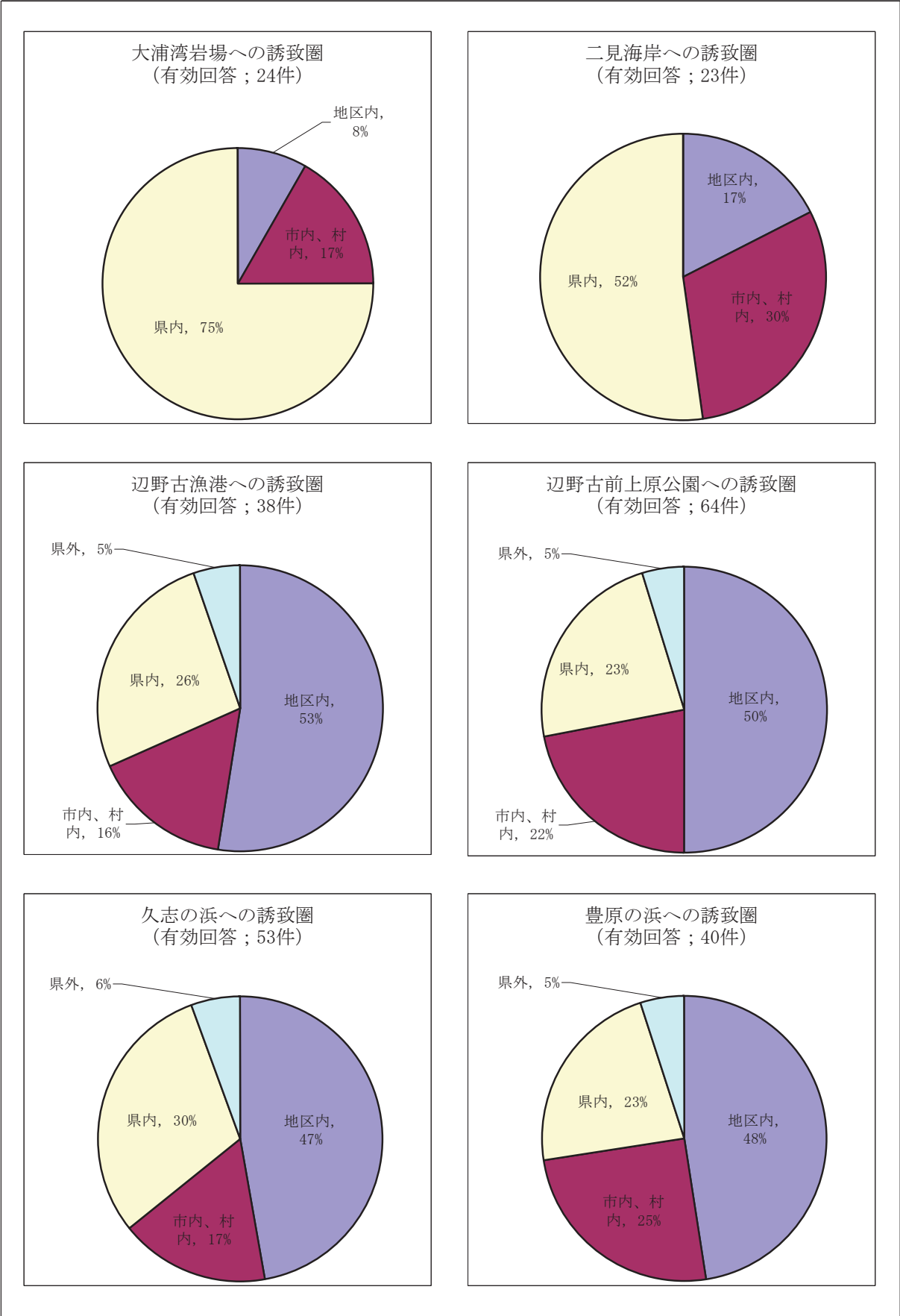


図-6. 21. 1. 12(2) カウント調査地点の誘致圏 (平成 20 年度)

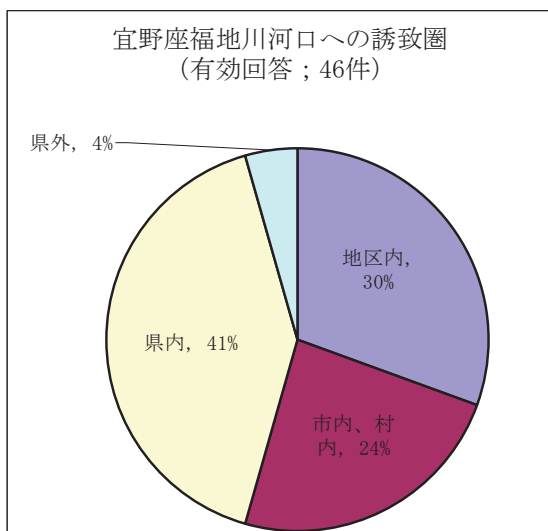
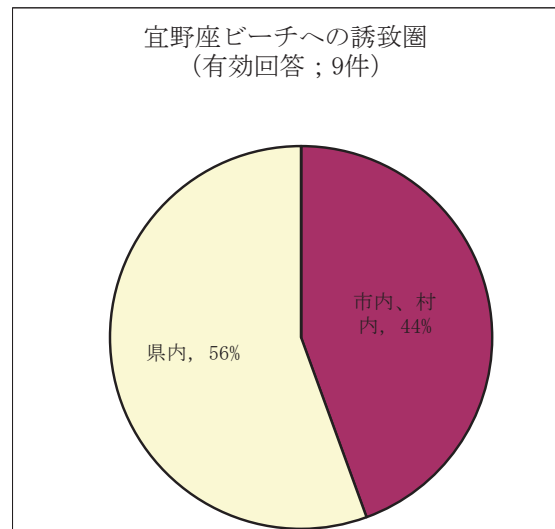
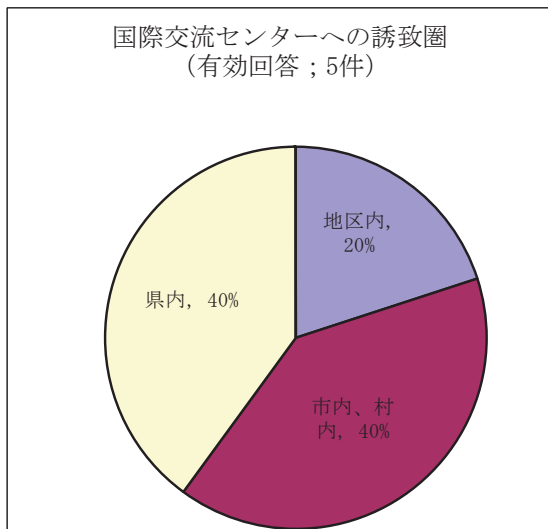
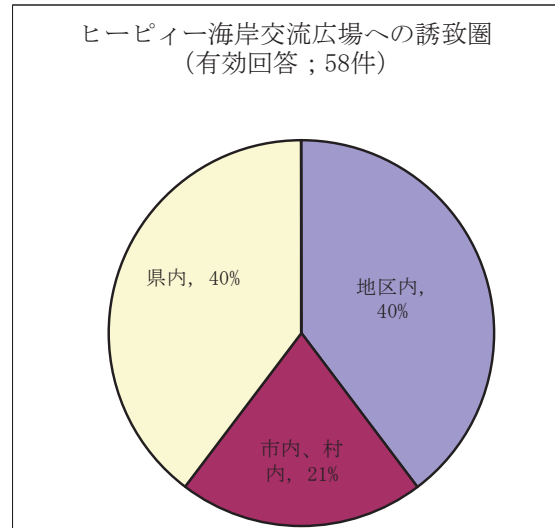
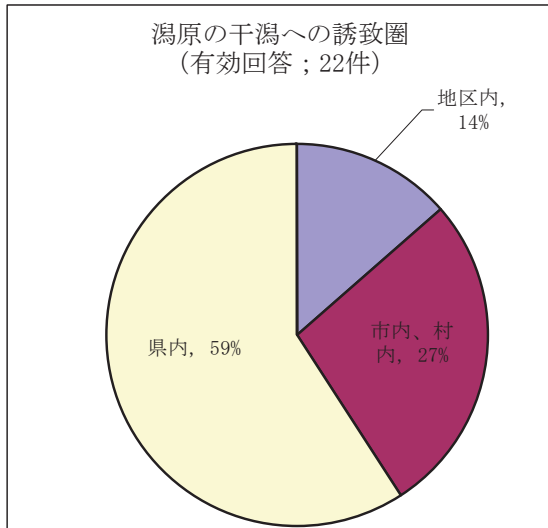


図-6. 21. 1. 12(3) カウント調査地点の誘致圏 (平成 20 年度)

(イ) 施設への聞き取り調査におけるアクセス特性の把握

施設へのアクセス特性の聞き取り調査結果は、平成 19 年度において実施されており、その結果は図-6. 21. 1. 13 に示すとおりです。

カヌチャベイホテル&ヴィラズの利用者は県外居住者が多く、主要な誘致圏は全国規模でした。平島ツアーの誘致圏は、カヌチャベイホテル&ヴィラズと同値としました。また、準備書への意見提出手続きにおいて、新たにカヌチャベイリゾートから示された情報によると、カヌチャベイリゾートのゴルフ場の利用者の 60%は県内からの利用者で、カヌチャベイリゾートのイルミネーションのイベントでは約 8,000 人の参加者が確認できましたが、ほとんどが県内からの利用者でした。

21 世紀ゴルフクラブの利用者は市内居住者が多く、宜野座カントリークラブは県内中南部からの利用が多い傾向が見られました。なお、平成 20 年度の調査時には、21 世紀ゴルフクラブ及び宜野座カントリークラブ共に市村外からの利用者が 100%になっています（資料編 表-6. 21. 1. 33 参照）。

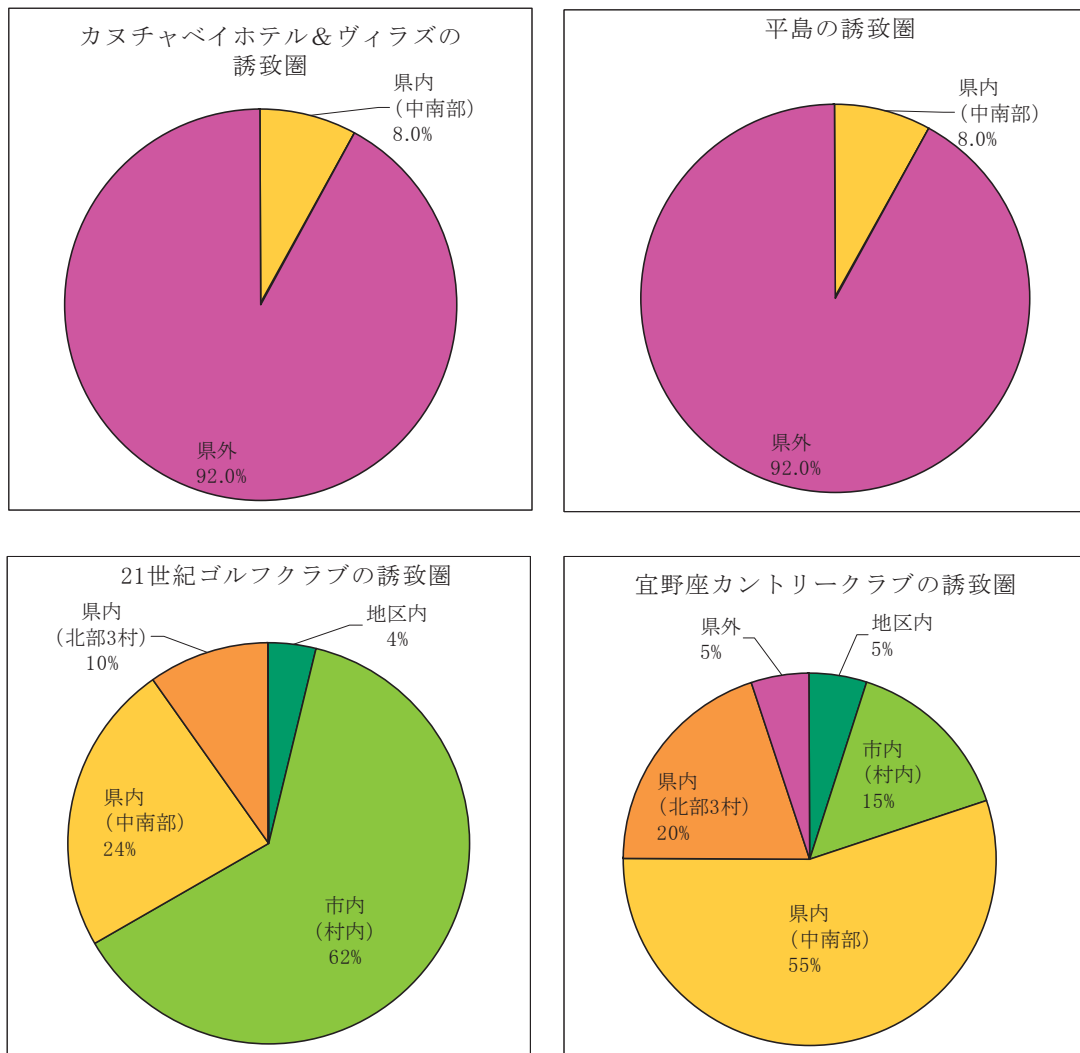


図-6. 21. 1. 13 施設及び平島ツアーへのアクセス特性 (平成 19 年度)

注) p6-21-29 の図-6. 21. 1. 7 を再掲

f) 利用の観点からみた主要な人と自然との触れ合い活動の場の価値

主要な触れ合いの場の価値を把握するため、普遍価値及び固有価値の価値認識項目に適した指標の選定を表-6. 21. 1. 41 に示すとおりであり、選定した価値軸ごとに評価基準の設定を表-6. 21. 1. 42 に示すとおり、解析した結果を表-6. 21. 1. 43 に示します。

なお、資料編に本調査で選定した各認識項目の評価指標の詳細を示します。

表-6. 21. 1. 41 活動の価値の認識項目に関する指標

価値軸	認識項目例
普遍価値	より幅広い層、広範にわたり、多くの人々に認められ、普及している活動や、誰しものが認める傑出した活動がもつ価値。
普及性	より多くの人々に利用されている、より広範囲にわたって知られている、広域から人々が訪れる等広く普及している。
多様性	多様な利用形態がある、多様な層が活動している、年間を通じて様々な時期に活動がおこなわれている等、活動のあり方が多種多様である。
傑出性	知名度が高い、活動に利用している資源が他に比べて優れている等、その場における活動が代替性のない傑出したものである。
固有価値	その地域においてこそ可能となる活動や、地域の人々にとってかけがえのない活動がもつ価値。
郷土性	当該地域においてかけがえのない、固有の価値を有するものや、地域らしさをあらわしているものである。
親近性	著名ではないが、身近にあって親しまれている場所等で、地域の人々が日常的に活動をおこなっている。
歴史性	活動に利用する資源が地域において古くから存在し、永年活動がおこなわれてきている。

資料：「環境アセスメントガイド 自然とのふれあい」平成 14 年 10 月、財団法人自然環境研究センター

表-6. 21. 1. 42 価値軸ごとの評価基準

評価	評価基準					
	普及性	多様性	傑出性	郷土性	親近性	歴史性
4 高い	1 日あたりの市村外からの平均利用者数が 100 人以上	5 種以上の利用形態を持ち、各年齢層の利用者が 10%以上	県の主要な観光情報誌に掲載されている場	年中行事の場として頻繁に使用される場、又は郷土史において地域の現況紹介の文章中に触れられている場	同じ地区の調査地点の中で、地元利用者数が最も多い場(松田区のみ、1 番目と 2 番目が該当)で、利用者数の日平均が 3 人以上である場	指定文化財の伝統的建造物を有する場
3 やや高い	1 日あたりの市村外からの平均利用者数が 20 人以上 100 人未満	5 種以上の利用形態を持ち、いずれかの年齢層の利用者が 10%未満	県内発行の専門情報誌に掲載されている場、指定文化財を有する場、エコツアーが行われている場、のいずれか	浜下りが行われる場	同じ地区の調査地点の中で、地元利用者数が 2 番目に多い場(松田区のみ、3 番目が該当)で、利用者数の日平均が 3 人以上である場	伝統集落における伝統的な行事の場
2 やや低い	1 日あたりの市村外からの平均利用者数が 5 人以上 20 人未満	5 種以上の利用形態を持たず、各年齢層の利用者が 10%以上	市村の HP ないしは観光パンフレットに掲載されている場	歴史の浅い年中行事の場、又は、施設名称等に地域の古称を残している。	同じ地区の調査地点の中で、地元利用者数が 3 番目に多い場(松田区のみ、4 番目が該当)で、利用者数の日平均が 3 人以上である場	屋取集落における伝統的な行事の場、又は生活上重要であった場
1 低い	1 日あたりの市村外からの平均利用者数が 5 人未満	5 種未満の利用形態を持たず、いずれかの年齢層の利用者が 10%未満	上記いずれにも該当しない場	上記いずれにも該当しない場	上記いずれにも該当しない場、及び有料施設	上記のいずれにも該当しない場

表-6. 21. 1. 43 アンケートの調査項目

地区	NO.	触れ合いの場	普遍的価値の評価			固有価値の評価			
			普及性	多様性	傑出性	郷土性	親近性	歴史性	
陸上	安部	1	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	4	3	4	1	1	1
		2	カヌチャビーチ	4	3	4	1	1	1
		3	安部浜	2	4	1	4	4	3
	三原	4	三原地区会館前	1	2	1	4	4	1
	汀間	5	汀間地区会館前	1	1	2	4	3	3
		6	汀間漁港	3	1	1	4	4	1
		7	汀間川河口	1	4	1	4	2	3
	瀬嵩	8	瀬嵩区公民館前	1	2	2	4	2	1
		9	瀬嵩の浜	3	3	3	3	4	3
		10	役所前の浜	2	4	3	4	3	2
	大浦	11	大浦集落センター前	1	2	3	4	3	3
		12	大浦川河口	2	4	3	4	4	4
		13	大浦湾岩場	2	4	3	3	1	1
	大川	14	大川集落センター前	1	2	1	4	1	1
	二見	15	楚久川河口の公園	1	2	1	1	1	2
		16	二見コミュニティーセンター前	1	1	1	4	3	1
		17	二見海岸	2	4	3	4	4	2
	辺野古	18	辺野古前上原公園	2	4	1	1	4	1
		19	辺野古近隣公園	1	2	1	1	2	1
		20	辺野古漁港	2	3	3	4	3	3
	豊原	21	豊原の浜	2	3	1	3	4	2
		22	豊原地区会館前	1	2	1	4	3	1
	久志	23	21世紀ゴルフクラブ	3	2	4	1	1	1
		24	久志区公民館前	1	2	2	4	3	1
		25	久志の浜	2	4	1	4	4	3
	松田	26	国際交流センター	1	1	2	2	1	1
		27	ヒーピィー海岸交流広場	2	4	1	3	4	1
		28	宜野座福地川河口	2	4	1	1	2	1
		29	宜野座ビーチ	1	2	1	3	1	1
		30	潟原の干潟	2	4	3	4	1	3
		31	宜野座カントリークラブ	4	2	4	1	1	1
		32	松田農村公園	1	2	1	4	3	1
海上	33	平島	2	2	3	3	1	1	

g) 地元地区住民アンケート調査

(ア) 場の価値

人と自然との触れ合いの場の価値について、「自然環境の場」、「生活環境の場」及び「その他」について、表-6.21.1.44に示すとおり質問を設定し、回答をいただきました。

表-6.21.1.44 アンケートの調査項目（平成20年度）

自然環境の場	調査項目	カヌチャリゾート	平島
		安部区	安部浜
		汀間区	汀間川河口
		瀬嵩区	瀬嵩の浜、役所前の浜
		大浦区	大浦川河口、大浦湾岩場
		大川区	二見海岸
		豊原区	豊原の浜
		久志区	久志の浜
		松田区	潟原干潟、ヒーピー海岸、布流石（ブルシ）海岸、宜野座福地川河口
	質問事項	① 地域に親しまれ愛着があるか ② 生活での利用はあるか	
生活環境の場	調査項目	三原区	三原地区会館
		汀間区	汀間漁港、汀間地区会館
		瀬嵩区	瀬嵩区公民館
		大浦区	大浦集落センター
		大川区	大川集落センター
		二見区	二見コミュニティーセンター、楚久川河口の公園
		辺野古区	辺野古前上原公園、辺野古漁港、辺野古区近隣公園
		豊原区	豊原地区会館
		久志区	久志区公民館
		松田区	国際交流センター、松田農村公園
質問事項	① 季節行事の活動の場となっているか ② 利用頻度はどのくらいか		
その他	調査項目	カヌチャベイホテル & ヴィラズ	カヌチャビーチ
	質問事項	① 地域を代表する場であるか ② 利用頻度はどのくらいか	

自然環境の場の調査結果を表-6. 21. 1. 45及び図-6. 21. 1. 14 に示します。自然環境の場としては、14 地点中、安部浜、大浦川河口、豊原の浜、ヒーピー海岸、布流石海岸、宜野座福地川河口の 6 地点において「地域に親しみがあり愛着がある」との回答が 80%を超えていました。

生活での利用については、「愛着がある」回答された地点と概ね比例する結果が得られました。

表-6. 21. 1. 45 自然環境の場の調査結果（平成 20 年度）（回答数）

NO.	地点	地域に親しまれ愛着があるか			生活での利用	
		愛着がある	どちらでもない	愛着がない	利用あり	利用なし
1	安部浜	5	0	0	4	1
2	平島	117	68	21	87	119
3	汀間川河口	10	6	1	13	4
4	瀬嵩の浜	19	5	0	20	4
5	役所前の浜	17	7	0	22	2
6	大浦川河口	6	1	0	7	0
7	大浦湾岩場	5	2	0	4	3
8	二見海岸	6	4	0	4	6
9	豊原の浜	19	1	0	19	1
10	久志の浜	29	13	1	29	14
11	潟原干潟	18	4	1	13	10
12	ヒーピー海岸	22	1	0	21	2
13	布流石海岸	19	4	0	17	6
14	宜野座福地川河口	19	4	0	15	8

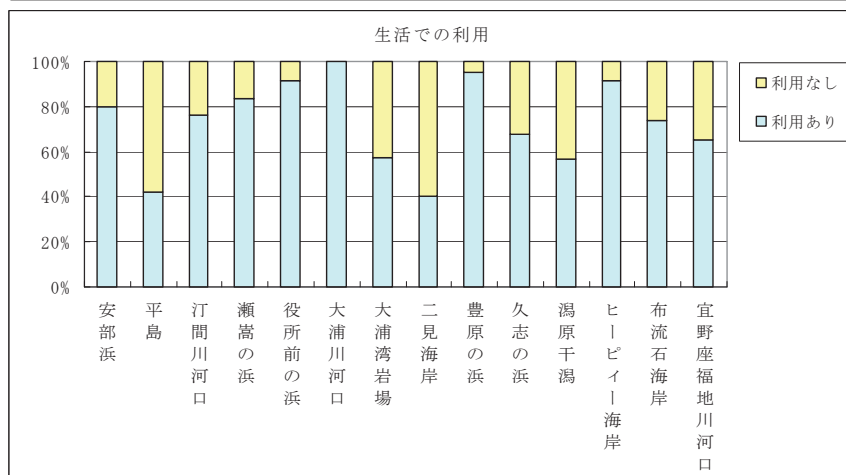
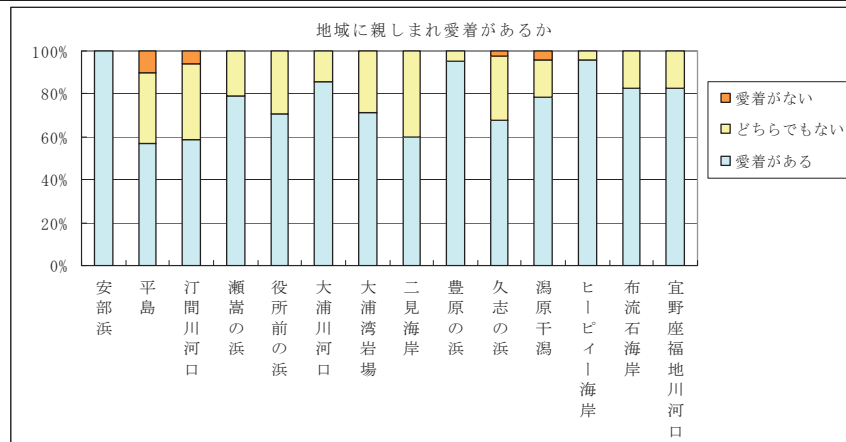


図-6. 21. 1. 14 自然環境の場の調査結果（平成 20 年度）

次に、生活環境の場の調査結果を表-6.21.1.46及び図-6.21.1.15に示します。

生活環境の場としては、15 地点中、汀間漁港、辺野古前上原公園、辺野古漁港、辺野古区近隣公園、国際交流センターの 5 地点以外は「季節行事の場となっている」との回答が80%を超えていました。

利用頻度については、「週に1回以上」の回答で大浦集落センター、豊原地区会館、楚区川河口の公園の順で利用頻度が高くなっていました。

表-6.21.1.46 生活環境の場の調査結果（平成20年度）

(回答数)

NO.	地点	季節行事の活動の場		利用頻度		
		活動の場である	活動の場でない	週に1回以上	月に1~3回	年に1~11回
1	三原地区会館	17	3	4	5	11
2	汀間漁港	9	8	5	3	9
3	汀間地区会館	17	0	6	6	5
4	瀬高区公民館	21	3	7	10	7
5	大浦集落センター	7	0	5	2	0
6	大川集落センター	3	0	0	0	3
7	二見コミュニティセンター	10	0	0	2	8
8	楚区川河口の公園	10	0	4	5	1
9	辺野古前上原公園	30	15	4	12	29
10	辺野古漁港	32	13	3	14	28
11	辺野古区近隣公園	14	31	2	10	33
12	豊原地区会館	19	1	9	5	6
13	久志区公民館	42	1	14	5	24
14	国際交流センター	18	5	0	7	16
15	松田農村公園	23	0	3	13	7

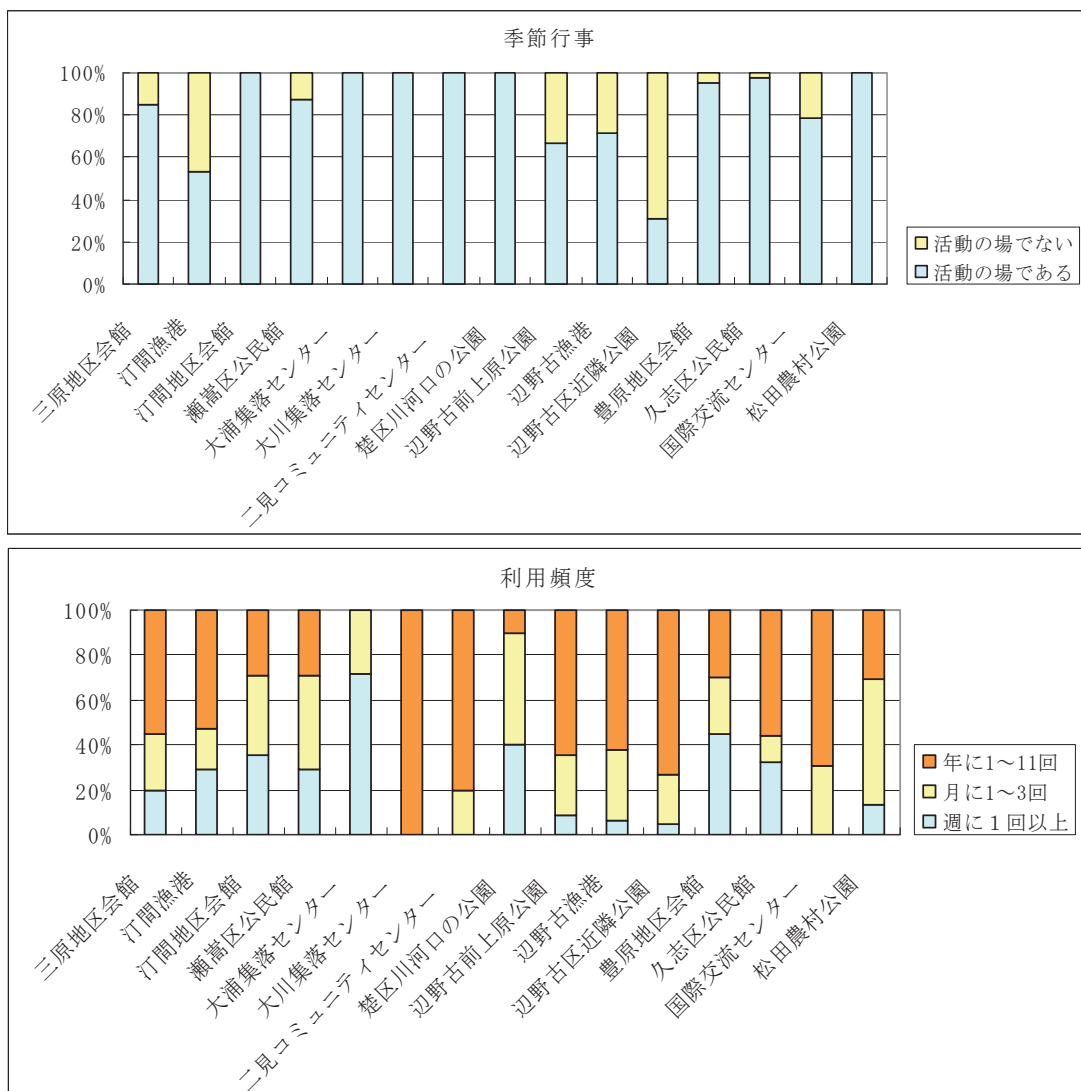


図-6.21.1.15 施設の場の調査結果（平成20年度）

また、「その他」のカヌチャベイホテル&ヴィラズとカヌチャビーチについては、地域住民の利用は少ないようでした。

(イ) 利用形態

利用形態の調査結果を表-6. 21. 1. 47に示します。

利用形態については、「自然環境の場」で、散策・休憩、釣り、潮干狩りが多く、「生活環境の場」及び「その他」では、散策・休憩、季節行事が多くなっていました。

表-6. 21. 1. 47 人と自然との触れ合い活動の利用形態（平成20年度）

地点		利用形態												
		散策・休憩	砂遊び	バーベキュー・キャンプ	釣り	潮干狩り	海藻採取	水遊び	海水浴	シュノーケリング	マリンスポーツ	季節行事	その他	
自然環境の場	1 安部浜	2	1	2	3	4	4	1	2	0	0	2	1	
	2 平島	19	13	58	65	73	22	22	48	32	15	14	2	
	3 汀間川河口	9	3	5	10	4	1	5	4	1	1	3	1	
	4 瀬嵩の浜	11	5	18	16	15	6	4	6	10	3	3	2	
	5 役所前の浜	12	8	20	18	14	10	4	16	9	3	2	2	
	6 大浦川河口	6	3	1	6	1	0	6	1	0	3	0	0	
	7 大浦湾岩場	3	1	0	6	2	2	3	4	1	1	1	0	
	8 二見海岸	3	1	1	2	4	0	0	0	1	0	1	0	
	9 豊原の浜	8	3	13	8	6	4	4	11	0	0	15	4	
	10 久志の浜	33	10	3	2	3	0	7	2	0	1	22	2	
	11 渦原干潟	14	3	2	6	13	6	3	3	0	0	6	4	
	12 ヒービー海岸	18	6	17	7	12	6	3	13	4	3	9	3	
	13 布流石海岸	10	5	5	12	13	5	1	3	3	0	4	0	
	14 宜野座福地川河口	14	4	7	11	8	1	1	3	1	3	2	0	
生活環境の場	15 三原地区会館	8	0	2								13	5	
	16 汀間漁港	10	0	1	11	1	0	2	1	0	1	2	0	
	17 汀間地区会館	14	2	1								6	3	
	18 瀬嵩区公民館	15	2	3								7	5	
	19 大浦集落センター	5	0	2								3	4	
	20 大川集落センター	0	0	2								3	0	
	21 二見コミュニティーセンター	1	0	0								9	0	
	22 楚久川河口の公園	8	2	0								0	0	
	23 辺野古前上原公園	29	2	5								9	16	
	24 辺野古漁港	21	11	4	27	14	3	7	5	6	3	24	3	
	25 辺野古区近隣公園	27	5	2								3	10	
	26 豊原地区会館	9	0	1								18	9	
	27 久志区公民館	4	0	1								26	6	
	28 国際交流センター	13	0	6								11	9	
	29 松田農村公園	16	0	4								13	10	
その他	30 カヌチャビーチ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	

注) 黄色の塗りつぶしは、自然環境の場は上位25%、施設の場及びその他については上位50%を示す。

6. 21. 2 予測

6. 21. 2. 1 工事の実施

(1) 予測の概要

工事の実施に伴い、護岸の工事及び埋立ての工事・造成等の施工による一時的な影響・建設機械の稼働・資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴う影響として、土地の改変による活動の場の消失や、建設機械等の稼働に伴う騒音・振動・粉じん等や、一時的な立ち入りの制限、車両の運行による活動の場の状況の変化が考えられることから、この変化の程度を予測しました。工事の実施による人と自然との触れ合い活動の場の予測概要は、表-6. 21. 2. 1. 1 に示すとおりです。

表-6. 21. 2. 1. 1 人と自然との触れ合い活動の場に係る予測概要（工事の実施）

項目	内容
予測項目	主要な人と自然との触れ合い活動の場
影響要因	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の工事 <ul style="list-style-type: none"> 代替施設本体の護岸工事 作業ヤードの工事 海上ヤードの工事 工事用仮設道路の工事 浚渫の工事 ・埋立ての工事 <ul style="list-style-type: none"> 代替施設本体の埋立て工事 埋立土砂発生区域における土砂の採取 工事用仮設道路の工事 美謝川の切替え工事 ・造成等の施工による一時的な影響 <ul style="list-style-type: none"> 代替施設本体における造成等の施工 進入灯の工事 ・建設機械の稼働 ・資材及び機械の運搬に用いる車両の運行
予測地域	調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。
予測対象時期等	<p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期としました。</p> <p>なお、工事中の予測対象時期等は、護岸の工事、埋立ての工事及び造成等の施工並びに建設機械の稼働及び資材及び機械の運搬車両の走行により、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る影響を的確に把握できる時期としました。</p>
予測の手法	主要な人と自然との触れ合い活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度、環境の状態の変化を踏まえて解析する方法により行いました。

(2) 予測方法

主要な人と自然との触れ合い活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度、環境の状態の変化を踏まえて解析する方法により行いました。具体的手法については以下に示しました。

1) 人と自然との触れ合い活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

事業計画による直接的改変区域の影響について、人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び船釣りやマリレジャー等の利用環境の状況とをオーバーレイ(重ね合わせ)することにより、改変の程度を予測しました。

2) 人々の活動・利用の変化

事業の実施による人と自然との触れ合い活動の場の空間特性の変化(大気汚染、騒音、振動、水の濁り等による環境の状態の変化)を予測し、それに伴う活動・利用への影響及び変化の程度について、海水浴、マリンスポーツ、散策、キャンプ、釣り、休息などの活動種ごとに予測を行いました。

3) 人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス特性の変化

事業の実施による人と自然との触れ合い活動の場の利用特性の変化について、進入灯の工事、資機材運搬船舶等の工事に関する作業船の運航による影響、資材及び機械の運搬に用いる車両の増加により発生する交通量の変化や、立入制限等による影響について予測しました。

(3) 予測結果

1) 人と自然との触れ合い活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

図-6.21.2.1.1には調査結果を利用形態ごとに、海系（海域を利用した潮干狩り、水遊び・海水浴、シュノーケリング、マリンスポーツなど）、海岸系（海岸を利用した散策、砂遊び、バーベキュー、キャンプ、釣り、休息など）、陸系（陸域でのゲートボール、遊具遊び、休憩、散歩、スポーツ、自然観察など）に区分整理しました。

図-6.21.2.1.2に代替施設近傍の3地点（辺野古前上原公園、辺野古漁港、平島）における利用状況についてカウント調査結果から利用者数を整理しました。

事業計画と重ね合わせた結果を表-6.21.2.1.2に示しました。浜下りの場として利用されている2箇所（図-6.21.2.1.1中のH-Q参照）が、代替施設本体の護岸の工事及び埋立ての工事により改変され消失しますが、調査範囲内には消失する浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから、移動することを含め周辺自治体等と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。

また、辺野古漁港周辺の釣り場の利用環境が一部改変されることとなりますが、工事終了後に出現する辺野古漁港脇の埋立地や護岸が、新たな釣り場として利用されるものと想定されることから利用状況の変化は小さいものと考えました。そのほかの活動の場については改変区域内に存在しないことから影響は生じないものと考えました。

表-6. 21. 2. 1. 2 人と自然との触れ合い活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

影響要因		行為	予測	
公有水面の埋立て	護岸の工事	代替施設本体の護岸工事	土地の改変	代替施設本体の埋立区域内には、浜下りの場が2箇所あり、これらの場所は一部が消失することとなりますが、調査範囲内には消失する浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから、移動することを含め周辺自治体等と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。
		作業ヤードの工事	土地の改変	作業ヤードは、辺野古漁港に隣接して設置され、辺野古漁港の釣り等の利用環境が一部改変されることとなりますが、工事終了後に出現する埋立地や護岸が、新たな釣り場として利用されるものと想定されることから、利用状況の変化は小さいものと考えました。
		海上ヤードの工事	土地の改変	設置場所である大浦湾海域には、人と自然との触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
		工事用仮設道路の工事	土地の改変	工事用仮設道路区域には、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
		浚渫の工事	土地の改変	浚渫場所区域には、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
飛行場及びその施設の設置	埋立ての工事	代替施設本体の埋立ての工事	土地の改変	代替施設本体の埋立区域内には、浜下りの場が2箇所あり、これらの場所は消失することとなりますが、調査範囲内には消失する浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから、移動することを含め周辺自治体等と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。
		埋立土砂発生区域における土砂の採取	土地の改変	埋立土砂発生区域には、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
		工事用仮設道路の工事	土地の改変	工事用仮設道路の設置場所には、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
		美謝川の切り替え工事	土地の改変	美謝川の切替え場所には、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
		造成等の施工による一時的な影響	代替施設本体における造成等の施工	土地の改変
	進入灯の工事	土地の改変	進入灯区域には、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。	

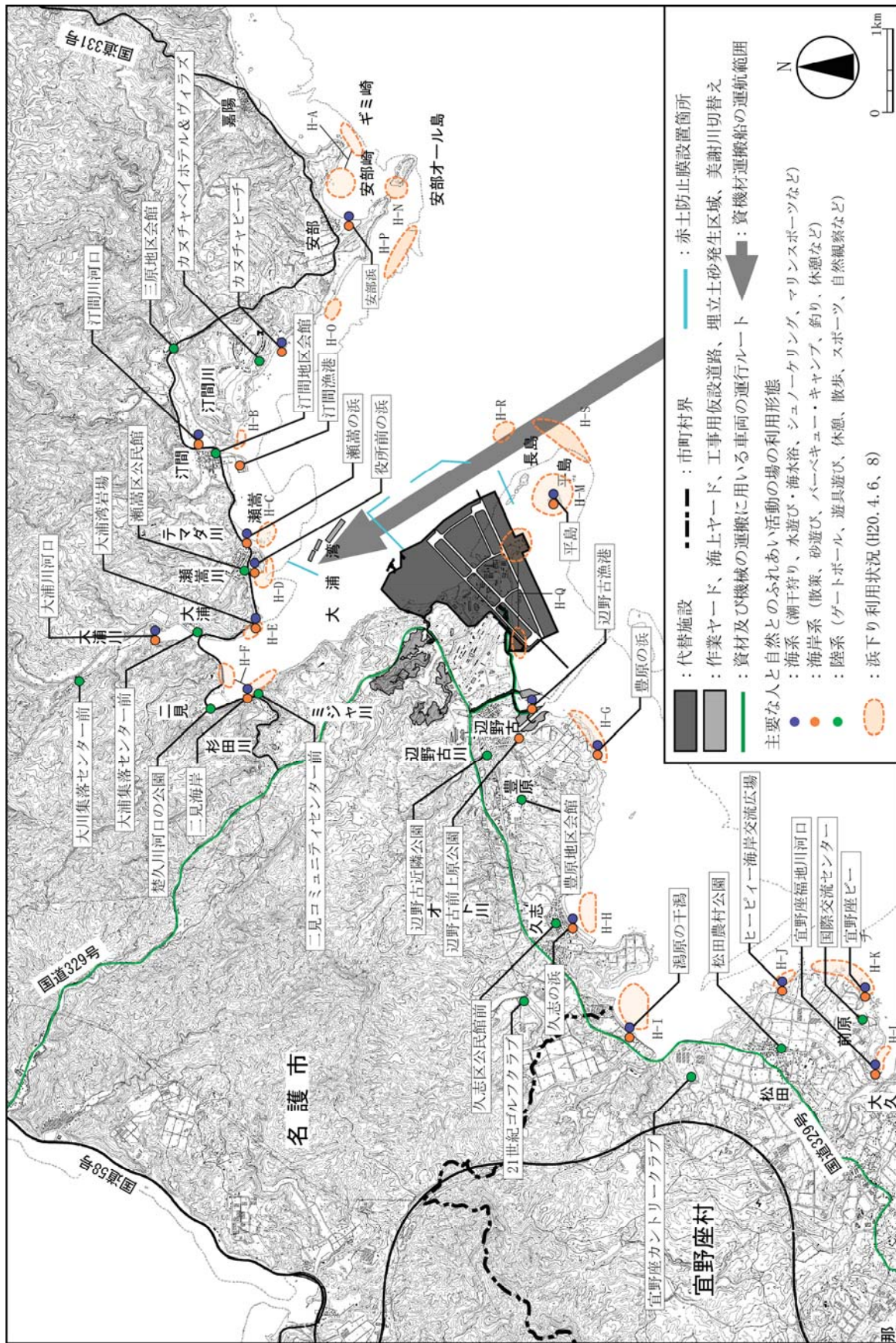


図-6.21.2.1.1 人と自然との触れ合い活動の場の分布状況（工事の実施時）

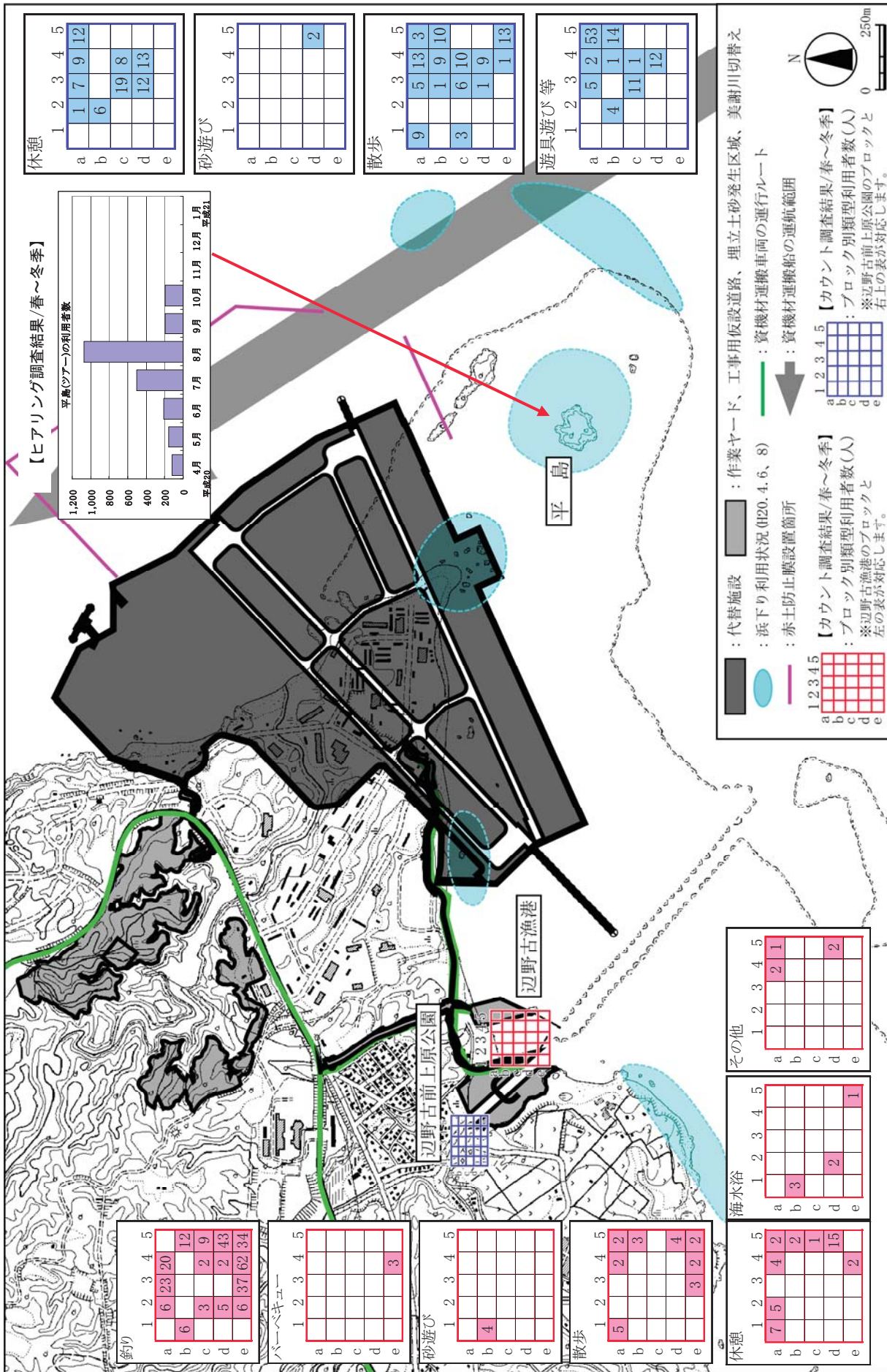


図-6.21.2.1.2 人と自然との触れ合い活動の場の土地の改変による影響の状況 (代替施設の近傍)

2) 人々の活動・利用の変化

護岸の工事及び埋立ての工事、造成等の施工や建設機械の稼働に伴い、「土砂による水の濁り」、「騒音」、「振動」、「粉じん等」が発生し、調査範囲の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、「6.2 大気質」、「6.3 騒音」、「6.4 振動」、「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果を参考に、人々の活動・利用の変化について表-6.21.2.1.3、図-6.21.2.1.1 及び図-6.21.2.1.2 に示すとおり予測を行いました。

作業ヤードの工事に伴う建設作業騒音、建設作業振動の発生により、辺野古漁港の散歩・休憩・釣りの場所、辺野古前上原公園の散歩・休憩・遊具遊び等の場所は、活動・利用の状況に変化が生じますが、建設作業騒音は60～65dB、建設作業振動は60dB程度となっており変化の程度は小さいものと考えました。そのほかの活動の場についても環境の変化は小さく、活動・利用の状況に影響はないものと考えました。

護岸の工事、埋立ての工事による土砂による水の濁りの発生により、釣り、潮干狩り、海水浴、マリレジャー等の活動・利用状況に変化が生じるものと考えますが、予測の結果、水の濁りの影響は、工事ヶ所近傍に限定され、周辺海域における環境の変化は海の水の色に変化がないことから小さく、釣り、潮干狩り、海水浴、マリレジャー等の活動・利用状況に影響はないものと考えました。

海上ヤードの工事及び、埋立ての工事に伴う工事用船舶の航行により、マリンスポーツ・マリレジャー等の活動・利用状況に変化が生じるものと考えますが、海上ヤードの工事に関しては、影響は工事期間中の一時的なものに留まることから変化の程度は小さいものと考えました。埋立ての工事に関しては工事用船舶の航行によるマリンスポーツ・マリレジャー等への影響が確認された場合には、関係組織と協議する事で影響を低減できるものと考えました。

表-6.21.2.1.3(1) 人々の活動・利用の変化

影響要因			影響が予測される活動種	予測
公有水面の埋立て	護岸の工事	代替施設本体の護岸工事	陸系 海岸系	「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、代替施設周辺地域における環境の変化は、建設作業騒音は60～65dB程度、建設作業振動は<30dBと小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用の状況の変化はないものと考えました。
			水濁り	海岸系 海系

注) 海系の活動種：潮干狩り、水遊び・海水浴、シュノーケリング、マリンスポーツなど

海岸系の活動種：散歩、砂遊び、バーベキュー・キャンプ、釣り、休憩など

陸系の活動種：ゲートボール、遊具遊び、休憩、散歩、スポーツ、自然観察など

表-6. 21. 2. 1. 3(2) 人々の活動・利用の変化

影響要因		影響が予測される活動種	予測	
公有水面の埋立て	護岸の工事	騒音振動	陸系 海岸系	作業ヤードの工事に伴う建設作業騒音、建設作業振動の発生により、辺野古漁港での散歩・休憩・釣り等、辺野古前上原公園での散歩・休憩・遊具遊び等の活動・利用状況に変化が生じるものと考えますが、「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、建設作業騒音は60～65dB、建設作業振動は60dB程度となっており、変化の程度は小さいものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、作業ヤード付近海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り等の活動・利用の状況の変化はないものと考えました。
	海上ヤードの工事	騒音	陸系 海岸系	「6.3 騒音」の予測結果から、海上ヤード周辺地域における環境の変化は、建設作業騒音は45dB程度と小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、海上ヤード周辺海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り、潮干狩り、海水浴、マリレジャー等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		船舶の航行	海系	海上ヤード工事期間中の一時的なものに留まることから環境の変化は小さくマリンスポーツ・マリレジャー等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
	工所用仮設道路の工事	粉じん等 騒音 振動	陸系 海岸系	「6.2 大気質」、「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、工所用仮設道路の周辺地域における環境の変化は、粉じん等は0.521～3.353t/km ² /月、建設作業騒音は敷地境界で61dB、建設作業振動は敷地境界で58dBと小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
	浚渫の工事	騒音振動	陸系 海岸系	「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、浚渫区域の周辺地域における環境の変化は小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、浚渫区域の周辺海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り、潮干狩り、海水浴、マリレジャー等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
	埋立ての工事	騒音振動	陸系 海岸系	「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、代替施設周辺地域における環境の変化は、建設作業騒音は60～65dB程度、建設作業振動は<30dBと小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、代替施設周辺海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り、潮干狩り、海水浴、マリレジャー等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。

注) 海系の活動種：潮干狩り、水遊び・海水浴、シュノーケリング、マリンスポーツなど
 海岸系の活動種：散歩、砂遊び、バーベキュー・キャンプ、釣り、休憩など
 陸系の活動種：ゲートボール、遊具遊び、休憩、散歩、スポーツ、自然観察など

表-6. 21. 2. 1. 3(3) 人々の活動・利用の変化

影響要因			影響が予測される活動種	予測
公有水面の埋立て	埋立土砂発生区域における土砂の採取の工事	粉じん等騒音振動	陸系 海岸系	「6.2 大気質」、「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、埋立土砂発生区域の周辺地域における環境の変化は、粉じん等は0.536t/km ² /月、建設作業騒音は敷地境界で56dB、建設作業振動は敷地境界で50dBと小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、埋立土砂発生区域下流付近の海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
	工所用仮設道路の工事	粉じん等騒音振動	陸系 海岸系	「6.2 大気質」、「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、工所用仮設道路の周辺地域における環境の変化は、粉じん等は0.521~3.353t/km ² /月、建設作業騒音は敷地境界で61dB、建設作業振動は敷地境界で58dBと小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、工所用仮設道路に隣接する周辺海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り、潮干狩り、海水浴、マリンレジャー等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
	美謝川の切替え工事	粉じん等騒音振動	陸系 海岸系	「6.2 大気質」、「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、美謝川の切替え区域の周辺地域における環境の変化は小さく、散歩・休息・キャンプ等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
		水の濁り	海岸系 海系	「6.7 土砂による水の濁り」の予測結果から、美謝川の切替え区域河口の周辺海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、釣り、潮干狩り、海水浴、マリンレジャー等の活動・利用状況の変化はないものと考えました。
	建設機械の稼働	船舶の航行	海系	工所用船舶の航行によるマリンスポーツ・マリンレジャー等への影響が確認された場合には、関係組織と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。
	飛行場及びその施設の設置	建設機械の稼働	騒音振動	陸系 海岸系

注) 海系の活動種：潮干狩り、水遊び・海水浴、シュノーケリング、マリンスポーツなど
 海岸系の活動種：散策、砂遊び、バーベキュー・キャンプ、釣り、休憩など
 陸系の活動種：ゲートボール、遊具遊び、休憩、散歩、スポーツ、自然観察など

3) 人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス特性の変化

(a) アクセス特性の変化の程度

進入灯の工事、資機材運搬船舶等の航行、資機材運搬車両等の運行に伴い、触れ合い活動へのアクセス特性に影響を及ぼすものと考えられることから、進入灯の工事による立ち入り制限区域の発生によるアクセス特性の変化、資機材運搬船舶等の運航範囲の近傍におけるアクセス特性の変化、資機材運搬車両等の運行ルートである主要道路におけるアクセス特性の変化について、表-6. 21. 2. 1. 4 に示すとおり予測を行いました。

表-6. 21. 2. 1. 4 アクセス特性の変化

影響要因			予測
飛行場及びその施設の設置	造成等の施工による一時的な影響	進入灯の工事	西側進入灯の施工範囲近傍には辺野古漁港の航路があり、漁船の航行が確認されています（図-6. 2. 1. 16 及び図-6. 2. 1. 17 を参照）が、辺野古漁港の航路の支障とならないように配置したことから、船釣り等の漁船の出入りに影響を及ぼすことはないと考えました。
	建設機械の稼働	船舶の航行	資機材運搬船舶等の運航範囲の近傍においてプレジャーボートの航行が確認されていますが（図-6. 2. 1. 16 及び図-6. 2. 1. 17 を参照）、触れ合い活動の場への船舶の航行が不可能となるものではなく、アクセス特性への変化は小さいものと考えますが、アクセス特性に変化が生じたと確認された場合には、関係組織と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	資機材運搬車両等の増加（交通量の変化）	資機材運搬車両等は主要道路（国道 329 号及び仮設道路）を通ることや、触れ合い活動の場は地区内や村内の人達による利用が大半で国道 329 号を利用して市外や地区外から来訪する人は少ないことから、触れ合い活動の場のアクセス特性への変化は小さいものと考えました。 また、利用の大半である地区内や村内の人たちについては、国道 329 号を利用することなく、触れ合い活動の場へのアクセスが可能であることから、アクセス特性への変化はないものと考えました。 なお、カヌチャベイリゾートのイルミネーションに関しては、平成 20 年度（11 月 1 日～翌年 3 月 14 日）の参加者が約 8000 人、期間中のホテルの宿泊人数 81, 934 人で 2 つの合計数から 1 日あたりの利用者数に換算すると約 700 人であること、またイルミネーションへの参加者は夕方からの利用がほとんどであることから、アクセス特性への変化は小さいものと考えました。 また、カヌチャゴルフコースへのアクセスに関しては、平成 20 年の来場者数は、42, 356 人で 1 日あたりの利用者数に換算すると約 116 人であることから、アクセス特性への変化は小さいものと考えました。

(b) 工事による立入制限

代替施設本体における造成等の施工及び進入灯の工事などの場所は、一時的に立入制限が設定されることにより触れ合い活動の場への影響が考えられることから、表-6. 21. 2. 1. 5 に示すとおり予測を行いました。

辺野古漁港の護岸での釣り場等は、作業ヤードの工事中においては立入が制限されるものと考えられますが、立入制限の影響は工事期間中の一時的なものに留まることから、利用状況の変化の程度は小さいものと考えました。

浜下りの場については資機材運搬船舶等の運航範囲の近傍に浜下りの 2 箇所が位置しており（図-6. 21. 2. 1. 1 中の H-R 及び H-S 参照）、うち 1 箇所(H-R)については利用が一時的に制限されますが、立入制限の影響は工事期間中の一時的なものに留まること、調査範囲内には制限される浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから利用状況の変化は小さいものと考えました。

海上ヤードの工事、代替施設本体の埋立ての工事、代替施設本体における造成等の施工、進入灯の工事については、施工範囲近傍に触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。なお、平島及び平島周辺の浜下りの場についても代替施設本体の埋立ての工事に伴う立入制限区域内には含まれないことから影響は生じないものと考えました。

表-6. 21. 2. 1. 5 立入制限区域等の発生による触れ合い活動への影響

影響要因				予測
公有水面の埋立て	護岸の工事	作業ヤードの工事	立入制限区域の発生	辺野古漁港の護岸での釣り場等は、一時的に立入制限をうけますが、立入制限の影響は工事期間中の一時的なものに留まることから、利用状況の変化の程度は小さいものと考えました。
		海上ヤードの工事		海上ヤードの工事に伴う作業船の停泊区域により一時的に立入制限され触れ合い活動への影響が考えられますが、停泊区域には触れ合い活動の場はなく影響は生じないものと考えました。
	埋立ての工事	代替施設本体の埋立ての工事		代替施設本体の埋立ての工事に伴う作業船の停泊区域により一時的に立入制限され触れ合い活動への影響が考えられますが、停泊区域には触れ合い活動の場はなく影響は生じないものと考えました。
飛行場及びその施設の設置	造成等の施工による一時的な影響	代替施設本体における造成等の施工	立入制限区域の発生	代替施設本体の造成等の施工範囲近傍は立入制限をうけますが、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
		進入灯の工事		進入灯の施工範囲近傍は立入制限をうけますが、触れ合い活動の場はなく、影響は生じないものと考えました。
	建設機械の稼働	船舶の航行		資機材運搬船舶等の運航範囲の近傍に浜下りの2箇所（図-6. 21. 2. 1. 1 中の H-R 及び H-S）が位置しており、うち 1 箇所 (H-R) については利用が一時的に制限されますが、立入制限の影響は工事期間中の一時的なものに留まること、調査範囲内には制限される浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから利用状況の変化は小さいものと考えました。

6. 21. 2. 2 施設等の存在及び供用

(1) 予測の概要

飛行場及びその施設の存在に伴う景観の変化や、飛行場及びその施設の供用時の夜間照明に伴う景観の変化により主要な人と自然との触れ合い活動の場の状況の変化が考えられることから、その変化の程度を予測しました。施設等の存在及び供用による人と自然との触れ合い活動の場の予測概要は、表-6. 21. 2. 2. 1 に示すとおりです。

表-6. 21. 2. 2. 1 人と自然との触れ合い活動の場に係る予測概要（存在及び供用）

項目	内容
予測項目	主要な人と自然との触れ合い活動の場
影響要因	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立地の存在 <li style="padding-left: 20px;">代替施設の存在 <li style="padding-left: 20px;">埋立土砂発生区域の存在 <li style="padding-left: 20px;">切替え後の美謝川の存在 <li style="padding-left: 20px;">作業ヤードの存在 ・飛行場及びその施設の存在 ・航空機の運航 ・飛行場の施設の供用
予測範囲	調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。
予測対象時期等	<p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期としました。</p> <p>なお、存在及び供用時の予測対象時期等は、埋立地の存在、飛行場及びその施設の存在及び飛行場の施設の供用時において、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る影響を的確に把握できる時期としました。</p>
予測の手法	主要な人と自然との触れ合い活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度、環境の状態の変化を踏まえ解析する方法により行いました。

(2) 予測方法

主要な人と自然との触れ合い活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度、環境の状態の変化を踏まえ解析する方法により行いました。具体的手法については以下に示しました。

埋立地の存在や飛行場及びその施設の存在に伴い、人と自然との触れ合い活動の場からの景観変化を予測し、それに伴う活動場の眺めの変化について海水浴、マリンスポーツ、散策、キャンプ、釣り、スポーツなどの活動種ごとに予測を行いました。

また、飛行場の施設の供用時は、米軍の制限水域及び制限空域や航空機の飛行ルートと、人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び船釣りやマリンレジャー等の利用環境とをオーバーレイ（重ね合わせ）することにより、活動・利用の変化について海水浴、マリンスポーツ、散策、キャンプ、釣り、スポーツなどの活動種ごとに予測を行いました。

(3) 予測結果

図-6.21.2.2.1には調査結果を利用形態ごとに、海系（海域を利用した潮干狩り、水遊び・海水浴、シュノーケリング、マリンスポーツなど）、海岸系（海岸を利用した散策、砂遊び、バーベキュー、キャンプ、釣り、休息など）、陸系（陸域でのゲートボール、遊具遊び、休憩、散歩、スポーツ、自然観察など）に区分し整理しました。

図-6.21.2.2.2には代替施設近傍の3地点（辺野古前上原公園、辺野古漁港、平島）における利用状況についてカウント調査結果から利用者数を整理しました。

埋立地の存在及び飛行場及びその施設の存在に伴い、人と自然との触れ合い活動の場からの眺めの状況に変化が生じ、触れ合い活動の場を支える環境に影響を及ぼすおそれがあることから、「6.20 景観」の予測結果より、人々の活動・利用の変化を表-6.21.2.2.2に示すとおり予測しました。辺野古前上原公園や辺野古漁港での散歩・休憩・釣りの場所は、作業ヤード跡地が眺望可能であり、眺めの状況に変化が生じることから、触れ合い活動の場を支える環境に変化が生じるものと考えました。そのほかの活動の場については、眺めの状況の変化は、景観要素の変動の割合が-0.55~0.91%となっており、活動の場を支える環境への影響はないものと考えました。

また、航空機の運航により、豊原の浜や一部の浜下りの場について、「6.3 騒音」の予測結果から、航空機の運航に伴う航空機騒音がWECPNL値で70以上となり、浜下りの場（図-6.21.2.2.1中のH-G参照）の一部はWECPNL値で75以上となることから、触れ合い活動の場を支える環境が変化するものと考えました。

飛行場の施設の供用時においては、米軍の制限水域及び制限空域や航空機の飛行ルートが人と自然との触れ合い活動の場の利用環境に影響を及ぼすことが考えられます。供用時に制限水域になると考えられる場所には、平島と平島周辺の浜下りの場（図-6.21.2.2.1中のH-M参照）、浜下りの場2箇所（図-6.21.2.2.1中のH-S、H-R参照）の計4箇所があります。平島については、民間業者が営利目的のツアーの場として利用している時期もありますが、地元の利用者（不特定多数の人）は少ないことから利用状況の変化の程度は小さいものと考えました。

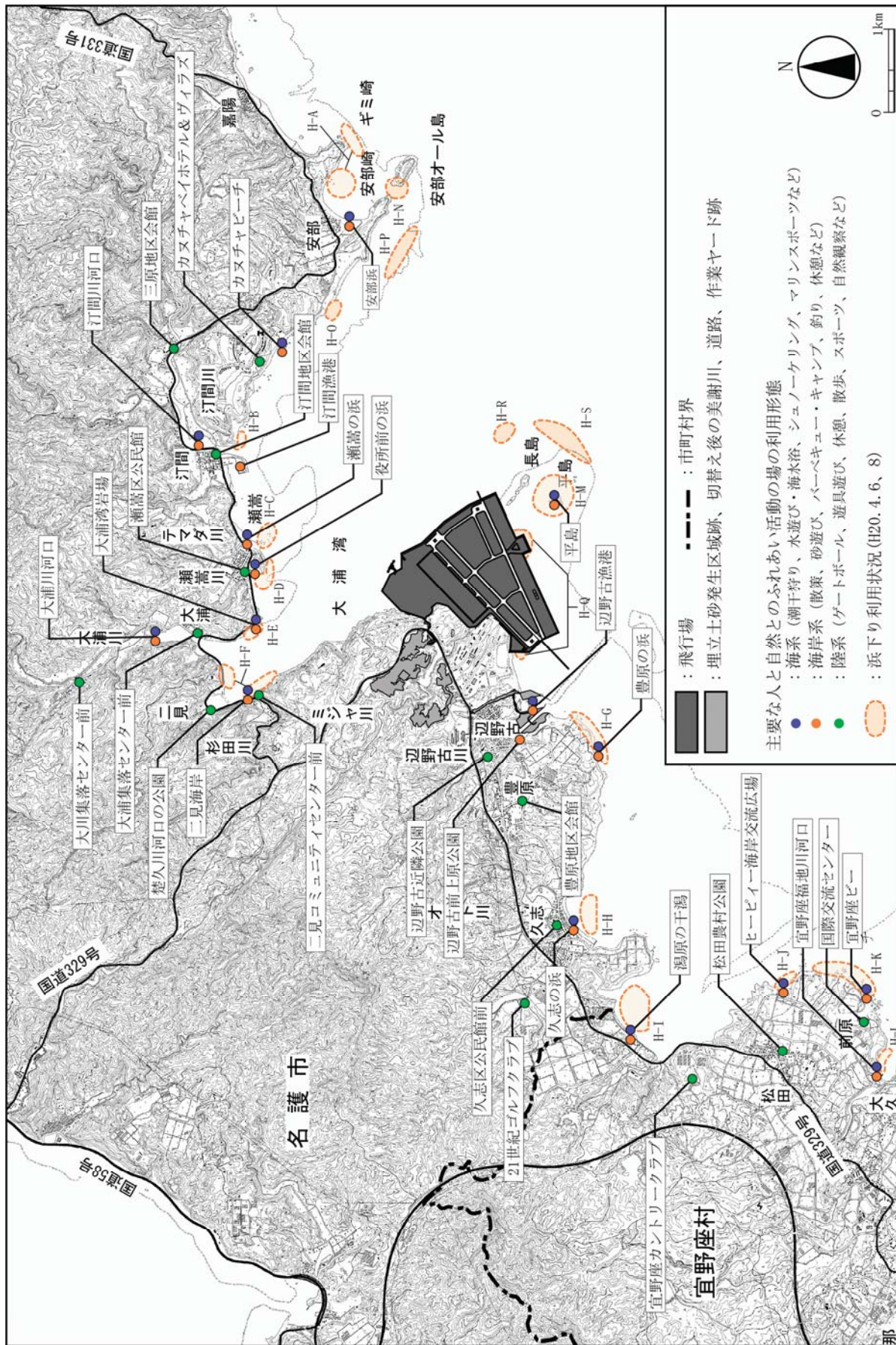
また、浜下りの場については、調査範囲内において、立入制限される浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから、移動することを含め周辺自治体等と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。

また、西側進入灯については、辺野古漁港の航路の支障とならないように配置したことから、船釣り等の漁船の出入りに影響を及ぼすことはないものと考えました。カヌチャビーチの前面リーフ海域はマリンレジャーの場として利用されていますが、これらの場所は米軍の制限水域、制限空域や航空機ルートの範囲外であり、利用状況の変化はないものと考えました。

表-6. 21. 2. 2. 2 人々の活動・利用の変化（眺めの変化）

影響要因			影響が予測される活動種	予測	
公有水面の埋立	埋立地の存在	代替施設の存在	眺めの状況	陸系 海岸系 海系	カヌチャビーチ、カヌチャベイホテル&ヴィラス、汀間漁港、瀬嵩の浜、辺野古前上原公園、ヒーピー海岸交流広場等から代替施設が一部眺望できますが、「6. 20 景観」の予測結果から、平島・長島への眺望の一部又は全域が遮られる場所がありますが、平島・長島までの距離は2.7km以上あることから、散歩・休息・キャンプ等の触れ合い活動の場を支える環境の変化はないものと考えました。
		切替え後の美謝川の存在	眺めの状況	陸系 海岸系 海系	切替え後の美謝川は触れ合い活動の場から眺望が出来ないことから、影響は生じないものと考えました。
		埋立土砂発生区域の存在	眺めの状況	陸系 海岸系 海系	カヌチャベイホテル&ヴィラス等から埋立土砂発生区域が一部眺望できますが、「6. 20 景観」の予測結果から、工事終了後は緑化されるため景観の変化は小さく、散歩・休息・キャンプ等の触れ合い活動の場を支える環境の変化はないものと考えました。
		作業ヤード跡地の存在	眺めの状況	陸系 海岸系 海系	辺野古前上原公園や辺野古漁港の散歩・休息・釣り等の場所から、作業ヤード跡地が眺望できます。「6. 20 景観」の予測結果から、眺めの状況は変化し、触れ合い活動の場を支える環境も変化するものと考えました。
飛行場及びその施設の設置	飛行場及びその施設の存在		眺めの状況	陸系 海岸系 海系	カヌチャビーチ、カヌチャベイホテル&ヴィラス、汀間漁港、瀬嵩の浜、辺野古前上原公園、ヒーピー海岸交流広場等から飛行場及びその施設が一部眺望できますが、「6. 20 景観」の予測結果から、平島・長島への眺望の一部又は全域が遮られる場所がありますが、平島・長島までの距離は2.7km以上あることから、触れ合い活動の場の散歩・休息・キャンプ等からの眺めの状況の変化はないものと考えました。
	飛行場の施設の供用		夜間照明に伴う眺めの状況	陸系 海岸系 海系	カヌチャビーチ、カヌチャベイホテル&ヴィラス、汀間漁港、瀬嵩の浜、辺野古前上原公園、ヒーピー海岸交流広場等から飛行場及びその施設が一部眺望できますが、「6. 20 景観」の予測結果から、現況でキャンプ地区として利用されていた場所が滑走路となり、照明は減ることになるため、景観の変化は小さく、触れ合い活動の場の散歩・休息・キャンプ等からの夜間照明の眺めの状況の変化はないものと考えました。

注) 海系の活動種：潮干狩り、水遊び・海水浴、シュノーケリング、マリンスポーツなど
 海岸系の活動種：散策、砂遊び、バーベキュー・キャンプ、釣り、休憩など
 陸系の活動種：ゲートボール、遊具遊び、休憩、散歩、スポーツ、自然観察など



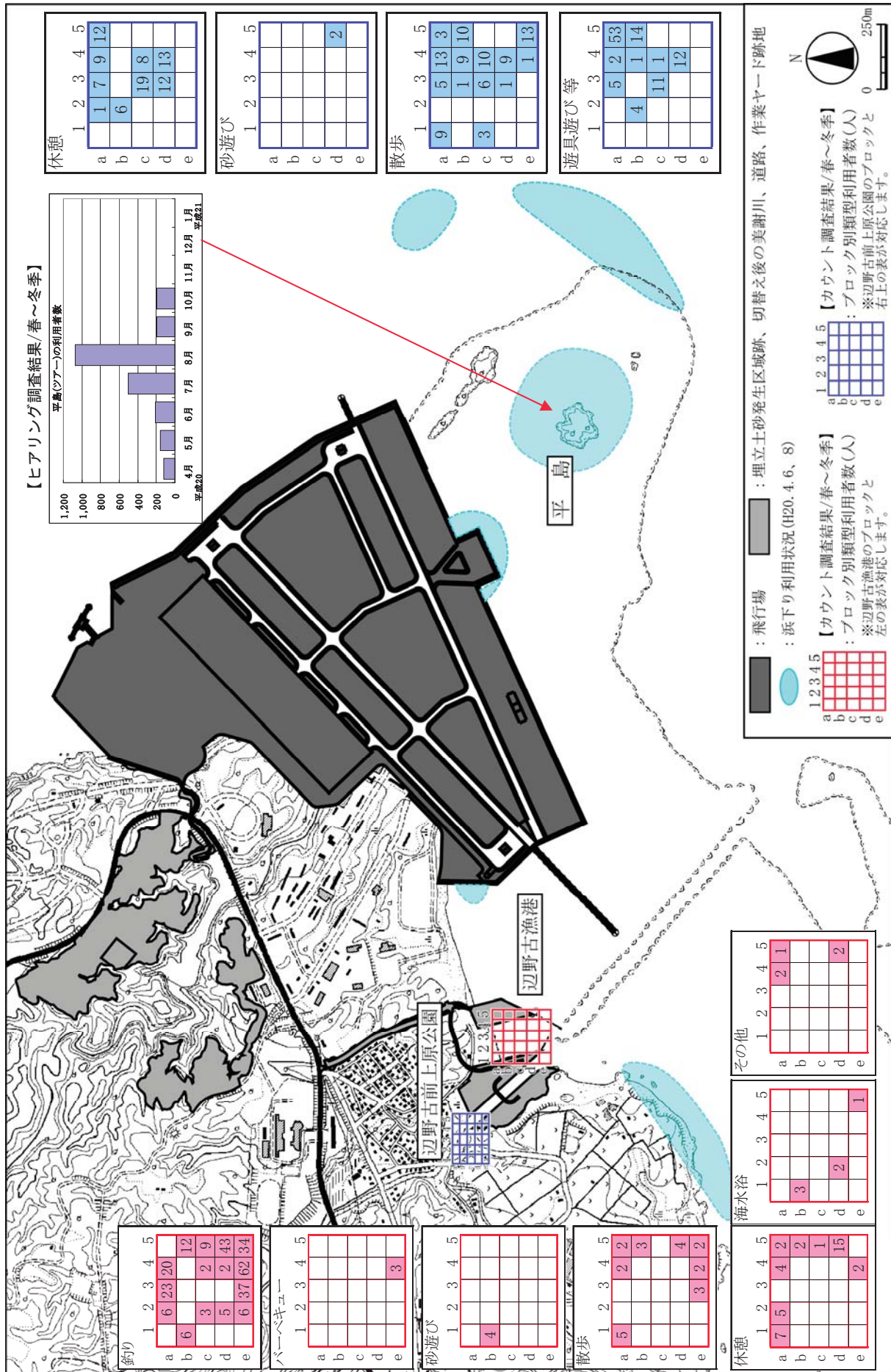


図-6.21.2.2.2 人と自然との触れ合い活動の場の存在による影響の状況（代替施設の近傍）

6.21.3 評価

6.21.3.1 工事の実施

(1) 環境影響の回避・低減に係る評価

1) 環境保全措置の検討

工事の実施時においては、既に以下に示す環境保全措置を講じることとしています。

- ・資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に際しては、人と自然との触れ合い活動に配慮します。
- ・赤土等流出防止対策を実施します。
- ・仮設道路は防音対策を実施します。
- ・辺野古地先水面作業ヤードについては、これを存置する場合、工事終了後速やかに緑化対策を行ない、人と自然との触れ合い活動の場として利用できるよう努めます。
- ・西側進入灯については、辺野古漁港の航路の支障とならないように配置するとともに、漁船等の航行に対して支障のないように配慮した施工方法等を採用します。
- ・消失する浜下りの場については、移動することを含め周辺自治体等と協議を行います。
- ・工船用船舶の航行によりマリンスポーツ・マリンレジャー等への影響が確認された場合には、関係組織と協議を行います。
- ・工船用船舶の航行によりプレジャーボート等のアクセス特性に変化が生じたこと確認された場合には、関係組織と協議を行います。

2) 環境影響の回避・低減の検討

調査及び予測の結果、並びに前項に示した環境保全措置の検討結果を踏まえると、以下の(a)～(c)に示すとおり、工事の実施による人と自然との触れ合い活動の場に及ぼす影響については、事業者の実行可能な範囲内で最大限の低減が図られているものと評価しました。

(a) 人と自然との触れ合い活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

土地の改変にあたっては、代替施設本体の埋立ての工事に伴い、浜下りの場が一部消失し、辺野古漁港の釣り場の利用環境は一部改変されることとなりますが、調査範囲内には消失する浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから、移動す

ることを含め周辺自治体等と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。また、工事終了後に出現する辺野古漁港脇の埋立地や護岸が新たな釣り場として利用されるものと想定されることから、変化の程度は小さいものと考えています。更に、環境保全措置として辺野古地先水面作業ヤードについては、これを存置する場合、工事終了後速やかに緑化対策を行ない、人と自然との触れ合い活動の場として利用できるよう努めることにより、影響を低減する効果が期待できると考えられます。

(b) 人々の活動・利用の変化

作業ヤードの工事に伴い、辺野古漁港の散歩・休憩・釣りの場所及び辺野古前上原公園の散歩・休憩・遊具遊び等の場所において建設作業騒音、建設作業振動が発生しますが、「6.3 騒音」、「6.4 振動」の予測結果から、建設作業騒音は60～65dB、建設作業振動は60dB程度となっており変化の程度は小さいこと、環境保全措置として、仮設道路には防音対策を実施することにより、利用状況の変化に及ぼす影響を低減する効果が期待できると考えられます。

また、護岸の工事、埋立ての工事に伴う土砂による水の濁りの発生が、釣り・潮干狩り・海水浴・マリンレジャー等の活動・利用状況に及ぼす影響については、環境保全措置として赤土等流出防止対策を実施することにより、周辺海域における環境の変化は、海の水の色に変化がないことから小さく、利用状況の変化に及ぼす影響を低減する効果が期待できると考えられます。

なお、埋立ての工事に伴う工事用船舶の航行がマリンスポーツ等の活動・利用状況に及ぼす影響について影響が確認された場合は、関係組織と協議する事で影響を低減できると考えられます。

(c) 人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス特性の変化

西側進入灯の施工範囲近傍には辺野古漁港の航路がありますが、環境保全措置として、辺野古漁港の航路の支障とならないように配置したことや漁船等の航行に対して支障のないように配慮した施工方法や工事工程を検討することとしました。環境保全措置の実施によりアクセス特性の変化に及ぼす影響を低減する効果が期待できると考えられます。

資機材運搬船舶等の運航範囲の近傍においてプレジャーボートの航行が確認されていますが、人と自然との触れ合い活動の場への船舶の航行が不可能となるものではなく、アクセス特性への変化は小さいものと考えますが、アクセス特性に変化が生じたと確認された場合には、関係組織と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。また、資機材運搬車両等の運行に際しては、主要道路（国道329号）を通りますが、環境保全措置として資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に際し、特定の日や時間帯に実施される伝統的な行事及

びイベント等が行われる日またはその時間帯の運行を避けることで、人と自然との触れ合い活動に配慮し、アクセス特性の変化に及ぼす影響を低減する効果が期待できると考えられます。

工事中における立入制限については、辺野古漁港の釣り場等については一時的な影響に留まること、浜下りの場については調査範囲内に地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることなどから、アクセス特性の変化の程度は小さいものと考えています。

(2) 国又は地方公共団体による環境保全の基準又は目標との整合性に係る評価

1) 環境保全の基準又は目標

沖縄県が平成15年4月に策定した沖縄県環境基本計画によると、以下の表に示す環境配慮指針及び環境配慮事項が定められています。表-6.22.3.1.1に示した内容を環境保全の基準又は目標とします。

表-6.21.3.1.1 沖縄県環境基本計画による環境配慮指針及び環境配慮事項

飛行場の設置又は変更の事業における環境配慮指針	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な自然や文化財等に影響を及ぼす立地は避けるよう努める。 ・周辺環境への影響について把握し、環境への影響を最小限にとどめるよう十分配慮する。
沖縄島北部圏域における環境配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業においては、景観の悪化を起こさないよう、事業実施の場所、規模、工法等について細心の注意を払う。 ・町並みや集落景観の維持・向上に努める。

2) 環境保全の基準又は目標との整合性

調査及び予測の結果、並びに環境保全措置の検討結果を踏まえると、沖縄県環境基本計画の「事業別環境配慮指針」における「飛行場の設置又は変更の事業」、また「圏域別配慮指針」における「沖縄島北部圏域」に記載されている環境保全の基準又は目標との整合は図られているものと評価しました。

6. 21. 3. 2 施設等の存在及び供用

(1) 環境影響の回避・低減に係る評価

1) 環境保全措置の検討

施設等の存在及び供用時においては、既に以下に示す環境保全措置を講じることとしています。

- ・西側進入灯については、小型船舶の航行に対して支障のないように配慮した配置にしました。
- ・立入制限される浜下りの場については、移動することを含め周辺自治体等と協議を行います。
- ・浜下りの日には、航空機の飛行を避け、浜下りの前後の休日には、飛行回数を削減してもらうよう米軍に要請します。

上記の環境保全措置を予測の前提として検討した結果、辺野古前上原公園や、辺野古漁港の散歩・休憩・釣りの場所から、作業ヤード跡地が眺望可能であり、眺めの状況が変化することとなり、人と自然との触れ合い活動の場を支える環境が変化するものと考えています。このことから、以下の通り環境保全措置を講じることとしました。

- ・辺野古地先水面作業ヤード跡地は、緑化対策等を行うなどの修景に努めます。

2) 環境影響の回避・低減の検討

調査及び予測の結果、並びに前項に示した環境保全措置の検討結果を踏まえると、以下に示すとおり、施設等の存在及び供用による人と自然との触れ合い活動の場に及ぼす影響については、事業者の実行可能な範囲内で最大限の低減が図られているものと評価しました。

辺野古前上原公園や、辺野古漁港の散歩・休憩・釣りの場所から、作業ヤード跡地が眺望可能であり、眺めの状況が変化し、人と自然との触れ合い活動の場を支える環境が変化することから、環境保全措置として、辺野古地先水面作業ヤード跡地は、緑化対策等を行うなどの修景に努めることとしました。環境保全措置の実施により、眺めの状況への影響を低減する効果が期待できると考えられます。

航空機の運航により、安部灯台沖や一部の浜下りの場について、航空機騒音が70WECPNL以上となり、豊原の浜の一部では75WECPNL以上となる場所があることから、人と自然との触れ合い活動の場を支える環境が変化するものと考えています。当該地域には航空機騒音に係る環境基準の類型指定はありませんが、人と自然との触れ合い活動の場は、専ら住居の用に供される地域(I類型)ではなく、通常の生活を保全する必要がある地域(II類型)であり、II類型の基準は75WECPNLで

あることから、影響を低減するため、浜下りの日には、航空機の飛行を避け、浜下りの前後の休日には、飛行回数を削減してもらうよう米軍に要請することとしました。

飛行場の施設の供用時には、米軍の制限水域及び制限空域や航空機の飛行ルートが設定され、平島と平島周辺の浜下りの場、浜下りの場の2箇所の計4箇所がこれに含まれると考えられます。平島については民間業者が営利目的のツアーの場として利用している時期もありますが、地元の利用者（不特定多数の人）は少ないこと、浜下りについては調査範囲内には立入制限される浜下りの場以外にも地域住民が自家用車・自転車等で近くまで移動し利用できる浜下りの場が分布していることから、移動することを含め周辺自治体等と協議を行うことで影響を低減できるものと考えました。

船釣り等の漁船が出入りする辺野古漁港の航路上には、西側進入灯が設置され、辺野古漁港の航路を利用した釣り場等の人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス特性が変化することから、環境保全措置として、西側進入灯を小型船舶の航行に対して支障のないように配慮した配置にすることとしました。この環境保全措置の実施により、アクセス特性の変化に及ぼす影響を低減する効果が期待できると考えられます。

(2) 国又は地方公共団体による環境保全の基準又は目標との整合性に係る評価

1) 環境保全の基準又は目標

沖縄県が平成15年4月に策定した沖縄県環境基本計画によると、以下の表に示す環境配慮指針及び環境配慮事項が定められています。表-6.21.3.2.1に示した内容を環境保全の基準又は目標とします。

表-6.21.3.2.1 沖縄県環境基本計画による環境配慮指針及び環境配慮事項

飛行場の設置又は変更の事業における環境配慮指針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な自然や文化財等に影響を及ぼす立地は避けるよう努める。 ・ 周辺環境への影響について把握し、環境への影響を最小限にとどめるよう十分配慮する。
沖縄島北部圏域における環境配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発事業においては、景観の悪化を起こさないよう、事業実施の場所、規模、工法等について細心の注意を払う。 ・ 町並みや集落景観の維持・向上に努める。

2) 環境保全の基準又は目標との整合性

調査及び予測の結果、並びに環境保全措置の検討結果を踏まえると、沖縄県環境基本計画の「事業別環境配慮指針」における「飛行場の設置又は変更の事業」、また「圏域別配慮指針」における「沖縄島北部圏域」に記載されている環境保全の基準又は目標との整合は図られているものと評価しました。